



職業感染防止のための安全対策製品カタログ集

SAFETY DEVICES

職業感染制御研究会

第5版(5th edition)

監修のことば

大震災から一年を経過し、今もなお復興に向け努力されている皆様に心より敬意を表します。

職業感染研究会の活動目標の一つに「医療従事者への職業感染意識の充実、知識の習得の援助、医療現場でより安全で使用しやすい器材の改良研究を行う」があります。針刺しに代表される医療従事者の血液感染をより減少させることを目的として多くの医療従事者、組織が協力して活動しています。

針刺し切創により、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、エイズウイルスなどに感染する可能性もあります。安全器材の普及は医療従事者のみならず病院という針や鋭利な器材の多い場所に集まる患者さんにも必要なことです。

また結核などの空気感染、インフルエンザなどの飛沫感染、多くの疾患に見られる接触感染に対しても重大な院内感染を防ぐ目的でPPE（個人用防護具）の正しい使用法の普及も重要になってきています。

これまで職業感染研究会は医療従事者の皆さんの安全を確保する目的から4回にわたり安全器材、個人用防護具のカタログ集を作成してまいりました。

前回カタログ作成から時間が経過する中で安全器材の種類が増加し新たなカタログの作成要望の声が医療現場から上がってまいりました。この要望を受けた今回数々の安全器材を網羅したカタログを新たに職業感染研究会のメンバーが忙しい中時間を割いて作成いたしました。正しい使用法や針刺し時のエピソード使用についてもわかりやすいよう心がけました。

各医療機関が職員、患者の安全を確保する上で役立てていただけたらと存じます。また今後も適宜改訂を研究会として加えていきたいと考えています。

このカタログの作成に際しお忙しい中多くの時間を割いていただいた職業感染研究会のメンバーの皆様に心よりお礼申し上げます。

2012年5月

職業感染制御研究会
代表 森屋 恭爾

編集担当	満田 年宏	公立大学法人 横浜市立大学附属病院
執筆担当 (五十音順)	網中 眞由美	国立感染症研究所 細菌第二部第一室
	木戸内 清	岐阜県東濃保健所
	黒須 一見	東京都保健医療公社荏原病院
	満田 年宏	公立大学法人 横浜市立大学附属病院
	吉川 徹	公益財団法人 労働科学研究所
	李 宗子	神戸大学医学部附属病院

【本カタログ集の活用方法について】

- ・ 本カタログ集は二章から構成となっています。
 - ・ 第一章 安全器材に関する解説編には、針刺し切創の実態に関する最新の知見や、安全器材の評価方法、関連するソフトウェアの活用方法等が掲載されています。
 - ・ 第二章には安全器材のカタログ集を掲載しています。安全器材をカテゴリー別に分類し、それら器材別のリスクと対策の解説に引き続き安全器材が掲載されています。
 - ・ 付録として、エピネット日本版が掲載されています。
 - ・ 本カタログは職業感染制御研究会のホームページ (<http://jrgoicp.umin.ac.jp/>) で eBook として閲覧可能です。また同研究会のホームページから pdf ファイルとしても公開されていますので、ご参照ください。
-

職業感染制御研究会平成24年度幹事名簿

氏名	所属
青木 眞	サクラ精機株式会社
網中 眞由美	国立感染症研究所 細菌第二部第一室
飯沼 由嗣	金沢医科大学 臨床感染症講座
稲葉 静代	名古屋市緑保健所
江里口 正純	新山手病院
大久保 憲	東京医療保健大学大学院 感染制御学
岡 伊津穂	社会医療法人 栄公会 法人本部
賀来 満夫	東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野
木戸内 清	岐阜県東濃保健所
木村 哲	東京逋信病院
黒須 一見	東京都保健医療公社 荏原病院 感染対策室 看護部
小池 和彦	東京大学医学部附属病院 消化器内科
佐竹 幸子	群馬大学大学院 保健学研究科
佐藤 直樹	北海道大学病院 手術部
柴田 清	旭中央病院
島崎 豊	愛知県厚生連海南病院 医療安全管理部
新谷 良澄	東京大学医学部附属病院 消化器内科
高松 純	雪の聖母会 聖マリア病院
土井 英史	特定非営利活動法人 日本感染管理支援協会
馬場 尚志	金沢医科大学 臨床感染症学
人見 重美	筑波大学臨床医学系 感染症科
松田 和久	福岡県済生会福岡総合病院
満田 年宏	公立大学法人横浜市立大学附属病院 感染制御部
森兼 啓太	山形大学医学部附属病院 検査部
森澤 雄司	自治医科大学附属病院 感染制御部
森屋 恭爾	東京大学医学部附属病院 感染制御部
柳下 芳寛	独立行政法人国立病院機構 熊本南病院
吉川 徹	公益財団法人労働科学研究所 国際協力センター
李 宗子	神戸大学医学部附属病院 看護部 感染制御部
和田 耕治	北里大学医学部公衆衛生学講座

(2012年5月8日現在：五十音順)

企業会員

有限会社グツツール
興研株式会社
サラヤ株式会社
株式会社ジェイ・エム・エス
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
スリーエムヘルスケア株式会社
テルモ株式会社
株式会社トップ
株式会社ニチオン
ニプロ株式会社
日本コヴィディエン株式会社
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
ハクゾウメディカル株式会社
ビー・ブラウンエースクラブ株式会社
富士システムパック株式会社
株式会社ホギメディカル
メディキット株式会社
株式会社モレーンコーポレーション

(2012年5月10日現在：五十音順)

監修の言葉	1
職業感染制御研究会 平成 24 年度幹事名簿	3
職業感染制御研究会 企業会員	4

第 1 章 解説編

エピネットとエピネットサーベイランス

エピネット日本版とは	8
職業感染 針刺しの脅威	8
針刺し切創、血液体液曝露事例と労災保険の取り扱い	13
安全機能付きの鋭利器材の評価と採用の手順	16
安全な注射処置（ワンアンドオンリーキャンペーン）の考え方	18
本カタログ集の器材別リスクと対策の解説に用いた針刺し切創データについて	20

第 2 章 安全器材カタログ集

針・鋭利器材の一生と針刺し危険ゾーン	24
製品紹介掲載企業一覧	26

器材の種類	製品名	製造・取扱メーカー	
翼状針	シユアシールド SV セット	テルモ	27
	BD バキュティナプッシュボタン ブラッドコレクションセット	日本 BD	28
	ニプロセーフタッチ PSV セット	ニプロ	28
	セーフティ SV セット	ジェイ・エム・エス	29
	ファインガード翼状針	トップ	29
静脈留置針	サーフロー V3	テルモ	30
	シユアシールドサーフロー II	テルモ	31
	BD インサイトオートガード BC（逆流防止機能付）	日本 BD	31
	BD ネクシーバクローズド IV カテーテル システム	日本 BD	32
	スーパーキャス 5	メディキット	32
	スーパーキャス Z3	メディキット	33
	ニプロセーフタッチキャス	ニプロ	33
	イントロカン セーフティ	ビー・ブラウン	34
	イントロカン セーフティ 3	ビー・ブラウン	34
真空採血器具関連	シユアシールド翼付採血セット	テルモ	35
	BD バキュティナエクリプス安全機能付き採血針	日本 BD	36
	BD バキュティナパッシブシールドリングニードル	日本 BD	36
	ルアーアダプター付きセーフタッチ PSV セットホルダー付き	ニプロ	37
	セーフティ翼付採血セット	ジェイ・エム・エス	37
ヒューバー針	セーフタッチコアレスニードルセット	ニプロ	38
	MRI ポート（ヒューバープラスノンコアリングニードル）	メディコン	39

皮膚穿刺器具	BD マイクロティナセーフティランセット	日本 BD	40
	BD マイクロティナクイックヒールランセット	日本 BD	41
	ニプロ SP ランセット	ニプロ	41
	アイピット	三和化学	42
	ポケットランセット	アボット	42
	単回使用自動ランセット「ナチュラルレットディスポ」	アークレイ	43
縫合針	エチガード	ジョンソン & ジョンソン	44
輸液接続システム	シュアプラグ	テルモ	45
	BD Q サイト閉鎖式輸液システム	日本 BD	46
	インターリンクシステム	日本 BD	46
	クレーブコネクター	バルメディカル	47
	ニプロフィルターセット (クレーブコネクタータイプ)	ニプロ	47
	セーフタッチ輸液システム	ニプロ	48
	プラネクタ	ジェイ・エム・エス	48
	セーフミック TPN バッグ	ジェイ・エム・エス	49
	セフィオフローシステム	トップ	49
セイフアクセスシステム	日本コヴィディエン	50	
動脈採血器具	シュアシールドプレザパック	テルモ	51
	BD プリセット動脈採血キット	日本 BD	52
透析関連器具	ハッピーキャスクランプタイプ AZ	メディキット	53
	ハッピーキャス V	メディキット	54
	シュアフロー N	ニプロ	54
	プラネクタ BA	ジェイ・エム・エス	55
	JMS AV フィスチュラ	ジェイ・エム・エス	55
	JMS 人工腎臓用血液回路	ジェイ・エム・エス	56
	メディカットセーフティカニューラ	日本コヴィディエン	56
バイアルや 各種ライン アクセスポート	ニプロプラスチック針	ニプロ	57
	プラネクタ	ジェイ・エム・エス	58
	プラスチックカニューラ	ジェイ・エム・エス	58
	JMS ドレンバッグ	ジェイ・エム・エス	59
	コンファ ウロシステム	エフスリー	59
	バード I.C. シルバーフォーリートレイ B	メディコン	60
その他の安全器材	BD オートシールド 1.5	日本 BD	61
	BD バキュティナブラッド トランスファー デバイス	日本 BD	61
胃ろう	バード PEG キット<セーフティシステム>	メディコン	62
	カンガルー PEG キット	日本コヴィディエン	63

シャープス マネジメント	スカルペルホルダー.....	ホギメディカル	64
	シャープスマート.....	ホギメディカル	65
	針カウンター.....	アムコ	65
	スカルペルホルダー.....	アムコ	66
鋭利器材専用 (耐貫通性) 廃棄容器	セフティーナ廃棄ボックス/ボトル.....	テルモ	67
	BD シャープスコレクター/BD ケモセラピーコレクター.....	日本BD	68
	シャープセイフティー/ケモセイフティーコンテナ.....	ニチオン	68
	バイオコンパクトシリーズ.....	モレーン	69
	バイオグリップシリーズ.....	モレーン	69
	注射器材廃棄容器 キーパー 2.....	グッツール	70
	MEDIPAIL M-1 針缶.....	ジェイ・エム・エス	70
	ハクゾウ安針 BOX 3L.....	ハクゾウ	71
	ミッペール 3IC.....	富士システムパック	71
	ファインガード医療廃棄ボトル.....	トップ	72
	シャープパック SHARPAK.....	原田産業	72
その他安全器材一覧		73
エピネット日本版 Version 4.0 (A. 針刺し・切創報告書、B. 皮膚・粘膜汚染報告書).....			75
エピネット記入用紙の使い方のポイント.....			85
エピネット分析・評価ツール『見える化君 A』について.....			86

エピネットとエピネットサーベイランス

- エピネット日本版とは
- 職業感染 針刺しの脅威
—全国エピネット調査報告 1996 年度～ 2010 年度 (JES2011 を含む) —

エピネット日本版とは

エピネット日本版とは医療従事者の針刺し切創・血液体液曝露時の発生時にその状況を報告する際に使用する標準的な書式である。職業感染制御研究会が公開している。エピネット日本版の書式は、1991年に米国バージニア大学 International Healthcare Worker Safety Center の Janine Jagger 教授が開発した EPINet™ : Exposure Prevention Information Network をもとにして日本の状況に合わせて作成された。EPINet™ は針刺し切創・血液体液曝露の予防に活用できる優れた報告書式として 1,500 以上の米国の医療施設で導入され、さらにカナダ、イタリア、スペイン、日本、イギリス、台湾、韓国など世界各国で活用されている。

職業感染制御研究会では、EPINet™ の使用に関して 1997 年にバージニア大学と Janine Jagger 教授の承諾を得て、エピネット日本版 (A : 針刺し・切創報告書と B : 皮膚・粘膜汚染報告書) 及びその集計・解析ソフトである「Episys (エピシス)」を作成し、順次公開してきた。現在、エピネット日本版国内は様々な医療施設や機関での針刺し切創・血液体液曝露事例のサーベイランス実施時に活用されている。

職業感染 針刺しの脅威

はじめに

職業感染制御研究会による針刺し切創サーベイランスツール (エピネット日本版) の開発と普及がすすんでおり、2012 年現在、エピネット日本版は国内の約 1,200 の病院等で利用されている。

そこで、全国エイズ拠点病院より 1996 年度～ 2010 年度に収集されたエピネット日本版 A (針刺し・切創報告書) のデータ (51,000 件、のべ施設数 1,680 施設) をデータベース化し、Episys201 の集計機能やこれまで実施されてきた調査結果を含めて「見える化君」等を利用して解析した。

集計・解析した結果を 1996 年度～ 1999 年度、2000 年度～ 2003 年度、2004 年度～ 2008 年度、2009 年度～ 2010 年度の 4 時期で比較し、経時的な状況変化をまとめた。

さらに、同上の施設で 2004 年度 (229 施設)、2008 年度 (112 施設)、2010 年度 (75 施設) にアンケート調査した内容も一部附記した。

I. 1996 年度～ 2010 年度の針刺し・切創の動向 (JES2011 を含む) の概要

- この報告における最新サーベイランス参加病院の状況は、JES2011 (Japan EPINet Surveillance 2011) として、81 病院が参加。分析可能なデー

エピネットサーベイランス 2011 ワーキンググループ

網中真由美 (国立感染症研究所 細菌第二部第一室)
木戸内 清 (岐阜県東濃保健所)
黒須 一見 (東京都保健医療公社荏原病院)
満田 年宏 (公立大学法人 横浜市立大学附属病院)

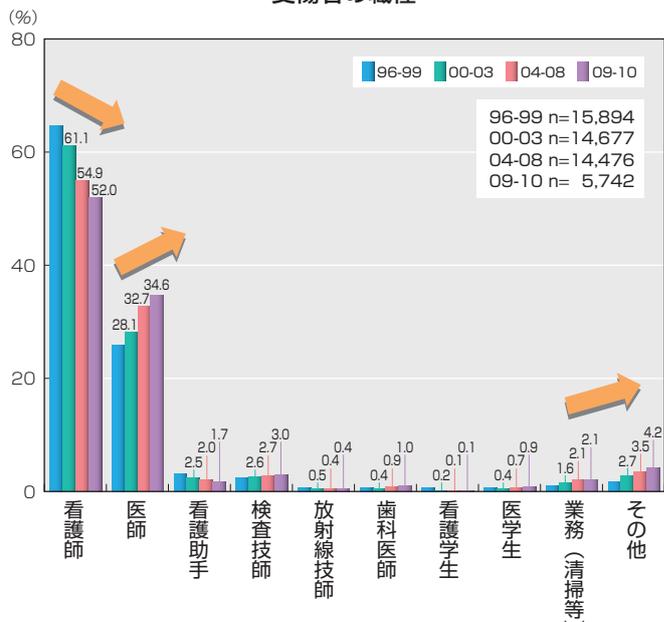
森澤 雄司 (自治医科大学附属病院)
吉川 徹 (公益財団法人 労働科学研究所)
李 宗子 (神戸大学医学部附属病院)
和田 耕治 (北里大学医学部公衆衛生学)

タは、2009年度は2,769件/年/73施設、2010年度は2,986件/年/76施設、合計5,755件であった（p20参照）。

施設の内訳は、大学病院が34施設、大学病院以外が47施設である。

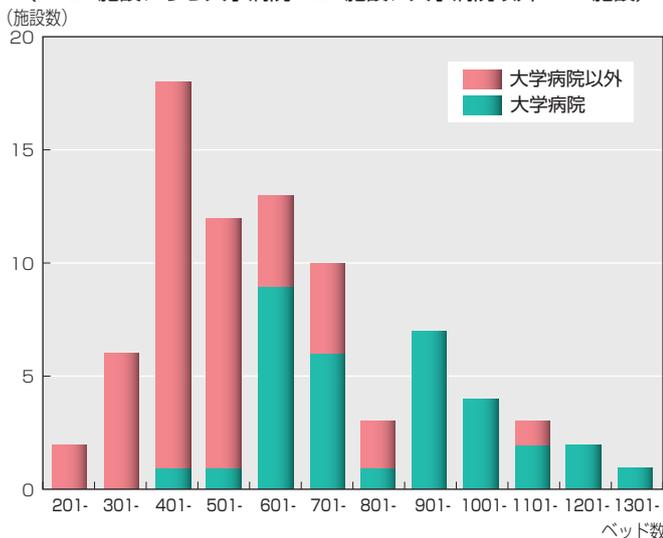
- 以下、1996年度～2010年度を4時期に分けて比較した結果を述べる。
- 受傷者の職種は、報告全体に占める割合は看護師がほぼ半数、医師が3分の1を占めている。看護師の割合は、減少傾向（2000年度～2003年度；61.1%→2009年度～2010年度；52.0%）である一方、同時期の比較において医師の割合は増加傾向（28.1%→34.6%）にある。
- 発生場所は、2009年度～2010年度において病室（32.0%）、手術部（27.1%）、病室外（10.1%）で全体の7割を占める。病室・病室外の針刺しの割合が減少傾向、手術部の割合が増加傾向にある。

受傷者の職種

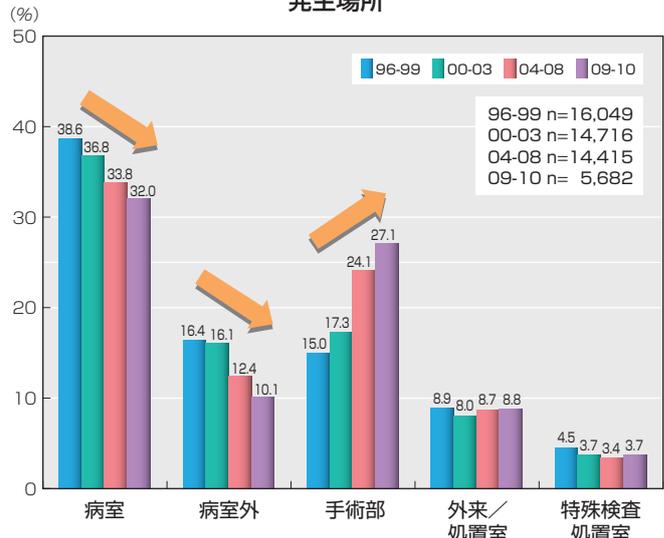


JES2011 参加病院の規模の分布

(n=81施設、うち大学病院：34施設、大学病院以外：47施設)



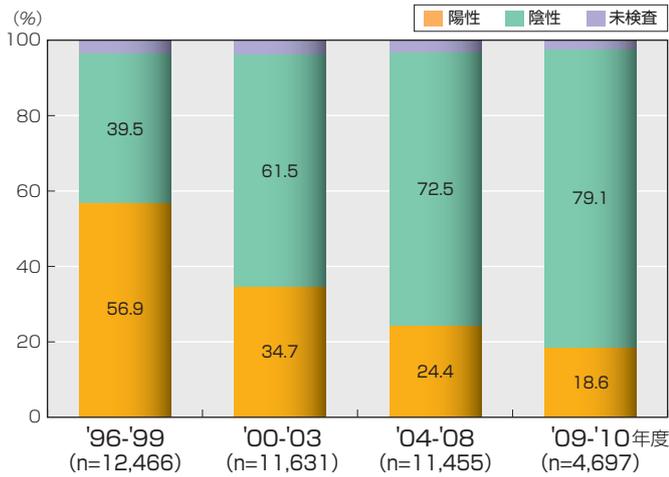
発生場所



< JES2011 の概要 >

- 目的：血液媒介病原体による病院感染・職業感染予防のため、日本の針刺し切創事例等の発生動向を把握し、針刺し切創の発生リスク要因の解明と予防策の提案、サーベイランス参加病院でのデータや経験を交流する素地を形成を目的として実施した。
- 方法
 - ・ 企画・実施：職業感染制御研究会・エピネット日本版サーベイランスワーキンググループ（JESWG、ジェスウオグ）
 - ・ 2009年07月：エピネット日本版全国サーベイランス（JES2009）参加病院の募集。117病院が文書で参加表明、JES2009の結果の公開（第26回総会、HP上等）。
 - ・ 2011年08月：JES2009参加114施設にJES2011および施設調査へ参加依頼。84施設がJES2011に参加意向ありと回答。
 - ・ 2011年12月までにエピネット日本版A、B（Episys201A&B）によるデータ提供は78施設（最終分析データは76施設）、データ数計23,701件（過去データを含む）。
 - ・ 2011年12月～データクリーニング、分析、参加施設へのフィードバック実施。
 - ・ 2012年02月成果の公表・評価、職業感染制御研究会HPへアップ。
- 倫理審査
 - ・ JESWGメンバー所属の（財団法人労働科学研究所倫理委員会）で審査（2009年4月承認、通知番号09-001）。

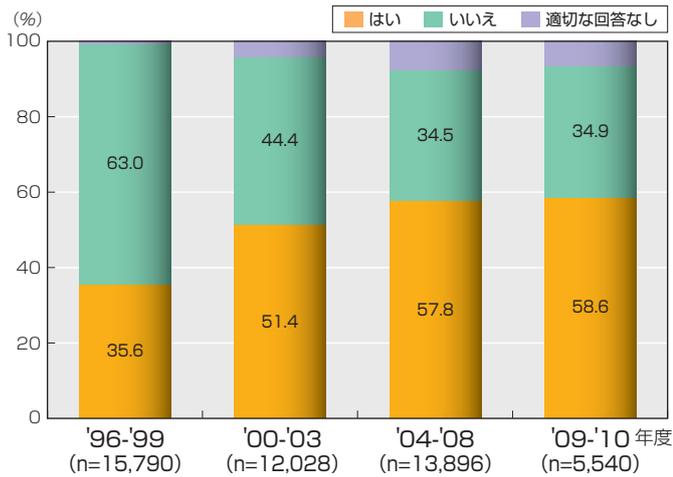
曝露源患者が確定している場合のHCV検査結果



■ 2009年度～2010年度の曝露源患者確定事例におけるHCV陽性割合は18.6%（5人に1人）。1996年度からのデータでは、報告事例におけるHCV陽性血液曝露が占める割合が、年々減少している。

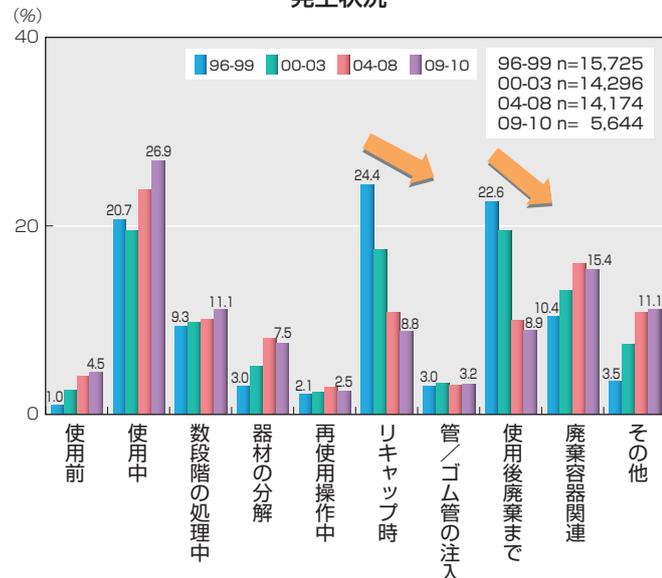
器材の選択・使用者

＜あなた自身がこの原因器材を、選択して患者に使用したのですか？＞



■ 他人が選択した器材で受傷するのは、34.9%で、年々その割合が減っている。

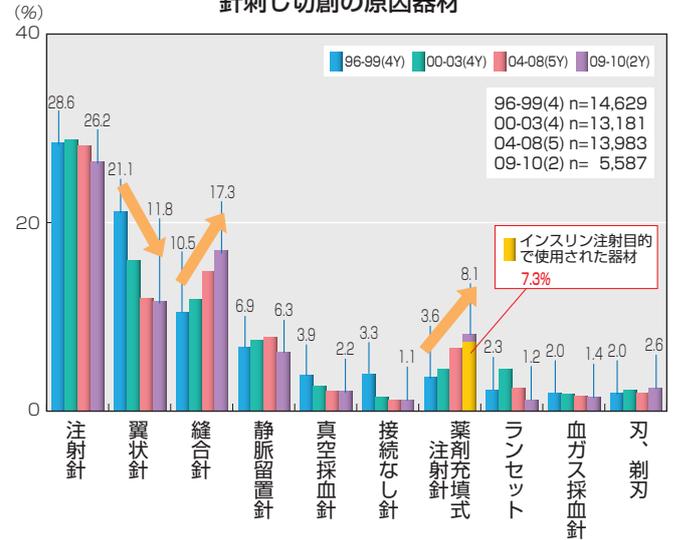
発生状況



■ 針刺しの発生状況では、2009年度～2010年度において使用中が最も多く（26.9%）、廃棄容器関連の受傷（15.4%）、数段階処置中（11.1%）、使用後廃棄まで（8.9%）の順となっている。リキャップによる受傷が全体に占める割合は8.8%である。

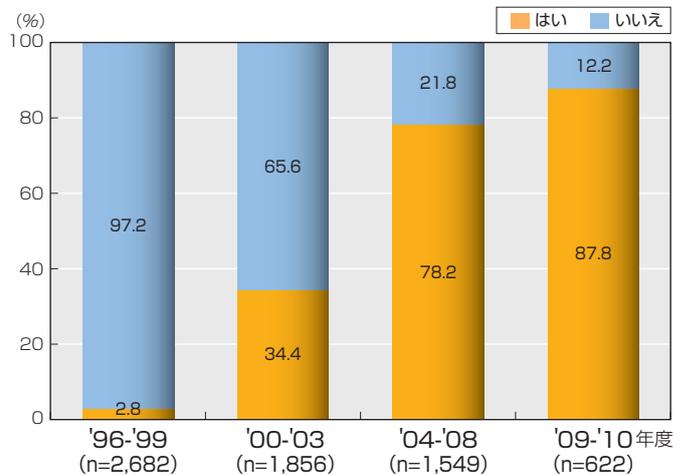
■ 「リキャップ」「使用後廃棄まで」による針刺しが全体に占める割合は減少傾向が続いており、使用前、器材の分解、廃棄容器関連の針刺しの割合が増加傾向である。

針刺し切創の原因器材



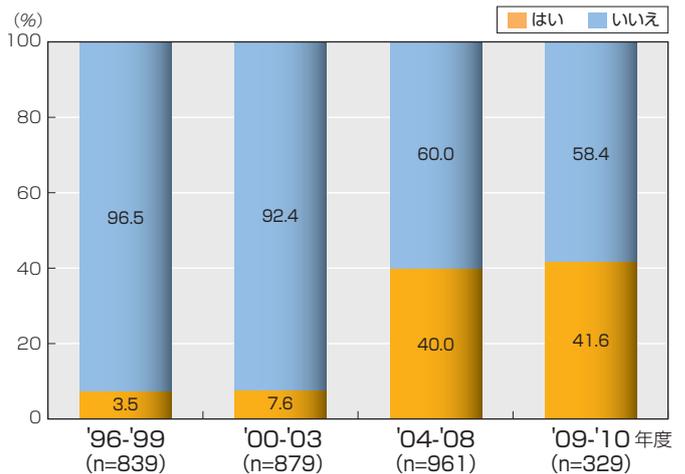
安全器材の有無・翼状針

＜受傷した器材は安全器材でしたか？（翼状針）＞



安全器材の有無・静脈留置針

＜受傷した器材は安全器材でしたか？（静脈留置針）＞



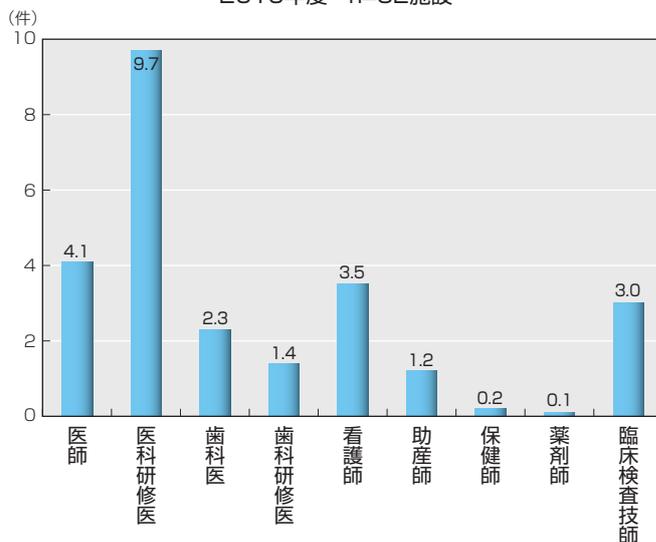
- 針刺し原因器材は、注射針、縫合針、翼状針、静脈留置針が4大原因器材である。
- 翼状針は減少傾向にあり、静脈留置針も近年減少傾向に転化している。
- 手術部の割合の増加とともに縫合針による報告事例が増加している。薬剤充填式注射針による針刺しも増加傾向にある。針刺し・切創全体で見ると、薬剤充填式注射針8.1%のうちインスリン目的で使用された針は7.3%であった。これはペン型インスリン注入器用針の流通量の増加と安全装置つき器材の未普及によるものと考えられる。日本では、2012年5月時点で、1社からペン型注入器用安全機能付きインスリン注射針が販売されているが、その器材の臨床使用評価が待たれるところである。
- 2009年度～2010年度の翼状針による受傷の87.8%および静脈留置針による受傷の41.6%は安全器材による受傷である。

注) 調査結果の限界

- 集計された事例は、各施設において、未報告事例や報告されてもエピネット日本版に入力していない事例があると考えられる。
- この集計は度数の集計であり、リスク分析ではない。

その結果、2004年度は大学病院で23.1%、大学病院以外で16.9%、2010年度は前者21.5%、後者13.7%で、どちらの年度でも大学病院と大学病院以外で有意差がみられた ($P < 0.01$)。

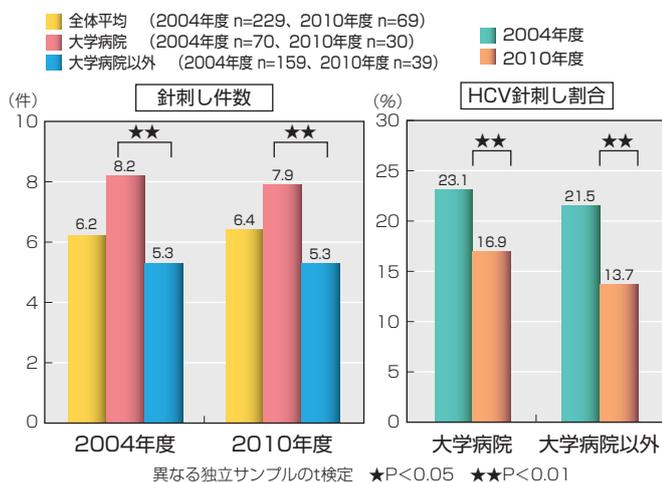
職種別針刺し発生頻度
2010年度 n=32施設



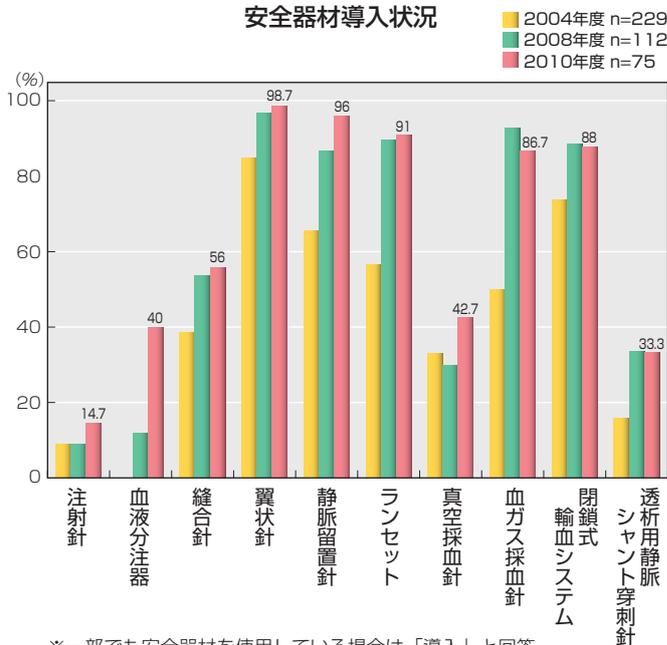
- 2010年度の調査施設全体の職種別針刺し発生頻度(特定職種Aの年間針刺し件数/特定職種Aの常勤換算職員数×100)で見ると、最も高い職種は医科研修医であり9.7件、次いで医師4.1件、看護師3.5件、臨床検査技師3.0件であった。

II. アンケート調査概要

100稼動病床数あたり針刺し件数およびHCV針刺し割合各々の平均値の比較



安全器材導入状況

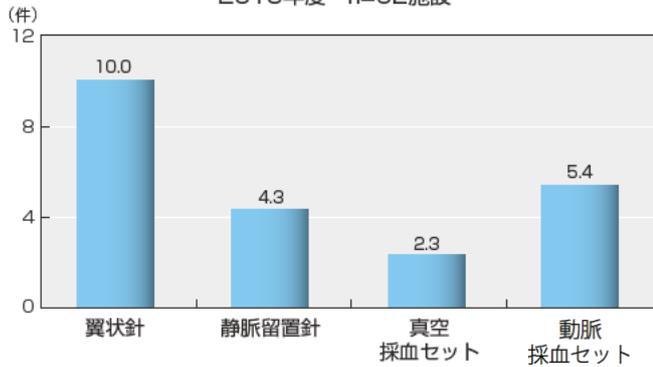


※一部でも安全器材を使用している場合は「導入」と回答

- 100稼動病床あたりの針刺し件数およびHCV針刺し割合各々の平均値を比較した。
- ・ 針刺し件数においては、2004年度は大学病院で8.2件、大学病院以外で5.3件、2010年度は前者7.9件、後者5.3件であり、どちらの年度でも大学病院と大学病院以外で有意差がみられた ($P < 0.01$)。
- ・ また、単なる針刺し数の比較だけではなく、針刺し報告率の指標として用いられるHCV陽性の針刺し割合を用いて、一定の条件をそろえた比較をした。

- 安全器材導入状況は2004年度、2008年度、2010年度と経年経過を見ると、ほぼ全種類の器材導入が増加傾向にある。2010年度で見ると、翼状針98.7%、静脈留置針96.0%を筆頭に、ランセット、血液ガス、閉鎖式輸液システムが多い。また近年、シリンジ採血の需要に応じた血液分注器の導入が著しく増加傾向を示している。

器材別10万本使用器材あたりの針刺し発生頻度
2010年度 n=62施設



- 器材別10万本使用器材あたりの針刺し発生頻度（特定器材Aによる年間針刺し件数／特定器材Aの年間使用本数×100,000）について、安全器材導入が最も多かった翼状針と静脈留置針が各々10.0件、4.3件と開きがあった。この差はどこに問題があるのか、安全器材の有無に関わらず器材の問題点を検討するためには、今後針刺し時の報告の際、器材の商品名も報告項目に加える必要があるかもしれない。

まとめ

- 今回JESWGで収集した経年的エピネットデータと施設調査とをコラボし、比較・分析したことにより、針刺し・切創の現状がさらに具体的になり、個別的課題もあきらかになった。今後、ホームページや各種発表の場を通して、詳細な針刺し防止対策の提言をしていく予定である。
- また、サーベイランスの精度を上げ、ベンチマークとして関係者に広く利用してもらうためには、協力病院のデータの質の管理を推進するとともに、より多くの施設が参加できるシステムを構築するなどの検討を続ける必要がある。

針刺し切創、血液体液曝露事例と労災保険の取り扱い

1. 労災補償制度について

労災補償制度とは、労働者が業務上の事由又は通勤によって怪我をしたり、病気になったり、不幸にも亡くなられた場合に必要な保険給付を行い、被災労働者の社会復帰の促進、被災労働者とその遺族の援護、労働災害の防止等を目的とする労働福祉事業を行う総合的な保険制度である(1-4)。労災保険は、「労働者災害補償保険法(以下労災保険法)」にその定義や運用方法が定められている。

我が国の労災保険法は、労働者の過失の有無とは関係なく支給される「無過失補償制度」となっていて、わざと事故を起こさない限り、診療業務中に生じた針刺しなどによる刺傷、血液体液曝露後に発症した肝炎、業務上の事由で感染した結核や麻疹などは、基本的に補償の対象となる。

2. 労災保険の適用事業、適用労働者

労災保険は労働者を使用するすべての事業に適用される。国の直営事業、非現業の中央・地方の官公署及び船員には、労災保険法の適用はないが、国家公務員、地方公務員及び船員については、それぞれ独自の制度によって労災保険なみの保護が与えられている。独立行政法人、民間病院や診療所などに勤務する労働者は労災保険、政令指定都市、県や市町村立病院に勤務する地方公務員は地方公務員災害補償法により補償が行われる。

臨時雇、日雇、アルバイト、パートタイマーなどの雇用形態は関係なく、全ての労働者は業務災害又は通勤災害が発生したときには、例外なく労災保険給付の受給権がある。労災保険は職業の種類・雇用形態に関係なく、賃金を支払われていれば適用される「強制保険」であり、使用者が労災保険の加入手続きをしているか、していないかは無関係に適用される。また、労働者に病院から直接賃金が支払われていない派遣労働者の場合でも、1)業務遂行上の指揮・監督関係の存否、2)時間的拘束性などにより労働基準法上の「労働者性」の判断がされることがほとんどであり(横浜南労基署長(旭紙業)事件 H8 最高裁)、業務上の負傷・疾病の

ほとんどは、労災保険の適用となる。他、労災保険の制度を知らなくて、とりあえず健康保険を使って治療した場合でも、所定の用紙を提出すれば、過去へさかのぼって労災への切り替えが可能である。

3. 労災補償の手続き－労災・公災の申請はすみやかに－

業務上の事由で感染症に罹患した際には、被災者本人は速やかに労災申請の手続きが必要である。各病院で定められている手順に従って、インシデントレポートや針刺し切創報告とともに、療養給付を受けるための所定の様式(療養補償給付請求書、様式第5号)を作成する。職場の事務担当者が手続きの仕方がわからないときは、各都道府県にある労働基準監督署(以下労基署)に相談するとよい。また、職業感染の発生時での記録が残っていないと、業務起因性の判断が難しくなり、その後疾病が発症しても労災認定されにくい場合もあるため、速やかに職業感染の事実が判明した時点で、必要書類や感染症の検査等を行う必要がある。

4. 療養補償の範囲と取り扱い

－官民で補償の範囲が異なる場合があります－

針刺し・血液汚染等の曝露に関する療養補償は、「業務上の負傷」と「業務上疾病」に分けて考えられている。表1には、労災補償に関わる感染症の一般的認定要件を示した。一般的な認定要件と医学的診断要件が満たされれば、業務上疾病として取り扱われる。

針刺し切創によって、C型肝炎を発症した医療従事者を例にとると、針刺しの段階では、「業務上の負傷」であり、その後にC型肝炎を発症した場合に「業務上疾病」となり、これは別々に取り扱われることになる(表2)。

業務上の負傷の取り扱いは、「医師がその必要性を認めた場合」の判断により、受傷後に行なわれる検査の回数が決まる。針刺し前からHCVに感染していたことが判明している場合には、受傷直後の処置と検査のみ補償され、その後の検査は含まれない。一方、業務

上疾病が発症した段階では、業務起因性の判断と療養の範囲がポイントとなる。C型慢性肝炎を発症した場合も、C型急性肝炎と同様の取り扱いとなる。労災・公災ともにインターフェロンの使用が補償される。「業務起因性」に関しては、表1、2にしたがって医学的に常識的な判断で行なわれ、「療養の範囲」としては、C型急性肝炎等の発症が確認された以降の検査・治療が労災保険で支払われる。平成22年2月に地方公務員災害補償基金から発行された「病院等における災害防止対策研修ハンドブック―針刺し切創防止版―」に

は最新の血液・体液曝露（行政用語では血液汚染事故）に係る療養補償における取り扱いがまとめられている。職業感染制御研究会のHPからダウンロードできる。

補償される内容に関しては官民で若干の相違があることに気をつけなければならない（表3、取り扱いの官民比較、文献5）。また、HBs抗原陽性、HBe抗原陽性の場合でも、単に皮膚に血液が付着した場合は、保険給付の対象にはならない。予防的なHBIGの注射、HBワクチンの接種も対象ではない。また、一部の地方公務員災害補償基金支部の通知では、「HCV抗体「陽

表1

一般認定要件	医学的診断要件
1. 当該業務の内容から、病原体の汚染を受けることが明らかに認められること 2. 当該疾病に特有の症状を呈していること 3. 病原体に感染したと推定される時期から発病までの時間的感覚が、医学上、業務との因果関係の存在を認めうるものであること 4. 発生した伝染病の病原体の種類が、業務で取り扱い、又は接触した病原体の種類と同一であること 5. 業務以外の原因でないこと	1. 伝染性疾患に罹患する恐れのある業務に従事した期間およびその態様の把握 2. 業務と感染の因果関係の検討（感染源、感染経路、侵入門戸、感染部位、感染より発病までの潜伏期間） 3. 臨床検査項目 イ. 血液検査等の臨床的検査 ロ. 病原体抗原、抗体の検出 ハ. 免疫反応検査 4. 他の疾病との鑑別診断

注：一般的認定要件と医学的診断要件は、特に認定基準という形で示されていたものではなく、労働省が解説等で示していた考え方。

表2 「業務上の負傷」と「業務上疾病」

「業務上の負傷」	1. 受傷等の部位に行なわれた洗浄、消毒などの処置 2. 受傷後に行なわれるHCV、HIV抗体検査等の検査（受傷等の直後に行なわれる検査を含み、医師がその必要性を認めた場合に限る）
「業務上の疾病」	針刺し・血液汚染が原因でHCV、HBV、HIV感染症等に罹患した場合

表3 B型・C型肝炎の取り扱いの官民比較

	HBs抗原(-) HBe抗原(-)	不明	HBs抗原(+) HBe抗原(-)	HBs抗原(+) HBe抗原(+)	HCV(-)	不明	HCV(+)
処置	民間-○ 公汚-○ 公針-○	民間-○ 公汚-○ 公針-○	民間-○ 公汚-○ 公針-○	民間-○ 公汚-○ 公針-○	民間-○ 公汚-○ 公針-○	民間-○ 公汚-○ 公針-○	民間-○ 公汚-○ 公針-○
経過観察 及び検査	民間-× 公汚-× 公針-○ 検査一回のみ可	民間-× 公汚-× 公針-○ 医師が必要と認めた期間可	民間-○ 公汚-○ 公針-○	民間-○ 公汚-○ 公針-○	民間-× 公汚-× 公針-○ 検査一回のみ可	民間-× 公汚-× 公針-○ 検査一回のみ可	民間-○ 公汚-○ 公針-○ 検査一回のみ可 (針刺し・汚染共)
グロブリン	民間-× 公汚-× 公針-×	民間-× 公汚-× 公針-○ 医師が認めた場合1回のみ可	民間-○ 公汚-○ 公針-○	民間-○ 公汚-○ 公針-○	民間 - 民間労働者（労災保険の取り扱い） 公汚 - 地方公務員労働者、血液・体液曝露の場合 公針 - 地方公務員労働者、針刺し切創の場合 ○ - 通達で触れており、かつ療養補償範囲内 ○ - 通達でふれていないが療養補償範囲内とみなされるもの、あるいは療養補償の範囲に関して制限があるもの × - 療養補償外		
ワクチン	民間-× 公汚-× 公針-×	民間-× 公汚-× 公針-○ 医師が認めた場合1回のみ可	民間-× 公汚-× 公針-×	民間-○ 公汚-○ 公針-○			

旧労働省通達：平成5年10月29日付け基発第619号「C型肝炎、エイズ及びMRSA感染症に係る労災保険における取り扱いについて」、地方公務災害補償基金通達：平成6年1月31日付け地基第5号「HCVまたはHIVに汚染された血液等に接触した場合における療養補償の取り扱いについて」などをもとに、吉川徹が作成したものの。

性」の場合には、「針刺し・切創」「血液・体液曝露」の場合とも、療養補償の対象とする検査を「初診時の一回分」に限定する（縫合、消毒、洗浄等の処置は認める）」との通知もあり、受傷後経過観察の期間は最小限度と認めているものの、その療養補償の期間や検査回数に関しては、現在のところその解釈が基金支部によって異なる場合がある。詳細は文献を参考にされた（6, 7, 8）。

5. そのほか最近の話題

最近、のちに判明した医療従事者のC型肝炎感染が労災補償されたケースがある（9）。これは、病院に勤務する医療従事者（看護師）が感染した「C型肝炎ウイルス」の療養に関して、労災申請を行ったところ、労基署は業務外の判定をしたのを不服として労働保険審査会に申し立てが行われた。労働保険審査会は、業務上の事由によるものと認められるとして、原処分（監督署長は、本件疾病は業務上の事由によるものとは認められないとの判断）を取り消した。詳しくは「針刺しの労災補償に係る事例（職業感染制御研究会のHP）」を参照。

また、HIV汚染血液への曝露の抗HIV薬内服についても、平成22年9月9日の通達以降、認められるようになった（10）。

参考文献

1. 「病院等における災害防止対策研修ハンドブック-針刺し切創防止版-」地方公務員災害補償基金，平成22年2月，p105-114.
2. 労働安全衛生法（1972），労働基準法施行規則第1の2第6号「細菌，ウイルス等の病原体による疾病」
3. 医療機関での産業保健の手引き．監修相澤好治，編集和田耕治．東京：篠原出版，2006年．P18-20.
4. 吉川 徹．【職業感染とセーフティマネジメント】病院での安全衛生の取り組み 職業感染予防のために知っておくこと．INFECTION CONTROL 2004; 13(6): 626-628.
5. 吉川 徹．針刺しと労災手続き．インフェクションコントロール2002年増刊；セーフティマネジメントのための針刺し対策A to Z（共著）．東京；メディカ出版，2002：229-235.
6. 感染症と労働災害（労務安全情報センター）
<http://labor.tank.jp/hoken/nintei/kansensyousainintei.html>
7. 労災保険・業務災害及び通勤災害認定の理論と実際（上巻）．労務行政研究所編，労務行政，2009年
8. 「労災保険の実務－加入手続・保険料申告から給付請求まで」厚生労働省労働基準局労災補償部補償課（編集），2002年5月
9. 医療従事者である請求人が感染した「C型肝炎ウイルス」は、業務上の事由によるものと認められるとして、原処分を取り消した事例（平成19年）
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/shinsa/roudou/07/rousai/txt/26.txt>
10. 労災保険におけるHIV感染症の取扱いについて
<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T100910K0770.pdf>

安全機能付きの鋭利器材の評価と採用の手順

CDC の提唱する 11 の基本ステップについて

はじめに

医療施設で安全機能付きの鋭利器材（以下、安全器材と略す）を導入する際には、いくつかのステップを踏んで計画的に導入することで、効果的な針刺し予防策の実践が可能となる。

米国疾病管理予防センター（Centers for Disease Control and Prevention：CDC）は、『針刺し損傷防止プログラムの計画、実施、評価に関する CDC ワークブック（Workbook for Designing, Implementing, and Evaluating a Sharps Injury Prevention Program, CDC's Division of Healthcare Quality Promotion [DHQP]）』の中で、安全器材の評価の工程を 11 の基本ステップに分けて紹介している（図 1.）（1, 2）。以下にその手順の概要を示す。

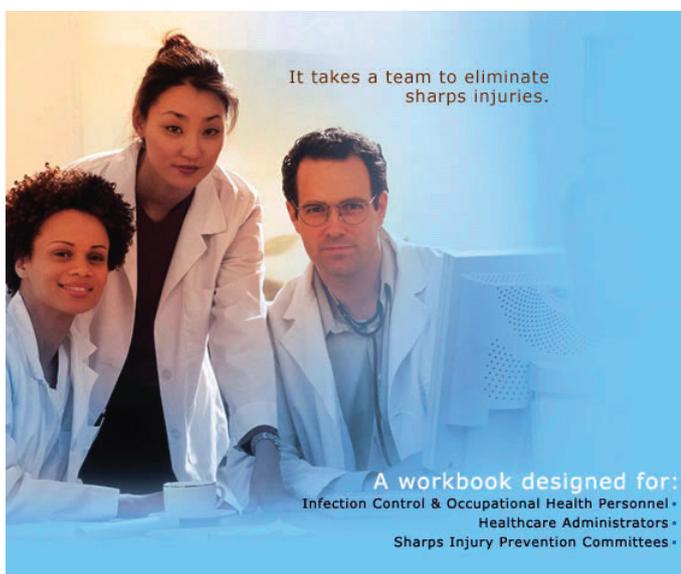


図 1. CDC ワークブックのホームページサイトより

11 の基本ステップの概要

[ステップ①：安全器材の選定 & 評価チームの組織化]

安全器材の選定 & 評価チームのメンバーには、感染制御の担当者、臨床部門の代表者（たとえば看護、内科、外科、麻酔科、呼吸療法、放射線科）、特別部門の代表者（小児科、ICU）、管理部門担当者、中央資材部門担当者などから構成すること。

[ステップ②：安全器材検討の優先順位を決める]

安全器材の選定 & 評価チームにより安全器材の検討を行う際には、日本語版エピネット報告書による届け出データの解析はもとより、CDC ワークブックに各種ツールも活用し、その優先順位を設定すること。

[ステップ③：現在使用中の安全器材に関する情報を収集する]

新しい製品を評価する前に、これまで使用していた器材に関する情報を得ること。使用量、サイズ規格、使用目的、互換性、臨床的な目的（器材性能の臨床的期待度が高い製品に関しては現場担当の医師にも当該安全器材導入のための検討チームに加わってもらう）などについて調査する。

[ステップ④：安全器材の選定基準を決定する]

安全器材の選択基準を設定し、検討すべき他の課題についてもあらいだす。設計基準（臨床的使用に必要な特徴と望ましい安全性能を含む物理的特性を規定する）、性能基準（器材が目的とする患者のケアと安全確保にどれほど良好に機能するかを規定する）を設定する。また、包装・物流・廃棄への影響も検討すべき課題である。

[ステップ⑤：入手可能な安全器材の情報を収集する]

物品管理部、製品の卸売り業者、輸入・製造元、他の施設にいる同様の業務に携わる知人、文献資料などからも安全器材に関する情報を収集する。

[ステップ⑥：サンプルの安全器材を入手する]

検討中の器材のサンプルを集めるとともに製品の営

業担当者から、供給体制（サイズ別の量）、導入時の院内での現場トレーニングや教材提供の可否、テスト用のサンプル品提供の可否などについて問い合わせること。

[ステップ⑦：安全器材の評価の調査用紙を作成する]

製品評価のための調査記入用紙を作成する。製造元が提供した調査記入用紙を用いる場合、潜在的バイアスを除去するため評価項目の事前チェックを行う。使用の難易、作業への影響、器材使用に慣れるまで要した時間などは、すべての器材について付加する。性能に関する質問は器材タイプ別に項目立てする。チームが自分で答えられるような質問を避ける。コメント記載欄を設ける。回答者に関する情報（職種、実務経験歴、新しい器材の操作のトレーニング歴など）も記録する。

[ステップ⑧：評価を実施する]

製品評価には、その器材を必要とする臨床部門の医師や看護師などの代表者を含める。評価継続期間とし2～4週間が頻回に推奨される。評価期間には、装置の使用頻度ならびに学習曲線（器材の操作に慣れるまでの時間）が含まれる。複数の器材を評価する際は、各製品につき同じ集団と同じ期間を設定する。評価製品をモニターする際には事前にトレーニングを行う。従来の器材をできるだけ撤去し、代わりに検討する器材を配置する。使用者からの器材の性能に関する反応を、2段階に分けて得ること。第1段階は非公式で、テスト開始からまもなく実施する。評価委員は器材がテストされている臨床エリアを巡回し、第一印象を得るために使用者と話し合う。第2段階には製品評価記入用紙を使用し、記録に残す。

[ステップ⑨：評価データの集計と結果の解析する]

調査用紙からデータを集計する。いくつかの因子が製品評価の結果に有利な、あるいは不利な影響を及ぼす場合がある（a. 従来の器材に対するスタッフの経験と好み、b. 製品評価の工程への参加に対する態度、c. 病棟医長や看護師長などのリーダーの意見の影響、d. 製品評価チームのメンバーや製造元の営業担当者のコメント、e. 患者の反応など）。

[ステップ⑩：好ましい安全器材の選択する]

現場使用者のフィードバックおよび評価チームにより得られた情報に基づき製品の選択を行う。新規に採用した安全器材導入時には、製品のトレーニングの実施と既存の製品との置換について調整する。また、第2選択の製品を代わりとして考慮すべきか、従来品の器材の在庫を再開すべきか、もし従来品の器材がまだ他の目的に利用されている場合は、さしあたりの需要

に見合うために在庫を増やすべきかなどについても検討する。

[ステップ⑪：安全器材採用後の針刺し損傷に関する実態を調査する]

いったん新しい器材が採用されたら、フォローアップ調査を通じて使用者が新規採用した安全器材に引き続き満足しているかどうかの評価を行い、評価期間中に予想または検討されなかった問題にも対処する。採用後の安全機能に関するコンプライアンスも継続して調査する。

【参考文献・資料】

- 1) <http://www.cdc.gov/sharpssafety/index.html>
- 2) 満田年宏監訳．針刺し損傷防止プログラムの計画、実施、評価に関する CDC ワークブック．86p. 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社企画，国際医学出版株式会社発行（非売品），2005．（図 2.）
※以下 URL より無料でダウンロード可能 (<http://www.bdj.co.jp/safety/1f3pro000009cv6w.html>)。
- 3) 本資料は以下 URL より無料でダウンロード可能です：<http://jrgoicp.umin.ac.jp/related/CDCワークブック監訳版.pdf>

針刺し損傷防止プログラムの 計画、実施、評価に関する CDCワークブック

監訳 満田 年宏
横浜市立大学医学部附属病院
臨床検査部 講師



図 2. CDC ワークブック日本語監訳版表紙より

安全な注射処置（ワンアンドオンリーキャンペーン）の考え方

医療は本来、病気を治すためにありますがその医療行為により様々な被害に合う場合があります。被害は治療を受ける患者さんばかりか、針刺しなど治療に携わる医療従事者にも及ぶ場合があります。本研究会で展開しているキャンペーン『安全な注射処置を知っていますか？』では、主に感染予防と誤投薬防止の観点から広く我が国の医療従事者の皆さんにはたらきかけるものです。

米国では注射処置を介した肝炎ウイルスや細菌による感染事例が、毎年発生しておりその要因として注射針 - 注射器 - 注射薬剤を何れも 1 回のみ使用するというルールが守られていないことにより発生していると米国疾病対策センター (CDC) は分析しています (<http://www.cdc.gov/injectionsafety/1anOnly.html>) (1, 2)。CDC は現在、こうした不適切な医療の提供により発生した感染事例をなくす取り組みとして、『One and Only キャンペーン』を展開しています (<http://www.oneandonlycampaign.org/>) (図 1)。“One and Only” の考え方は少なくとも 1 本の注射針を 1 本のシリンジに装着し注射剤を取り分け使用したら、針もシリンジも注射剤も汚染や誤投与を防ぐた

めに何れも 1 回のみ使用に限定して決して再使用しないというものです (可能な限り注射剤も単回使用で運用することを勧めています)。多用量バイアルをやむなく使用する場合には、特定の 1 個人の患者さん専用とし、他の患者さんとの共用は絶対避けるよう指示しています (この場合も、同じ患者さんに対してでも必ず毎回新しい注射針 - シリンジを使用します)。また、残液は速やかに廃棄し、保管しないようにします。針刺し予防のために、金属針を避けプラスチック製のカニューラにより注射薬剤を取り分けたり、患者さんの処置の際には安全機能付きの注射針を使用することが望まれます。

私たち職業感染制御研究会が日本国内で実施する“安全な注射処置を知っていますか？”キャンペーンは、この“One and Only キャンペーン”の考え方を広く日本の医療にも浸透させ、安心・安全な医療を患者さんに提供することを目標にしています。CDC のウェブサイトから日本語化された CDC の分かりやすい動画 (図 2) やポスター (図 3)、パンフレットなどの資料がダウンロード可能ですので是非ご活用下さい (3)。

図 1. CDC によるオンリーワン・キャンペーンのための特設ウェブサイト (<http://www.oneandonlycampaign.org/>)

ABOUT THE CAMPAIGN | LEARN ABOUT SAFE INJECTION PRACTICES | HEALTHCARE PROVIDER INFORMATION | PATIENT INFORMATION | MEDIA & EVENTS | CONTACT US

1 ONE NEEDLE, ONE SYRINGE, ONLY ONE TIME.

Safe Injection Practices Coalition
www.ONEandONLYcampaign.org

The One & Only Campaign is a public health campaign aimed at raising awareness among the general public and healthcare providers about safe injection practices.

[Learn More About Our Pilot Sites](#)

EVENTS
One needle, One syringe, Only ONE Time
Healthcare coalition launches new training video to halt spread of infections and address a serious public health problem. [Read More >](#)

NEWS
Reusing Needles Poses Great Danger
HONOReform's President and Founder Dr. Evelyn McKnight reacts to outbreak in New Mexico. [Read More >](#)
Midlands Voices: How to prevent

[SAFE INJECTION PRACTICES VIDEO](#)

[SIGN UP FOR EMAIL UPDATES](#)

[SIGN UP](#)

図 2. 日本語版の安全な注射処置の啓発のための動画資料

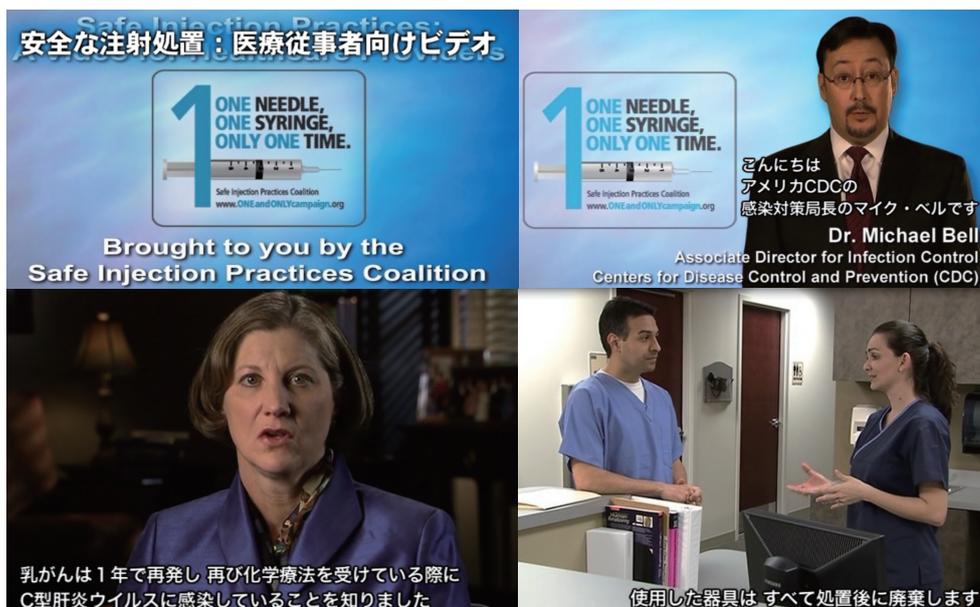
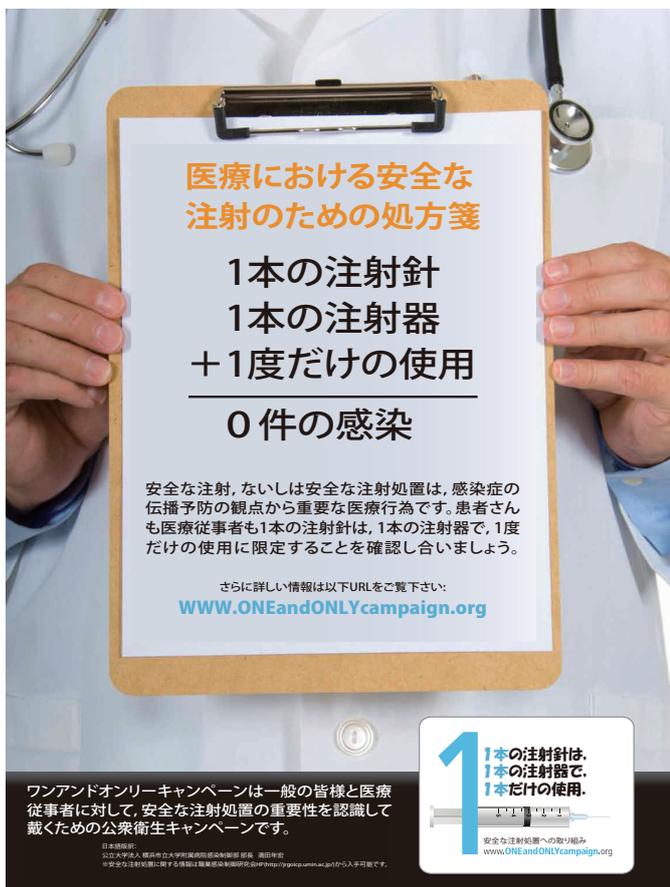


図 3. CDC によるオンリーワン・キャンペーンのために作成されたポスター例



参考資料

- (1) 満田年宏 . Expert nurse (照林社) . 安全な注射処置の実践 25(11)32-37, 2009
[http://jrigoicp.umin.ac.jp/oneandonly/Expert%20nurse 誌_安全な注射処置の実践 .pdf](http://jrigoicp.umin.ac.jp/oneandonly/Expert%20nurse%20誌_安全な注射処置の実践.pdf)
- (2) 満田年宏 . 感染制御 . CDC による “One and only campaign” について . 6(6), 507-510, 2010
http://jrigoicp.umin.ac.jp/oneandonly/感染制御誌_One%20and%20only%20campaign.pdf
- (3) 安全な注射処置に関するキャンペーンの日本語版各種関連資料

以下資料は CDC の運営するワンアンドオンリーキャンペーン・サイト (<http://www.oneandonlycampaign.org/content/translated-resources>) からダウンロード可能。

- ① 安全な注射処置の啓発ポスター：安全な注射のための処方箋（日本語版）
- ② 安全な注射処置の啓発ポスター：それが基本です！（日本語版）
- ③ 患者さん向け資料（日本語版）
- ④ 医療従事者向け資料（日本語版）
- ⑤ 安全な注射処置のポケット版解説書（日本語版）
- ⑥ 安全な注射処置に関する解説ビデオ（日本語版）

本カタログ集の器材別リスクと対策の解説に用いた 針刺し切創データについて

本カタログ集の器材別リスクと対策の解説に用いた針刺し切創データは、エピネット日本版サーベイランス 2011 (JES2011) の主要な結果を引用した。本データの作成方法は以下の通り。

1. 調査の目的、企画・実施主体、倫理審査

JES2011 は日本の針刺し切創事例等の発生動向を把握し、針刺し切創の発生リスク要因の解明と予防策の提案する目的で計画された。企画・実施は、職業感染制御研究会・エピネット日本版サーベイランスワーキンググループ (JESWG) が行った。本研究は JESWG 構成員の所属機関において倫理審査を受けた (倫理審査結果受理、2009 年 4 月)。

2. 対象施設の選定とデータ回収方法

1) 対象施設の選定：2009 年 7 月にエイズ拠点病院 364 施設を対象に、エピネット日本版全国サーベイランス (JES) への参加を呼びかけ、117 病院が文書で参加表明ありと回答した。2009 年 7 月～9 月にエピネット日本版サーベイランス 2009 (JES2009) を実施。2011 年 8 月に JES2009 参加施設に対し、

JES2011 への参加依頼、84 施設が JES2011 に参加意向ありと回答。

2) 2011 年 8 月に上記 84 施設に対し、エピネット日本版 A、B による針刺し切創、血液体液曝露事例を、電子データ形式 (Episys201A&B) で提供を依頼した。2011 年 10 月までに 78 施設から JES2011 事務局にデータの提供があった。2011 年 12 月以降にデータクリーニング、分析を行った。本調査結果の概要は 2012 年 2 月に日本環境感染学会で概要を報告し、報告概要を職業感染制御研究会 HP 上で公開している。

3. データ分析方法

JES2011 参加施設において 2009 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日の期間に発生した針刺し切創事例で、Episys201A に入力されたデータを分析した。解析が可能であったデータは 76 施設における 5,756 件である。Episys201A のクロス集計機能を利用して分析をした。解析に利用したそれぞれのデータ件数を表に示した。

表 器材カテゴリ別の針刺し切創リスクの解説に用いた JES2011 のデータ数*

1. 使い捨て注射針 (10 器材、カテゴリ 1 使い捨て注射器の針、n=1,463)
2. 真空採血セットの針 (10 器材、カテゴリ 7 静脈採血、n=866)
3. 動脈採血器具 (8 使用目的、カテゴリ 8 動脈採血、n=150)
4. 翼状針 (10 器材、カテゴリ 6 翼状針、n=657)
5. 静脈留置針 (10 器材、カテゴリ 7 静脈留置針、n=350)
6. 接続システム (8 使用目的、カテゴリ 1 中空針、n=3674)
7. 皮膚穿刺器具 (8 使用目的、カテゴリ 10 耳介・指・足底など穿刺、n=104)
8. 縫合針 (10 器材、カテゴリ 31 縫合針、n=965)
9. メス (10 器材、カテゴリ 32 再使用する外科用メス、n=83)
10. 廃棄容器 (JES2011 データ、全体集計、n=5,756)
11. 透析関係、(4 発生場所、カテゴリ 9 透析室、n=54)

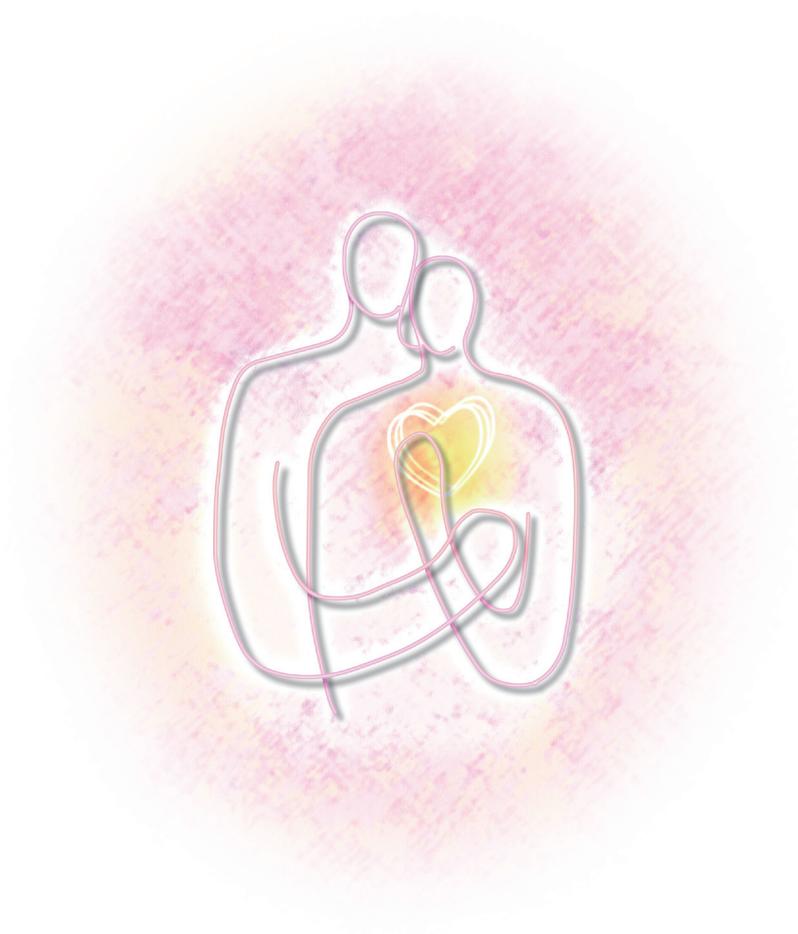
* 職業感染制御研究会 JESWG 実施のエピネット日本版サーベイランス 2011 (JES2011) のデータより抽出

※「針刺し事故」などの「事故」や「誤刺」には、受傷者の過失やミスの意味合いが色濃く含まれます。鋭利器材を使用する医療現場などでは、血液・体液曝露が発生することを前提とした対策が必要です。本研究会では事象をそのまま表現する、「血液・体液曝露」、「針刺し・切創」、「接触曝露」などの表現を使用することを提案しています。

※ 啓発のためのビデオ“事例から学ぶ針刺し・切創，血液・体液曝露の脅威”について職業感染制御研究会では日本環境感染学会教育委員会と共同で作成しました。本ビデオは Youtube から視聴することができます（© 日本環境感染学会 2010）。



安全器材カタログ集



翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューパー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

パチル・ライン
アクセスポート

その他

胃ろう

シャワーブース
マネジメント

廃棄容器

針・鋭利器材の一生と 針刺し危険ゾーン

医療現場には血液・体液ばく露のリスクがたくさんあります。

採血

- ・採血針
- ・翼付採血セット
- ・動脈採血セット…



分注時のリスク!



手渡し時のリスク!



あッ



手術室

- ・メス
- ・縫合針
- ・注射針
- ・静脈留置針…

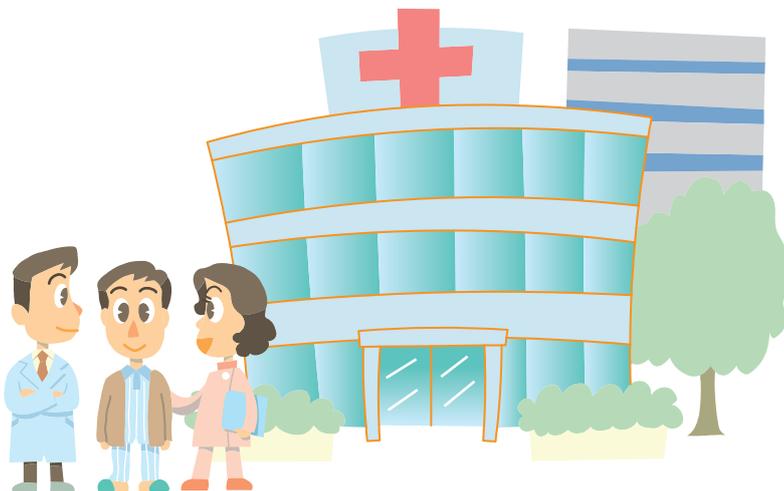
ナースステーション

- ・注射針…

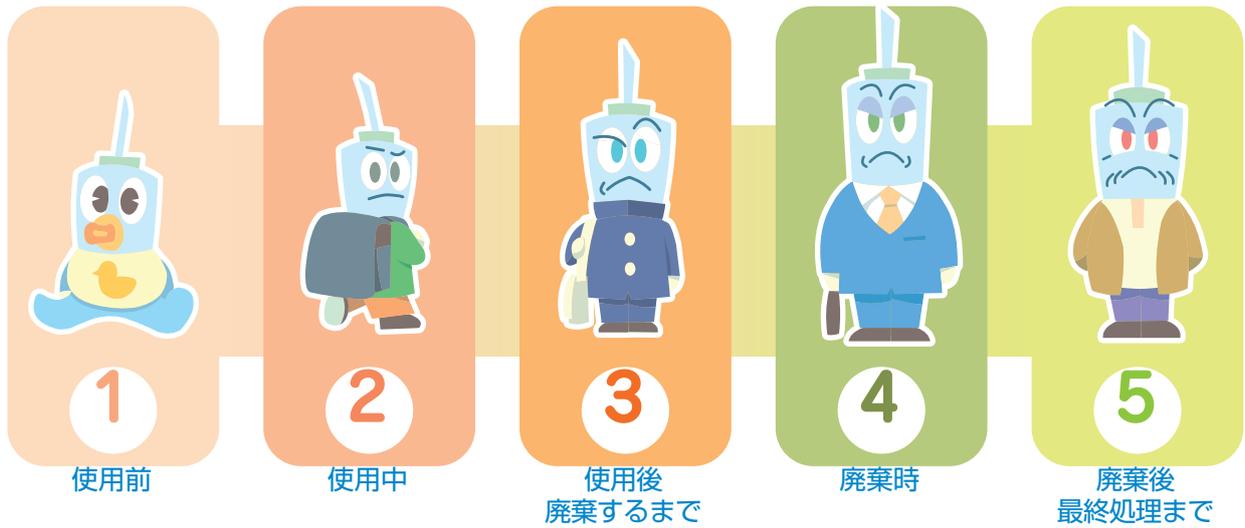
あッ



調剤時のリスク!



針・鋭利器材には、使用前から廃棄後まで針刺しリスクが続きます。



製品紹介掲載企業一覧

アークレイ マーケティング株式会社	〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-20-20 大雅ビル 4F Website http://www.arkray.co.jp/	TEL 050-5527-7000
アボットジャパン株式会社	〒108-6305 東京都港区三田 3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館 Website http://www.abbott.co.jp/	TEL 03-4555-1300
株式会社アムコ	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-8-7 Website www.amco.co.jp	TEL 03-3265-4263 FAX 03-3265-2796
株式会社エフスリー	〒451-0072 名古屋市西区笠取町 3-415 Website http://www.fthree.co.jp/	TEL 052-522-5226
有限会社グツツール	〒567-0031 大阪府茨木市春日 2-3-7 3F Website www.googtool.biz	TEL 072-627-5518
日本コヴィディエン株式会社	〒158-8615 東京都世田谷区用賀 4-10-2 Website www.covidien.co.jp	TEL 0120-998-971
株式会社三和化学研究所	〒461-8631 名古屋市東区東外堀町 35 番地 Website http://www.skk-net.com/	TEL 0120-07-8130 FAX 052-950-1861
株式会社ジェイ・エム・エス	〒140-0013 東京都品川区南大井 1-13-5 新南大井ビル Website www.jms.cc/	TEL 03-6404-0601 FAX 03-6404-0611
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-5-2 Website http://www.ethicon.jp/	TEL 03-4411-7901
テルモ株式会社	〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1 Website http://www.terumo.co.jp/	テルモ・コールセンター 0120-12-8195
株式会社トップ	〒120-0035 東京都足立区千住中居町 19 番 10 号 Website http://www.top-tokyo.co.jp/	TEL 03-3882-7741 FAX 03-3882-7744
株式会社ニチオン	〒273-0018 千葉県船橋市栄町 2-12-4 Website http://nition.jp	TEL 047-431-1971 FAX 047-431-1972
ニプロ株式会社	〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-3-13 Website http://www.nipro.co.jp/	TEL 06-6373-0563 FAX 06-6373-0564
ハクゾウメディカル株式会社	〒540-0025 大阪市中央区徳井町 2-4-9 Website http://www.hakuzo.co.jp/	TEL 06-6942-0390 FAX 06-6942-2662
原田産業株式会社	〒542-0081 大阪市中央区南船場 2 丁目 10-2 Website http://www.medical.haradacorp.co.jp	TEL 06-6244-0978
株式会社パルメディカル	〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-9-17 スリーセブンビル 6F Website http://www.palmedical.co.jp/	TEL 03-5821-0607
ビー・ブラウン エースクラップ株式会社	〒113-0033 東京都文京区本郷 2-38-16 Website http://www.bbaj.jp/	TEL 03-3814-2704
富士システムパック株式会社	〒153-0063 東京都目黒区目黒 1-3-23-415 目黒苑ビル Website www1.odn.ne.jp/fujisystempack/	TEL 03-3494-8551 FAX 03-3494-8577
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社	〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ Website www.bd.com/jp/	カスタマーサービス 0120-8555-90
株式会社ホギメディカル	〒107-8615 東京都港区赤坂 2-7-7 Website www.hogy.co.jp	TEL 03-6229-1300 FAX 03-6229-1344
メディキット株式会社	〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 Website http://www.medikit.co.jp/	TEL 03-3839-0201 FAX 03-3839-3977
株式会社メディコン	〒541-0046 大阪市中央区平野町 2 丁目 5-8 Website http://www.medicon.co.jp	TEL 06-6203-6541
株式会社モレーンコーポレーション	〒164-0003 東京都中野区東中野 5-1-1 ユニゾンモール 3F Website http://www.moraine.co.jp	FAX 03-5338-3912 TEL 03-5338-3911

1. 翼状針

■ **リスク** リスク 針刺し切創事例のうち、翼状針が原因で発生している針刺しは約 11.4%を占める。とくに、針刺しを生じた翼状針の使用場面は、1) 静脈採血 (69.7%)、2) 注射器を用いた経皮的注射 (13.5%)、3) 静注、持続点滴含む末梢血管確保 (11.3%)% である。

器材を患者に使用中 (43.4%)、破棄ボックスに捨てる時 (11.7%)、リキャップされていない翼状針の使用後から廃棄するまでの間 (9.9%) に針刺しが多発する。翼状針のキャップは小さいことから、リキャップ時に特に針刺しをおこしやすい。また翼状針の種類によってはルートの部分に「くせ」がついているため、抜針後に翼状針が踊ってしまい、針の先で切創を生じている事例もある。これらを防ごうと、翼状針を点滴のボトルに刺したり、針処理用のスチロール等に刺して片付けている例もあるが、鋭利部分の処理が完全でないため、適切に処理されない翼状針の片付け時の針刺しが多発している。

採血に利用する翼状針は血液を吸い上げているため、針刺し時の血液伝播量が多く、感染リスクが高くなる。翼状針による針刺しは、安全装置付き器材の利用で劇的にそのリスクを減らすことができる。

■ 対策

- ・リキャップ禁止を徹底し、使用後も翼状針を点滴のボトルに刺したり、使用後にラインをはさみで切ったりなどの行為は針刺しを生じやすいので禁止する。
- ・採血や静脈注射には、できる限り抜針と一連の動作で針先がカバーされる針刺し防止装置付きの翼状針を使用する。
- ・安全装置付き翼状針には、引き込み型、シールド付き翼状針などがあるが、これらの装置を正しく取り扱われるように教育を行なう。
- ・ゴム管への注入時など移し変え時の針刺しリスクを減らすため、採血時はできる限り患者から真空管等へ直接血液を採取できる真空採血手法を採用する。
- ・翼状針を取り扱う時には、翼をしっかりもって作業にあたる。
- ・作業をする際は、携行型廃棄容器または廃棄用のトレイを持参する。
- ・採血や血管確保時、抜針時には、あらかじめ固定テープ等を準備する。可能ならば患者様にも止血などの際に協力を得る。

商品名	シユアシールド® SVセット	翼状針
<div style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">安全機構</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 抜針する際、針刺し防止カバーを針側に倒し、ロックする位置まで押し込むだけで、針刺し防止カバーが針を覆います。 ● 抜針からカバーロックまで、片手で安全に操作出来ます。 		
<div style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">その他の特長</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 可塑剤DEHPを使用していないので、脂溶性の薬剤や界面活性剤を含む薬剤に対しても溶出が少ない。 ● 静脈針は翼に対してやや下方に角度をつけて固定されているため、翼は皮膚にぴったりと密着し、血管壁への負担を低減します。 		
		
		
<div style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">資料請求先</div> テルモ株式会社		
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 テルモ・コールセンター 0120-12-8195 (9:00~17:45 土・日・祝日を除く) Website http://www.terumo.co.jp/		
医療機器承認番号 21100BZZ00549		

商品名

BD バキュティナ® プッシュボタン ブラッドコレクションセット

翼状針

安全機構

- 指でボタンを押すだけで、簡単に安全機能が作動します。
- 採血後、針が血管内にある状態で安全機能を作動させるので、抜針後の針刺し損傷を予防できます。
- 片手操作が可能のため、効率的な採血手技を実施できます。

その他の特長

- 本体部分でフラッシュバック（逆血）も確認できます。



販売名 BD バキュティナ ブラッドコレクションセット
医療機器認証番号 220AFBZX00064000

資料請求先

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社：〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス
☎0120-8555-90
FAX : 024-593-3281



商品名

ニプロセーフタッチ® PSVセット

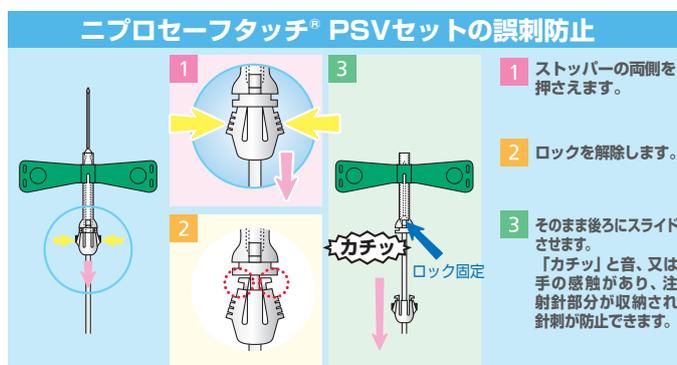
翼状針

安全機構

- (抜針時収納型)翼付針を抜針する際に、根元部分にあるストッパーの両側を押さえて引けば注射針部分が収納できます。
- 「カチッ」という音、又は手の感触があり、注射針部分が収納され針刺しが防止できます。リキャップの必要がありません。

その他の特長

- 翼付針として、これまでと同様の取り扱いができます。
- コネクターは、ソフトタイプとロックシリンジ等に接続可能なハードタイプの2種類があります。



NIPRO 医療機器認証番号 219AABZX00291A01

資料請求先

ニプロ株式会社

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-3-13
TEL 06-6373-0563(ダイヤルイン) FAX 06-6373-0564
Website <http://www.nipro.co.jp/>

商品名

セーフティSVセット

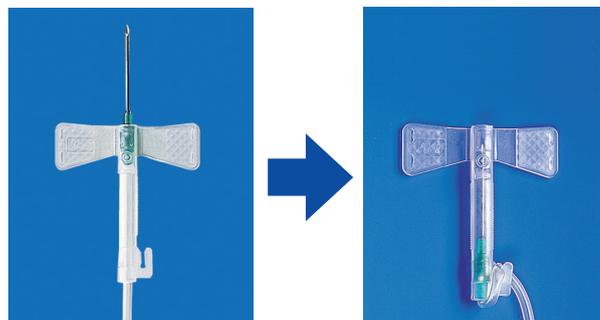
翼状針

安全機構

- 使用後、チューブを引くことにより針先が本体内に収納され、廃棄時の針刺し切創を防止します。
- リキャップは不要で、液ダレ防止機能としてストッパをつけているので、針の収納完了後、チューブをストッパにかけることによりチューブ内の残液の液ダレや飛沫を軽減します。

その他の特長

- フラッシュバックの確認が容易です。
- ハブ部分はソフトタイプとロックタイプの2種類あります。



JMS

医療機器認証番号 15700BZY00102000

資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号
新南大井ビル

TEL 03-6404-0601 FAX 03-6404-0611

Website www.jms.cc/

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューパー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

バチアル・ライン
アクセスポート

その他

胃ろう

シャープメント
マネジメント

廃棄容器

商品名

ファインガード® 翼状針

翼状針

安全機構

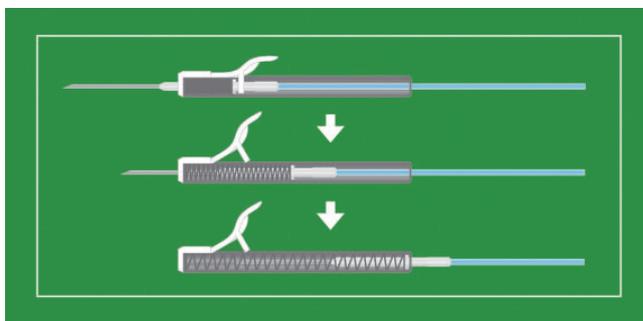
- 抜針と針の収納を同時に行えるオートレシーブ機能®により、廃棄時の針刺しや血液曝露などから、医療従事者の方の安全を守ります。

その他の特長

- 引きぬく方向では切れないカッティングにより、抜針時に血管などを傷つけません。
- レバーを引き上げると作動する安全機構（オートレシーブ機能®）は、留置中の偶発的な誤作動を減少させます。



《オートレシーブ機能のメカニズム》



医療機器認証番号 219AABZX00185000

資料請求先

株式会社トップ

〒120-0035 東京都足立区千住中居町19番10号
TEL 03-3882-7741 FAX 03-3882-7744

製品お問合わせ

https://www.top-tokyo.co.jp/cgi/form/f_medical/

Website http://www.top-tokyo.co.jp/

2. 静脈留置針

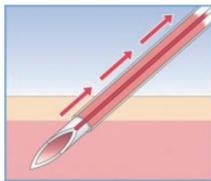
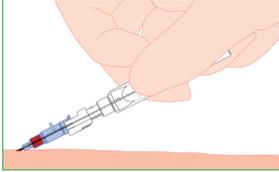
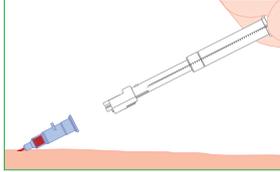
■ **リスク** 静脈留置針の内針（スタイレット）は、口径が大きく血液を吸い上げているため、針刺しに伴う血液媒介病原体の伝播リスクは比較的高い。米国での職業性 HIV 伝播のいくつかの例は静脈留置針の内針が原因と報告されている。静脈留置針による針刺しは看護師（52.0%）、研修医（21.7%）、医師（18.9%）である。約50%が病室で発生しているが、病室外、救急部門でもそれぞれ1割程度発生している。その他、CT室などの特殊検査室、透析室、手術室などでも発生しており、静脈確保が必要な場面は病院施設内に数多くあるため、その場所全てに針刺しリスクがある。

血管穿刺後に内針を抜針した直後、カテーテルのテープ固定や輸液ラインへの接続などの処置の合間、リキャップ時に針刺しが多発する。日本では、特に使用後から片付けの場面で多発し、介助者も負傷しやすいことに特徴がある。さらに、日米比較研究から、日本では静脈留置針による足への針刺し受傷が多いことが知られている。これは、静脈確保時に作業者の手の届く範囲に廃棄容器がない、介助者が使用後の針を手渡しで受け取るなどの静脈確保時の作業習慣や足の保護具が不十分、などが影響している。

注：2004年4月から、安全装置付きの静脈留置針は従来品より償還価格が高く設定されている。

■ 対策

- ・リキャップ禁止を徹底し、抜針後すぐに廃棄できる廃棄容器を活用する。
- ・血管確保直後、処置の合間、リキャップ、針を廃棄するまでの片付け時の針刺しが多いことから、抜針と同時に針先が保護される機能のついた安全器材を利用する。製品によって、内針全体が保護されるものと、先端のみが保護されるものがある。
- ・安全機能の作動様式には能動的と受動的なものなど様々なものがあるため、安全装置の使い方について作業者に訓練する。安全装置付き静脈留置針を使用したからと言って針刺しリスクがゼロになるわけではなく、器材ごと、使用方法ごとで針刺しリスク低減効果が異なることもありうる。
- ・使用後の静脈留置針の内針を手渡ししない。やむをえず渡すときはトレイを利用し、必ず介助者に一声かける。
- ・「使用者廃棄の原則（針を使用した人が最後まで責任持って捨てる）」を守る。
- ・静脈血管確保時 / 抜針する前に、あらかじめ固定テープ等を準備し、近くに廃棄容器があるか確認を行なった上で静脈確保の処置を行なう。

商品名	サーフロー® V3	静脈留置針
安全機構		
<ul style="list-style-type: none">● 内針を引き抜くだけで、自動で針全体がカバーされるため、針刺しリスクに対応しています。● 自動で針全体がカバーされるため、血液飛散や周囲への血液付着リスクに対応しています。● カテーテルハブに止血弁を内蔵しているため、血液曝露リスクに対応しています。		
その他の特長		
<ul style="list-style-type: none">● 内針に独自の溝加工を施すことにより、カテーテルが血管に入った瞬間を目で確認することができます。● カテーテル材質には、血管内では柔軟になるポリウレタンを採用しています。		
OKフラッシュ™ 見えるから安心!		
		
		
		
		
2 グリップをまっすぐ抜き始めると、セーフティカバーが伸び始めます。		
2 針先端までカバーされると、カテーテルハブと分離します。		
医療機器認証番号 224AABZX00015000		
TERUMO®		
資料請求先		
テルモ株式会社		
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 テルモ・コールセンター 0120-12-8195 (9:00~17:45 土・日・祝日を除く) Website http://www.terumo.co.jp/		

安全機構

- 内針を引き抜くと同時（自動的）に、セーフティカバーが針先を保護し、針刺しを防止します。
- 外觀が通常使用している留置針とほぼ同様で、いつもと同じ穿刺感覚が得られます。

その他の特長

- 針先だけを被うセーフティカバーなので、廃棄量も少なくて済みます。
- カテーテル材質はフッ素樹脂（ETFE）であり、適度なコシがあり、穿刺操作が容易。さらにX線造影が可能なラジオペークストライプタイプです。



医療機器承認番号 21300BZZ00414



資料請求先

テルモ株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1
 テルモ・コールセンター 0120-12-8195
 (9:00~17:45 土・日・祝日を除く)
 Website <http://www.terumo.co.jp/>

安全機構

- カテーテル挿入後、作動ボタンを押すと内針がセーフティバルブに自動的に引き込まれます。
- 血液逆流防止機能が血液曝露のリスクを低減します。
- 血液残存のリスク低減のためカテーテルハブ内のフラッシュ性能を向上しました。
- 接触汚染のリスク低減のためカテーテルハブのデザインを一新しました。

その他の特長

- バイアロンマテリアルは柔軟性があり、カテーテルがキンクしにくい素材です。
- 20/22/24Gには、血液の逆流を確認する側孔付内針を採用しています。
- 固定に優れた翼付きタイプもラインナップしております。



さらに進化したセーフティ
 Making safety safer[™]

販売名 BD インサイト オートガード
 医療機器認証番号 20500BZY00636000

資料請求先

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
 〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
 本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス

☎0120-8555-90
 FAX: 024-593-3281



商品名

BD ネクシーバ™ クローズドIVカテーテル システム

静脈留置針

安全機構

- パッシブタイプ (先端カバー型) 針刺し損傷防止安全機構
- 頑丈な先端カバーは、針刺し損傷と血液飛散を防止できるように設計されています。
- 一体型延長チューブ
- 穿刺時の逆血がチューブ内へ流れる事により、血管確保の状況が継続的に目視確認できます。
- 血液曝露のリスクを低減します。
- 従来のカテーテルハブと延長チューブ等での接続不良や接触汚染トラブルを解消します。
- プラグのフィルターとクランプの操作により、チューブ内の血液・輸液をコントロールできます。
- 固定用プラットフォーム
- 安定した固定が実現できます。
- 凹凸が無いことから、カテーテル固定部での皮膚損傷を軽減できます。

その他の特長

- 耐圧延長チューブ (~300PSI) の材質は耐薬品性にも優れているPVCフリーを採用しております。
- ダブルポートタイプはBD Qサイト™を採用しております。



販売名 BD ネクシーバ
医療機器認証番号 220AFBZX00118000

資料請求先

製造販売元
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス
☎0120-8555-90
FAX: 024-593-3281



商品名

スーパーキャス 5

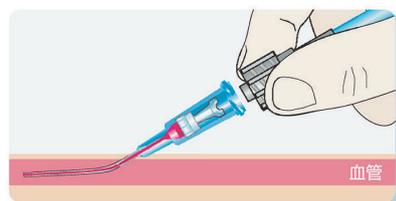
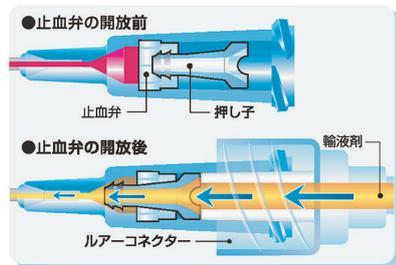
静脈留置針

安全機構

- 作動ボタンを押すことで内針を速やかに安全カバー内に収納できます。
- 内針フルカバー構造により、針刺し・切創のリスクを低減できます。
- カテーテルハブに内蔵の止血弁により、圧迫止血は不要です。

その他の特徴

- 片手操作で簡単に安全機構を作動できます。
- 側孔付内針で血管確保をカテーテル上ですばやく確認できます。
- カテーテルは血管に入ると柔らかくなる特殊ポリウレタン製です。
- コンパクトサイズのフルカバー構造により廃棄量を低減します。
- 止血弁の無い製品もご用意しております。



医療機器承認番号
15600BZZ00792000

資料請求先

発売元 **メディキット株式会社**
〒113-0034 東京都文京区湯島1-13-2
TEL 03-3839-0201 FAX 03-3839-3977
製造販売元/東郷メディキット株式会社
宮崎県日向市大字日知屋字亀川17148-6
URL: <http://www.medikit.co.jp/>

商品名

スーパーキャス Z3

静脈留置針

安全機構

- 安全カバーをスライドすることで、内針を安全カバー内に収納します。
- 血液との接触を無くし、感染から守ります。
- カテーテルハブに内蔵の止血弁により、圧迫止血は不要です。

その他の特徴

- カテーテルは血管に入ると柔らかくなる特殊ポリウレタン製です。
- 止血弁により血液漏れがないため、衛生的に回路接続ができます。
- シリンジを挿入して採血を容易に行うことができます。



世界初の新機構「止血弁」

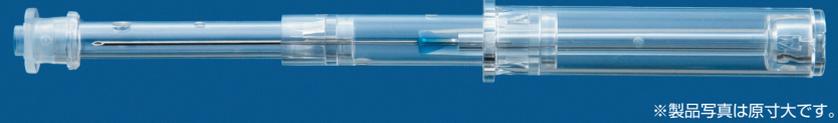


ラインを接続すると押し子が押されて止血弁を開口させルートを確保します。
※圧迫止血効果は1回限りです。

穿刺前



穿刺後



医療機器承認番号
15600BZZ00792000

資料請求先

発売元 **メディキット株式会社**
〒113-0034 東京都文京区湯島1-13-2
TEL 03-3839-0201 FAX 03-3839-3977
製造販売元/東郷メディキット株式会社
宮崎県日向市大字日知屋字亀川17148-6
URL: <http://www.medikit.co.jp/>

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

パチル・ライン
アクセスポイント

その他

胃ろう

シャープメント
マネジメント

廃棄容器

商品名

ニプロセーフタッチ[®] キャス

静脈留置針

安全機構

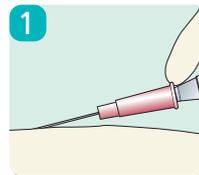
- カテーテル留置後、スライダーを引き上げてください。「カシャ」と音がすれば内針がボディ内に収納します。
- 針刺し防止だけでなく、体液曝露を防止できます。

その他の特長

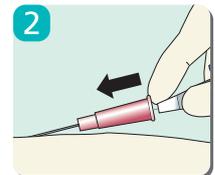
- スライダー引き上げ式を採用。
シンプルな操作性を残しながら同時に誤作動も防止できます。



誤作動防止設計



消毒した穿刺部に穿刺してください。この時スライダーには絶対に触れないでください。



フラッシュバックが認められたら内針が動かない様にボディを固定しカテーテルを必要な深さまで進めてください。



3 カテーテル留置後



内針がボディ内へスライドします。「カシャ」と音がすれば完全に収納されます。

カテーテルが動かない状態にし、スライダーを上方向に引き上げて下さい。

NIPRO 医療機器承認番号 21200BZZ00479000

資料請求先

ニプロ株式会社
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-3-13
TEL 06-6373-0563(ダイヤルイン) FAX 06-6373-0564
Website <http://www.nipro.co.jp/>

商品名

イントロカン セーフティ

静脈留置針

安全機構

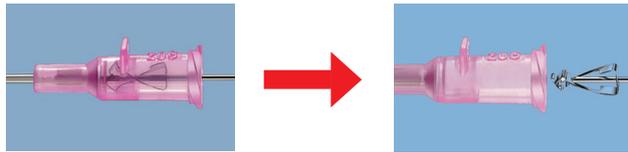
- 内針を引抜くと自動的にセーフティクリップが針先をカバーするパッシブセーフティです。
- 今までの静脈留置針と同じ使い方で、特別な操作をすることなく安全機構が確実に作動します。

その他の特長

- カテーテル素材には、常温(22℃)ではコシがあり、体内(37℃)に入ると柔軟性のある血管にやさしいポリウレタンを採用しています。
- すり鉢状に加工されたカテーテルハブ(ラウンドエッジハブ)は留置後のカテーテルの曲がりによるキंक防止に役立ちます



ラウンドエッジハブ&カテーテル



セーフティクリップ作動機序

医療機器認証番号 223AABZ00030000

資料請求先

ビー・ブラウンエースクラップ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-16
 TEL 03-3814-2704 FAX 03-3814-3752
 Website <http://www.bbaj.jp/>

商品名

イントロカン セーフティ 3

静脈留置針

安全機構

- 安全機構が自動的に作動するパッシブセーフティです。
- 血液曝露防止弁により、カテーテルハブからの血液曝露リスクを軽減します。

その他の特長

- 複数回機能する血液曝露防止弁は、輸液前に採血をする場合に有用です。
- 工夫されたカテーテルハブの形状とウイングにより、安定した固定を実現します。
- ルアーロックタイプの輸液ラインを使用される場合、ロックリング部が患者さまの皮膚に接触しにくい設計の為、皮膚トラブル発生リスクを軽減できます。

さらなる安全性への3つの機能

① 自動的に作動するパッシブセーフティ

針刺し事故防止に貢献。針刺し事故防止のためのセーフティクリップはボタン等を押すことなく自動的に針先を保護します。また、内針抜き取り時の血液飛散も防止します。

③ 安定した固定を実現

血管外漏出・機械的静脈炎のリスク減少

② 複数回機能する止血弁

輸液前に採血をする部署(救急・外来等)では有用



医療機器認証番号 223AABZ00030000

資料請求先

ビー・ブラウンエースクラップ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-16
 TEL 03-3814-2704 FAX 03-3814-3752
 Website <http://www.bbaj.jp/>

3. 真空採血器具関連（ワンタッチ採血ホルダー、翼付採血セットなど）

■ **リスク** 採血は血液を吸い上げた中空針を使用するため、血液媒介病原体への伝播リスクが高い行為である。採血には様々な器具が用いられているが、日本で静脈採血時の針刺し原因器材は、翼状針（52.9%）、使い捨ての注射器の針（27.8%）、真空採血セットの針（13.0%）の3種類である。

採血時の針刺しは、半数以上（60.3%）が病室で発生している。また病室外（9.4%）や中央採血処置室（12.0%）でも発生している。採血中や使用後の鋭利器材を病室外に持ち出して、廃棄ボックスへ捨てるまでの処理中過程で針刺しが多発する。廃棄ボックスに捨てる時（14.4%）、患者に使用中（29.4%）、リキャップ時（9.2%）の順で多い。とくに、リキャップ時の針刺し、使用後から廃棄するまでの間などで受傷リスクが高い。ゴム管・ゴム栓（真空採血管等）への注入時には、針が狙いから外れて対側の手に刺さる、管に血液を注入しているときに血液が「吹き飛ば」、針を栓から抜くときに突然外れて、そのはずみで作業者に突き刺さる、などがありうる。したがって、採取血液の移し替えなど煩雑な作業手順を要する採血よりも、患者から真空採血管等へ直接血液を採取できるほうがはるかに安全性が高い。

■ 対策

- ・採血後にはリキャップを禁止する。
- ・ベッドサイドにおける採血時の針刺し対策を優先的に検討する。
- ・鋭利器材用の廃棄容器を採血場所に設置する。もしくは携行用廃棄容器を持参し、採血時には作業者の手の届く範囲に置く。廃棄容器が持参できない場合でも、必ず廃棄用のトレイを利用する。
- ・安全装置付きの真空採血器具を利用する。たとえば、真空採血セットのシールド付き、または蝶番キャップ付き注射針など安全装置付きの採血器材の利用、耐破損性のプラスチック製真空採血管 / スピッツの採用などである。
- ・従来の注射器を用いて真空採血管 / スピッツに血液を注入することは、危険を伴うため避ける。移し替えの際は、採取血液をスピッツに注入する際に針を遮蔽する筒状の鞘のついた注射針付きシリンジの利用などを検討する。
- ・血液培養検査では培地接種前に針を交換すべきでない。直接真空採血できる血液培養セットを用いる。

商品名

シュアシールド® 翼付採血セット

翼状針

安全機構

- ワンタッチ式のアダプター付翼付採血セット。針に触れない、ワンタッチ着脱機構です。
- 抜針からセーフティロックまで片手操作で安全に行うことができます。
- 針刺し防止用のカバーはコンパクトな一体型なので、穿刺時や固定時もスムーズ。

その他の特長

- 翼状針部とルアーアダプター部は取り外し可能で、採血後に針を留置したまま輸注ができます。



医療機器承認番号 21300BZZ00515

TERUMO®

資料請求先

テルモ株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1
 テルモ・コールセンター 0120-12-8195
 (9:00~17:45 土日・祝日を除く)
 Website <http://www.terumo.co.jp/>

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

パチル・ライン
 アクセスポート

その他

胃ろう

シャープメント
 マネジメント

廃棄容器

安全機構

- 親指で安全シールドを簡単に作動できます。
- 安全シールドは作動後完全にロックされます。
- 安全シールドを作動させることで、抜針直後だけでなく廃棄処理時の針刺し損傷も予防できます。

その他の特長

- カチッという作動音で針がカバーされたことを確認できます。
- 採血針のカット面の向きは常に安全シールドの方を向いており、採血針のカット面を探す必要はありません。



販売名 BD バキュテイナシステム
医療機器認証番号 15000BZY00702000

資料請求先

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス
☎0120-8555-90
FAX: 024-593-3281



安全機構

- 抜針すると同時に自動的に安全機能が作動します。
- 抜針直後、および安全機能の作動忘れによる針刺し損傷を防止できます。

その他の特長

- 採血針とホルダーがあらかじめ一体化されており、採血針をホルダーに接続する必要がありません。



販売名 BD バキュテイナシステム
医療機器認証番号: 15000BZY00702000

資料請求先

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス
☎0120-8555-90
FAX: 024-593-3281



商品名

ルアーアダプター付き セーフタッチ® PSVセット ホルダー付

真空採血器具関連

特長

- 安全な採血セット
誤刺防止機構付翼付針、ルアーアダプター、ホルダーを一体化していますので、開封後すぐに使用できます。
- リキャップ不要です
針製品の操作中、最も事故が多いとされるリキャップの必要がありません。
簡単な操作で、使用後の針先をプロテクターで保護します。
- 安全性と操作性を両立
従来の翼状針と同様の操作でご使用になれます。一度保護された注射針は二度と露出することはありません。
抜去時と、さらに廃棄時における針刺し切創を防止できます。



医療機器承認番号 21600BZY00074000

資料請求先

ニプロ株式会社

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-3-13

TEL 06-6373-0563(ダイヤルイン) FAX 06-6373-0564

Website <http://www.nipro.co.jp/>

商品名

セーフティ翼付採血セット

真空採血器具関連

安全機構

- 針刺し切創を防止する誤穿孔防止機構付スカルプベインセット（翼状針）と採血ホルダを一体化した使い捨てタイプの滅菌済み採血セット。
- 使用時、ホルダの組み立てが不要で、採血準備を容易にし、清潔操作が可能。
- 採血管ホルダに付着した血液を介しての交差感染を防止。
- 血管穿刺の際、血液のフラッシュバックの確認が容易。
- スカルプベインセット使用による採血は、採血管内容物を逆流させない手技として有効。
- リキャップは不要でそのまま廃棄可能。

その他の特長

- サイズは21G～23Gの3規格を取り揃えています。



医療機器認証番号 21600BZZ00348000

資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号

新南大井ビル

TEL 03-6404-0601 FAX 03-6404-0611

Website www.jms.cc/

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューパー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

バプテリライズ
アクセスポート

その他

胃ろう

シャワー
マシメント

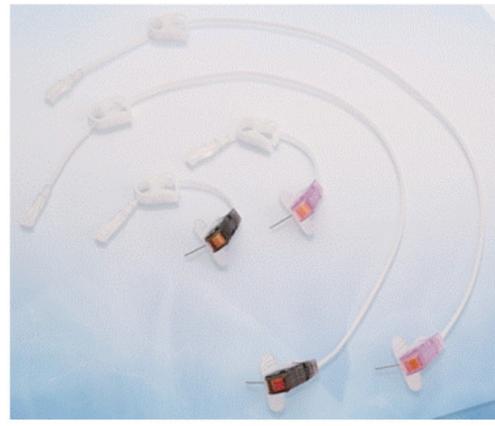
廃棄容器

4. ヒューバー針

■ **リスク** 埋め込み型の中心静脈カテーテルアクセスポート等へのアクセスの際にヒューバー針が使用される。本診療材料の特徴としてノンコアリングニードルであることが挙げられる。埋め込み型アクセスポートのシリコン素材を貫通する際に、切り屑が発生すると薬剤の漏出や切り屑がラインの閉塞を引き起こす可能性がある。埋め込み型アクセスポートの頻回・長期にわたる使用を可能にするために、穿刺針はこの切り屑が発生しにくいデザイン形状を採用しており、この特徴をノンコアリングニードル (non-coring needle) と呼んでいる。一方で、このノンコアリングニードルは鷹の爪のように特殊な形状をとっており、取り扱う医療従事者にとっても、在宅医療においてはケアを行う家族にとっての脅威となる。

■ 対策

- ・ 外来癌化学療法の進歩と普及に伴い、ヒューバー針の国内消費本数は飛躍的に増えている。穿刺は病院外来で行い自宅に戻り本人か家族が抜去したり、在宅医療で訪問診療・看護により使用されるなど状況は様々である。こうした状況を踏まえて取り扱い者が十分に本診療材料のリスクについて理解すべきである。
- ・ 一方で国内には数多くの安全機能付きのヒューバー針が販売されており、ヒューバー針を導入する際には迷わず安全器付き製品を採用する。使用する前には製品の特性を十分に理解してから使用する。
- ・ 安全機能を作動させたら器材は速やかに耐貫通性の廃棄容器に廃棄する。

商品名	セーフタッチコアレスニードル® セット	ヒューバー針
安全機構	● 誤穿刺防止機構付ヒューバー針	
		
① 固定翼を指でしっかり抑え、もう片方の手で把持部を持ち、ロックを外します。	② 指で翼を固定した状態で把持部を垂直に「カチッ」と音がするまでしっかりと引き上げます。	③ ポートから抜かれた針先は確実にプロテクトされます。
	その他の特長 <ul style="list-style-type: none">● 針の太さは22G・24G、針の長さは13mm～25mm、チューブの長さは10cm・45cmをラインナップ。● 皮膚との接触面がフラットであり安定した留置が可能。● 抜針時のスムーズな操作を実現。	
 NIPRO 医療機器認証番号 220AABZX00001000 資料請求先 ニプロ株式会社 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-3-13 TEL 06-6373-0563(ダイヤルイン) FAX 06-6373-0564 Website http://www.nipro.co.jp/		

商品名

MRIポート (ヒューバープラス ノンコアリングニードル)

ヒューバー針

安全機構

- 皮下埋込型ポート用の安全機能が付いたヒューバー針です。シンプルな構造と簡単な操作により、抜針時や廃棄時の「針刺し」を予防します。
- 皮下埋込型ポートからの抜針時に、ウイングの両サイドを把持して締め付けることで、針がポートから抜けると同時に閉じられたウイング内に針が収納されます。
- 一度ウイングが閉じて針が収納されると、再度開かないようにロックされるので、そのまま医療鋭利物容器に廃棄できます。
- 片手で安全機構を作動させることができます。

その他の特長

- 可塑剤DEHP及びラテックスを使用していないので、使用薬剤の制限が少なくなります。
- ノンコーティングの針は、ポートからの自然な針の抜け落ちの予防に有効です。
- 20Gと22Gの針径にそれぞれ13mm、19mm、25mmの長さの種類があります。



両サイドを把持



締め付け



たたみ込み



廃棄

医療機器承認番号 20300BZY00504000

資料請求先



株式会社 **メディコン**

〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目5-8
 TEL 06-6203-6541 FAX 06-6203-6448
 Website <http://www.medicon.co.jp>
<http://medisuke.jp/>

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

パチアル・ライン
 アクセスポート

その他

胃ろう

シャープメント
 マネジメント

廃棄容器

5. 皮膚穿刺器具

■ **リスク** 日本の医療現場で発生した針刺し切創のうち、その約 1.8%は耳介・指・足底等の穿刺に関連した事例である。原因器材の 21.2%は注射針によるものであり、49.0%はランセット（皮膚穿刺用器具）である。ランセットによる針刺しのうち、安全装置が装備されていたものは 55.4%であった。

日本では、採血のための皮膚穿刺に注射針を利用する慣行が残っており、穿刺に利用した注射針のリキャップ時や廃棄時に針刺しが多発している。トレイの中でキャップが外れていて受傷した、廃棄容器がなかったので取りあえずトレイの中に入れておき、別の物を取ろうとしたときつい針刺しした、などの事例が報告されている。これらはいずれも適切な廃棄処理を行なうか、安全機構のついたランセットを使用することで、その大部分は予防できる。指穿刺用 /heel-stick 用ランセットは血糖測定の際や、乳幼児の採血、耳介・指・足底等の穿刺のために利用される特別な医療器具である。鋭利部（刃・針）が取り外し可能となっているタイプのもと、鋭利部が本体と一体となっているタイプがある。鋭利な部分がむき出しの状態となった使用後ランセットの取り外し時、不適切なトレイでの運搬・廃棄時に皮膚損傷が多発している。

■ 対策

- ・耳介・指・足底等の皮膚穿刺には注射針（18G 針や 23G 針）を使用しない。
- ・自動引き込み型の指穿刺用 /heel-stick 用ランセットを利用する。再使用できない単回使用の自己内包引き込み型のランセットは、複数の患者の検査を次々に行う場合に交差感染の可能性を最小限に抑えられる。しかもこれらのタイプは、廃棄にあたって鋭利部の露出部がなく、安全に廃棄できる。
- ・刃の部分を取り替えるペン型タイプの指穿刺用 /heel-stick 用ランセットは、刃の部分が使用後に自己内部に引き込むタイプを利用する。
- ・皮膚穿刺時には、実施者の手の届く範囲内に耐貫通性廃棄容器を備えておく。血糖測定などルーチンで行なわれる業務の際には、作業者の使い勝手のよいように、皮膚穿刺用器材や廃棄容器が一体となったトレイセットなどをあらかじめ準備しておく。

商品名

BD マイクロティナ[®] セーフティ ランセット

皮膚穿刺器具

安全機構

- 完全ディスプレイタイプのランセットです。
- キャップを外し、ホルダーの先端を皮膚に押し付けるだけで針または刃が作動します。
- 穿刺後、針または刃は自動的に本体に収納されるため、針刺し損傷および複数回使用を防止します。

その他の特長

- 人間工学に基づき、持ちやすく滑りにくい形状にしました。
- 皮膚に触れる部分が狭いので穿刺部位の確認が容易です。



販売名 BD セーフティ ランセット
医療機器承認番号 21900BZX00737000

資料請求先

製造販売元
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス
☎ 0120-8555-90
FAX: 024-593-3281



商品名

BD マイクロティナ® クイックヒール™ ランセット

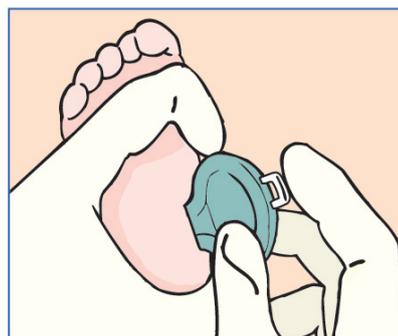
皮膚穿刺器具

安全機構

- 新生児・乳幼児のかかとにやさしい完全ディスポーザブルタイプのランセットです。
- 深度が一定なので、深すぎる穿刺によって発生する骨髄炎等を防ぎます。
- 穿刺後、刃は自動的に内部に格納されるため、針刺し損傷や交差感染を防ぎます。

その他の特長

- ボタンを押すだけの簡単操作です。



販売名 BD クイックヒール ランセット
医療機器承認番号 20100BZY00107000

資料請求先



製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社:〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス

☎0120-8555-90
FAX : 024-593-3281

商品名

ニプロSPランセット

皮膚穿刺器具

安全機構

- 単回使用自動ランセットです。
- ガンマ線滅菌済みです。
- 穿刺針は、ハウジング内に格納されています。
- 使用後は、穿刺針がハウジング内に格納され、安全に廃棄することができます。

その他の特長

- 持ちやすく、使いやすい単回使用ランセットです。
- 穿刺針 : 28G



NIPRO 医療機器認証番号 221AABZX00048000

資料請求先

ニプロ株式会社

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-3-13
TEL 06-6373-0563(ダイヤルイン) FAX 06-6373-0564
Website <http://www.nipro.co.jp/>

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

バチル・ロイン
アクセスポート

その他

胃ろう

シャワーソフト
マネジメント

廃棄容器

商品名 **アイピット**

皮膚穿刺器具

安全機構

- 採血針と採血器具を一体化した感染予防のための完全使い捨てタイプです。
- 穿刺時以外、針はホルダー内に収納されているので、針先に触れることなく操作できます。
- 穿刺後は穿刺ボタンが押し込まれたままの状態となり、再使用できない構造になっています。
- 針先はホルダー内の保護キャップで覆われており、滅菌状態が保持されています。

その他の特長

- 針キャップを外す必要がなく、穿刺ボタンを押すだけでワンプッシュで簡単に採血できるしくみを採用しています。
- クリップをはめたまま、1個ずつ簡単に切り離すことができるので、持ち運びに便利です。



認証番号 219AFBZX00188000

資料請求先

株式会社三和化学研究所

〒461-8631 名古屋市東区東外堀町35番地
 TEL 0120-07-8130(フリーダイヤル) FAX 052-950-1861
 Website <http://www.skk-net.com/>

商品名 **ポケットランセット**

皮膚穿刺器具

安全機構

- ディスポーザブルで衛生的。
- 穿刺後の針はホルダー内に格納され、針に触れない設計。

その他の特長

- 3種類の穿刺深: 患者さんの皮膚の厚さによって、0.5mm・0.8mm・1.25mmから最適な穿刺深を選択できる。
- 痛みが少ない: オレンジの場合深さ0.5mm、ブルーの場合深さ0.8mmの穿刺針を採用し、痛みの少ない浅刺しの採血を実現。
- かんたん: 保護キャップをねじ切って、あとはボタンを押すだけ。2ステップの簡単操作で、覚えやすく教えやすい。
- 処方しやすい: SMBG用として処方しやすい包装単位 (26本入・31本入)。
- 2009年グッドデザイン賞受賞



ポケットランセット

資料請求先



A Promise for Life

アボットジャパン株式会社

〒108-6305 東京都港区三田3-5-27
 住友不動産三田ツインビル西館
 TEL 03-4555-1300
 Website <http://www.abbott.co.jp/>

医療機器認証番号 221AFBZX00013000
 (製造販売業者:株式会社 旭ボリスライダー)

単回使用自動ランセット「ナチュラルレットディスポ」

皮膚穿刺器具

安全機構

- 針も本体もすべてディスポーザブル、穿刺時以外は針が露出しません。

その他の特長

- 一度使用した物は再使用できませんので感染の心配はありません。
- 操作は保護キャップを取り外して、穿刺ボタンを押すだけの簡単2ステップです。



管理医療機器(クラスII) 221AFBZX00043000

資料請求先

アークレイ マーケティング株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-20-20 大雅ビル4F

TEL 050-5527-7000

Website <http://www.arkray.co.jp/>

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

バチル・ライン
アクセルポート

その他

胃ろう

シャープメント
マネジメント

廃棄容器

6. 縫合針

■ **リスク** 本で報告されている針刺しの原因器材の第2位は縫合針である。手術部の職員は病院の他の部署よりも過小報告が多いことから、縫合針による損傷の実際の高頻度ははるかに高いものと推測される。縫合針による皮膚損傷は、針の使用後よりも患者への使用中や器材の受け渡し時に、針刺しが多発する点が特徴的である。エピネット日本版のデータによると48.5%が縫合中に発生し、針の手渡し時(20.4%)、または分解時(5.3%)、使用後から廃棄するまでの間(4.8%)に発生している。したがって、廃棄のみに焦点をあてた予防策よりも縫合中や使用途中の損傷を減少させる対策が効果的だろう。

縫合針による受傷者の職種は、医師が過半数で、あとは看護師である。したがって、縫合針を用いた医療行為を実施する使用者だけでなく、それを補助する作業者との共同作業における、予防対策を検討することが重要である。

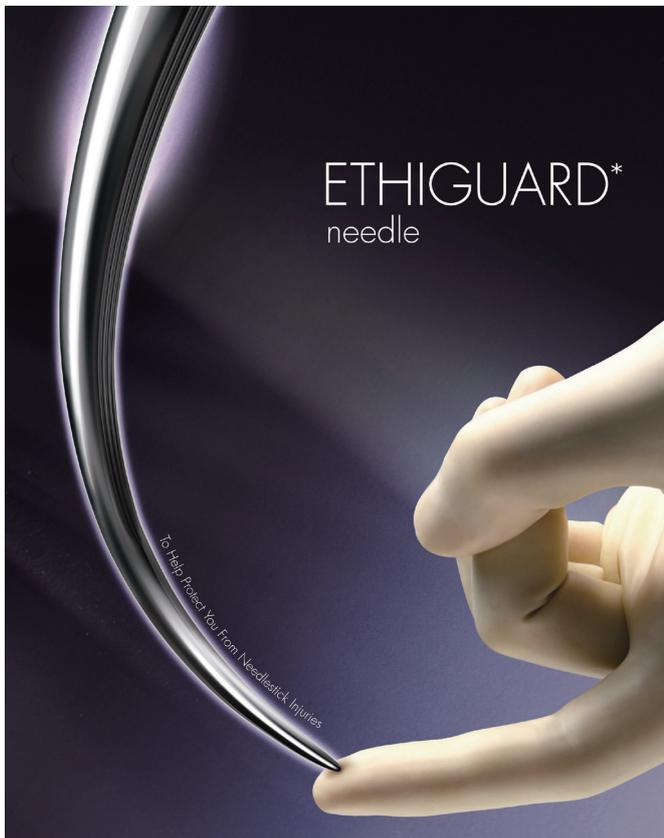
■ 対策

- ・縫合針を使わずにすむ外科的処理がないか検討し、不要な鋭利器材の使用を少なくする。たとえば、皮膚縫合に鋭利器材でない縫合テープを用いるなどである。
- ・皮膚損傷のリスクを減少させる鈍縫合針(鈍針, blunt-end suture needle)を利用する。鈍針は医療従事者に皮膚損傷を起すほど鋭利ではないが、筋肉や筋膜など、内部組織を刺通する程度の鋭さがある。
- ・直接手で縫合針を扱わないハンドフリーテクニックを利用して縫合針のマウント等を行なう。
- ・縫合針の直接の手渡しを禁止し、ニュートラルゾーンを作る。
- ・器材の受け渡し時には、必ず声かけをするようルール作りをする。
- ・針のカウント等には、使いやすいマウントボードなどを利用する。
- ・研修医等、縫合針の取り扱いに慣れていない職員には、事前にトレーニングを実施する。

商品名

エチガード*

縫合針



安全機構・その他の特徴

- エチガード* は従来の丸針と比べて、針刺し損傷による血液感染のリスクの軽減を目指した先端加工を施しています。
- 先端形状により丸針に比べゴム手袋を貫通しにくい一方、鈍針に比べ組織に対してはスムーズな刺通性が期待できます。
- 持針器把持部(針彎曲)にRib溝(縦溝)が刻まれており、より正確な運針のサポートを目指しています。

ETHICON
PART OF THE *Johnson & Johnson* FAMILY OF COMPANIES

資料請求先

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号

TEL 03-4411-7901

Website <http://www.ethicon.jp/>

* 商標

7. 輸液接続システム（ニードルレスコネクタ、プラスチック針など）

■ **リスク** 日本の医療現場で発生している中空針による針刺しの約 2.7% は、静脈ライン接続または静脈ラインのインジェクションサイト（ゴム管・ゴム栓）に用いた針が原因である。静脈ラインへの接続等に針を用いると、医療従事者の針刺しが生ずるだけでなく、静脈内ポートで針が折れたり、静脈ポートから針を取り出す際に静脈ラインに意図しない接続離脱が起こったりすることがあり、いずれの場合患者にとって重篤な結果となる可能性がある。一般的に静脈ラインでは針刺し時に問題となるほどの量のウイルス量を伝播することは少ないとされる。しかし、米国で HIV に感染した看護師 1 名は、患者の体近くのヘパリンロックに接続した間欠的静脈内投与による損傷が感染原因であり、この患者では静脈ラインへの血液の逆流が起こっていた。

また、輸液接続システムが患者に利用されている場合、ルート内部はダイレクトに患者の体内とつながっており、感染バリアが全くない状態である。適切な閉鎖式の輸液接続システムは感染管理の点からもその利用が推奨される。

■ 対策

- ・ 輸液接続システムにおいて、可能な限り不要な針の使用を禁止する。
- ・ 鋭利器材を使わない輸液システムには、1) バルブ式アクセスポートおよびコネクタ、2) 先端が鈍なカニューレが使用可能な隔壁をもったコネクタ、3) 陥凹し保護された形状の針コネクタがある。器材の選択の際には、感染管理の視点を勘案し、既存の輸液システムとの適合性を評価して採用する。輸液システムに使用するパーツの数が少ないほど単純となり、システムの安全性が向上する。
- ・ 注射器に針をつけたものは静脈または動脈ラインからの採血に用いるべきではなく、代わりに針のついていない血管確保器材（鈍カニューレ、弁システム）を用いる。
- ・ ヘパリンロック等の間欠的静脈内投与が必要な輸液システムの際にも不要な針の使用を禁止する。
- ・ 点滴ボトルへの薬液注入時などは、鋭利器材でないプラスチック針の利用を推奨する。プラスチック針は薬液のミキシング時にも利用できる。

商品名

シュアプラグ®

輸液接続システム

安全機構

- 輸液回路が開放されることがないため、血流感染の機会を低減することが期待できます。
- 接続に金属針を使用しないため、針刺しの防止に役立ちます。

その他の特長

- シュアプラグへの接続は、専用アダプタが不要です。
- シュアプラグの表面は消毒しやすいフラット形状です。
- 安全性を考慮し、全品種にPVCフリーチューブを使用、また耐薬品性にすぐれた混注口を使用しています。



シュアプラグ マニフォールド
医療機器承認番号 21300BZZ00547
シュアプラグ 三方活栓
医療機器承認番号 21300BZZ00548
シュアプラグ 延長チューブ
医療機器承認番号 21200BZZ00794
シュアプラグ 輸液セット
医療機器承認番号 21200BZZ00793
シュアプラグ
医療機器承認番号 21200BZZ00287

TERUMO

資料請求先

テルモ株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1
テルモ・コールセンター 0120-12-8195
(9:00~17:45 土・日・祝日を除く)
Website <http://www.terumo.co.jp/>

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

バチル・ライン
アクセスポート

その他

胃ろう

シャワー
マシメント

廃棄容器

商品名

BD Qサイト™ 閉鎖式輸液システム

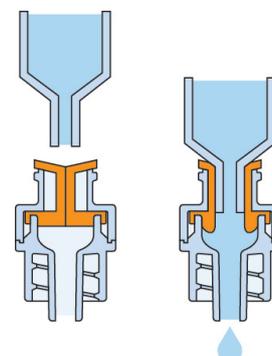
輸液接続システム

安全機構

- スプリットセプタムの二重構造により閉鎖性を高め、感染の原因となる微生物の流路内侵入リスクを最小限にします。
- 流路内の薬剤残存をいち早く確認するため、透明度の高い材質のハウジングを採用しました。視認性が高いため、安全で適切な器材交換が可能です。
- 流路内に複雑・機械的な構造物がなく、流路制限がかかりません。接続したルアー先端からの流量をそのまま維持できます。

その他の特長

- CDCガイドラインが推奨する根拠となった信頼のスプリットセプタム。ルアー接続部はルアーフィッティングの国際規格 (ISO) に準じたスリップ、ロックルアーの輸液セット、延長チューブ、シリンジのルアーコネクタを直接接続でき、輸液管理をよりシンプルで安全に行うことができます。



販売名 BD Qサイト
医療機器承認番号 21500BZY00238000
販売名 コネクタ 三方活栓
医療機器承認番号 15800BZY00348000
販売名 BD Qサイト 閉鎖式輸液システム
医療機器承認番号 22100BZX01114000



資料請求先

製造販売元
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス
☎0120-8555-90
FAX: 024-593-3281

商品名

インターリンク® システム

輸液接続システム

安全機構

- 金属針を使用しないことにより、医療関連感染の主たる原因である針刺し損傷切創を防止します。
- 金属針に代わりプラスチックカニューラを使用することにより、薬液準備から投薬、採血、廃棄に至る全段階で安全性を確保します。更に、在宅医療においても有用です。

その他の特長

- スリットの入った圧縮ゴムにより、プラスチック製カニューラのアクセスが可能です。



販売名 インターリンク I.V.アクセスシステム
医療機器承認番号 20400BZY00131000
販売名 インターリンク・カニューラ
製造販売届出番号 07B1X00003000042
販売名 インターリンク・カニューラ付き注射筒
製造販売届出番号 07B1X00003000009



資料請求先

製造販売元
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス
☎0120-8555-90
FAX: 024-593-3281

商品名

クレーブコネクター

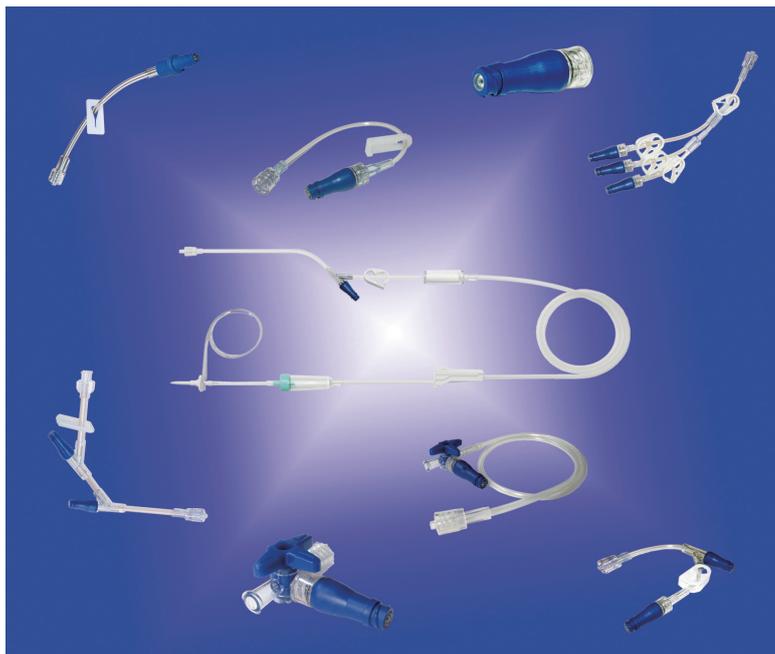
輸液アクセスポート

安全機構

- 輸液作業中に解放にならず、消毒効果が高い構造のためカテーテル関連血流感染のリスクが減少します。
- 金属針を使用しない構造なので針刺し切創の心配がありません。

その他の特徴

- 輸液ライン・エクステンションセット・カテーテルハブ用コネクターなど広い範囲でご使用頂けます。
- ヘパリンロックや生食ロックの際にカテーテル内に血液の逆流が少ない構造のためカテーテル閉塞リスクも減少します。
- 付属品を必要としないシステムなので経済的です。



資料請求先



株式会社パルメディカル

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-17
スリーセブンビル6F
TEL03-5821-0607
Website <http://www.palmedical.co.jp/>

クレーブコネクター 医療機器承認番号：220AIBZX00054000
パル輸液セット 医療機器承認番号：218AIBZX00062000

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

バチル・ライン
アクセスポート

その他

胃ろう

シャープメント
マネジメント

廃棄容器

商品名

ニプロフィルターセット (クレーブコネクタータイプ)

輸液接続システム

安全機構

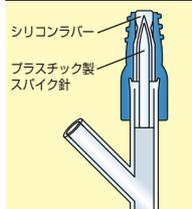
- 金属針を使用しない混注用Y字管付フィルターセットです。
- 接続時における細菌混入を低減します。

その他の特長

- ルアーテーパーのシリンジやコネクターをそのまま接続できます。

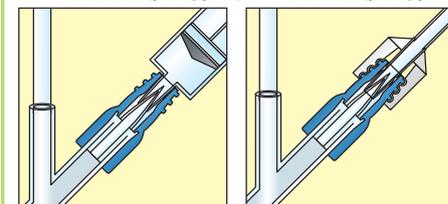


Y字管断面図



<使用例>

シリンジチップを用いた側注法 オス型ルアーを用いた側注法



医療機器承認番号 15800BZZ01473000

資料請求先

ニプロ株式会社

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-3-13
TEL 06-6373-0563(ダイヤルイン) FAX 06-6373-0564
Website <http://www.nipro.co.jp/>

商品名

セーフタッチ[®] 輸液システム

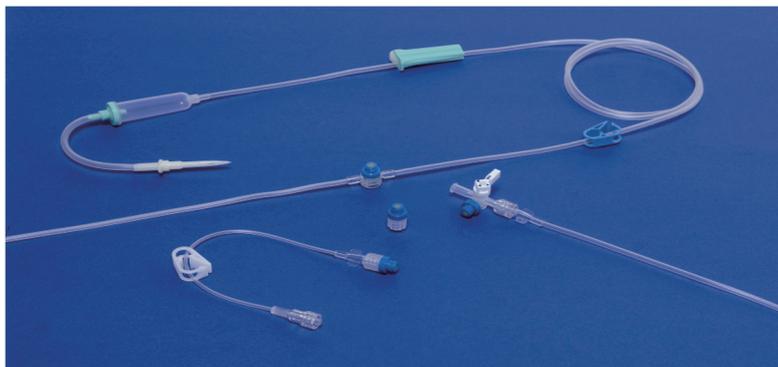
輸液接続システム

安全機構

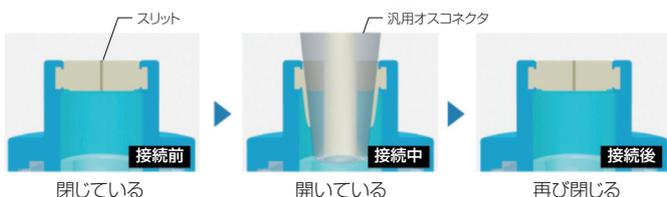
- 金属針を使用しないニードルレスコネクタを採用しており、専用部品なしで汎用オスコネクタをそのまま接続できます。
- ラインに組み込まれている混注管は、ノーデッドスペースなので、液溜まりが起こりにくい形状です。

その他の特長

- ニードルレスコネクタにはスプリットセプタム方式を採用しています。
- ゴム栓の表面は、フラットな形状で簡単・確実に消毒操作が可能です。



- ニプロ輸液セット
医療機器認証番号 219AABZX00039000
- ニプロ輸液ポンプ用セット
医療機器認証番号 220AABZX00175000
- エクステンションチューブ
医療機器届出番号 27B1X00045000072
- ニプロフィルターセット
医療機器認証番号 222AABZX00173000
- セーフタッチ[®]プラグ
医療機器届出番号 27B1X00045000088
- セーフタッチ[®]三方活栓
医療機器認証番号 220AABZX00348000



資料請求先

ニプロ株式会社

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-3-13
TEL 06-6373-0563(ダイヤルイン) FAX 06-6373-0564
Website <http://www.nipro.co.jp/>

商品名

プラネクタ[®]

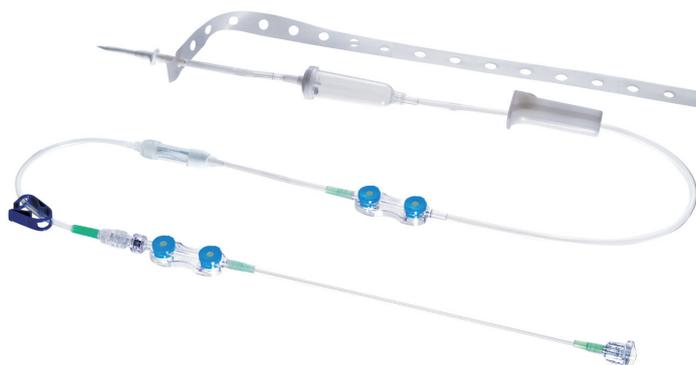
輸液アクセスポート

安全機構

- 輸液ライン・採液ラインなどに対し金属針を使用せずルアーシリンジでの接続が可能のため、針刺し切創の防止に役立ちます。
- プラネクタを組み込んだ一体型輸液ラインを使用することにより、接続部の汚染リスクを低減します。

その他の特長

- 内部はデッドスペースやエアだまりができてにくい構造です。
- アクセス表面は凹凸のないフラットでワイドな形状により消毒が容易です。
- プラネクタと三方活栓の長所を活かしたストップコックタイプもあります。
- プラネクタを組み込んだ輸液ラインだけでなく、アクセサリも充実しています。



- プラネクタ
医療機器承認番号 21100BZZ00335000
- プラネクタ輸液セット
医療機器認証番号 21800BZZ10109000



資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号
新南大井ビル
TEL 03-6404-0601 FAX 03-6404-0611
Website www.jms.cc/

商品名

セーフミック TPNバッグ

輸液接続システム

安全機構

- 閉鎖式注入ポートとして輸液ラインで実績のあるプラネクタを採用しました。
- 注射針を使用せずルアーシリンジ等での混注が可能です。
- レバーロック式輸液セットの使用により確実な接続と固定が可能となり、離脱防止機構として有効です。

その他の特長

- 充填後の注入用ラインの切り離し操作では、クランプを閉じてからチューブコネクタをつまんで外すだけの簡単な操作です。
- プラネクタ同様、セプタムは自動閉鎖となるので、キャップ等をする必要はありません。
- 微量薬液を混注した場合でも、速やかに薬剤が拡散し、薬剤が混注口に滞留するのを防ぎます。



医療機器届出番号 34B1X00001000057

資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号
新南大井ビル
TEL 03-6404-0601 FAX 03-6404-0611
Website www.jms.cc/

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

バプテリライオン
アクセルポート

その他

胃ろう

シャワーシステム
マネジフメント

廃棄容器

商品名

セフィオフロー[®] システム

輸液接続システム

安全機構

- 従来の輸液方法をそのままに、誤刺防止・感染防止を考慮した閉鎖式輸液システムです。

その他の特長

- 通常のルアーテーパー先やロック先をそのまま接続でき、付属品を使う必要がありません。
- 輸液セットは一体型となっており、組み立ての際の接触汚染を回避します。

《セフィオフロー開口の仕組み》



セフィオフローは何も差し込まれていない状態ではしっかりと閉じられていますが、弁のスリットにシリンジなどを挿入すると、弁が押し開かれ、輸液ルートと内部連通できます。



セフィオフロー輸液セット
医療機器承認番号 21500BZZ00562000
セフィオフローエクステンションチューブ
医療機器承認番号 21400BZZ00231000
セフィオフロー三方活栓
医療機器承認番号 21400BZZ00533000
セフィオフローコネクタ
医療機器届出番号 13B1X00085000002

資料請求先

株式会社トップ

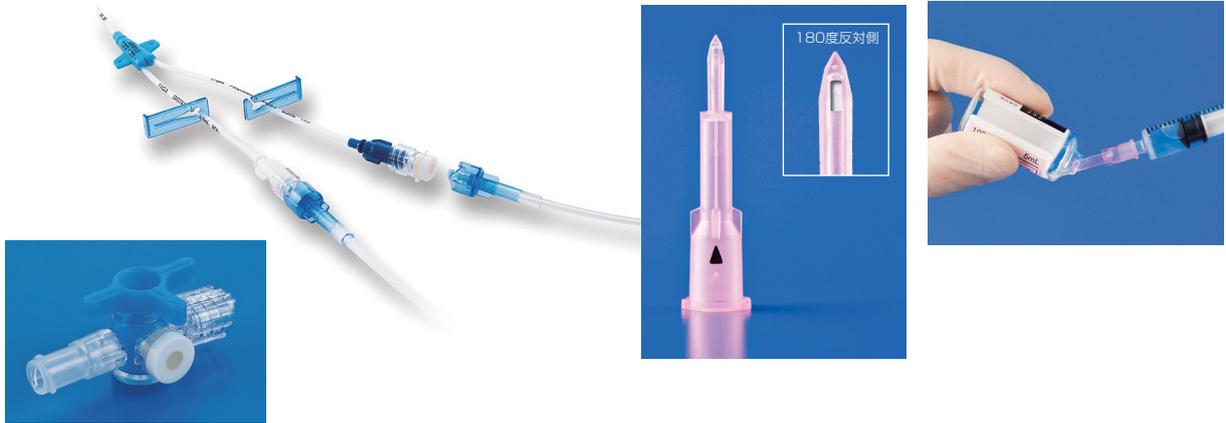
〒120-0035 東京都足立区千住中居町19番10号
TEL 03-3882-7741 FAX 03-3882-7744
製品お問合わせ
https://www.top-tokyo.co.jp/cgi/form/f_medical/
Website http://www.top-tokyo.co.jp/

安全機構

- プラスチック製カニューラで針刺し切創のリスクを低減します。
- 外れ防止機能付きプラグおよびプラスチックカニューラがライン外れ防止に役立ちます。

その他の特長

- スプリットセプタム方式でCVカテーテルを閉鎖化できます。



資料請求先

日本コヴィディエン株式会社

〒158-8615 東京都世田谷区用賀4-10-2

TEL 0120-998-971

Website www.covidien.co.jp

セーフアクセス 輸液セット	医療機器認証番号	219ADBZX00124000
セーフ バイアクセス	医療機器届出番号	22B1X00007NS015A
セーフ A プラグ	医療機器承認番号	21200BZZ00223000
セーフ C カニューラ	医療機器届出番号	22B1X00007NS013A
セーフ T ポート	医療機器承認番号	21100BZZ00121000

8. 動脈血採血器具（血液ガス測定用シリンジなど）

■ **リスク** リスク 動脈血採血は、血液を吸い上げた中空針を使用するために血液媒介病原体の伝播リスクが高い医療行為の一つである。米国の研修医が針刺しで HIV に感染した事例、1999 年に日本で訴訟として取り上げられた看護師の職業性 C 型肝炎ウイルス感染の事例は、動脈血採血に用いた器材が原因である。HIV 感染血液への曝露後予防内服の処方内容を決める際、動脈血採血器具による受傷は曝露タイプが「より重症」に分類される。エピネット日本版で集計された動脈血採血時における 150 件中の針刺し原因器材は、使い捨て注射針（48.0%）、血液ガス専用の注射針によるもの（43.3%）で全体の 90%以上を占める。

血液ガス専用の注射針は、注射器から針を取り外すなどのいくつかの取り扱い手順が加わるため、取り扱い者の針刺しのリスクが高まる。日本では、器材を患者に使用中している際に受傷（34.7%）、リキャップ時による受傷（16.7%）、ゴム管・ゴム栓からの抜針 / 採血時（13.3%）、キャップをはずすなど数段階の処理をする際（12.7%）、器材の分解時（8.7%）、使用済み器材がテーブルやベッドに放置（4.0%）となっている。受傷報告の 50%は、安全装置のついていない器材によるものである。

針刺しの受傷者の職種は、医師（100%）であり、病室（50.0%）、救急部門（20.7%）、集中治療部（16.0%）で発生している。

■ 対策

- ・動脈ラインからの採血時には、針を使わずに動脈血採取するニードルレスシステムを採用する。
- ・針先をゴムに刺し空気の混入を防止するタイプの血液ガス測定用シリンジは、取り扱い手順が受傷リスクを高めるため、使用しない。
- ・蝶番キャップ付き注射針などの安全装置付き血液ガス専用針を用いる。従来は、針先シール用のキャップをしたり、針をはずして別の器具でシールしたりと操作が煩雑であったが、最近は、蝶番キャップ内に組み込まれたシール剤により針先を密封できるタイプの器材がある。
- ・採取後にすぐに止血できる準備をしてから、動脈採血を行なう。
- ・動脈採血後、針がむき出しのまま、共同作業者に血液ガス専用針 / 注射器を手渡ししない。また、採血後の血液ガス専用針 / 注射器は、トレイを介して受け取る。

商品名

シュアシールドプレザパック®

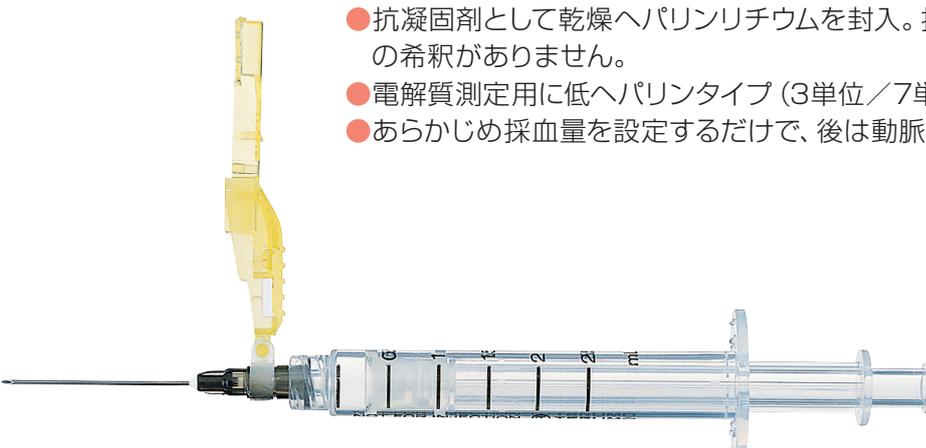
動脈採血器具

安全機構

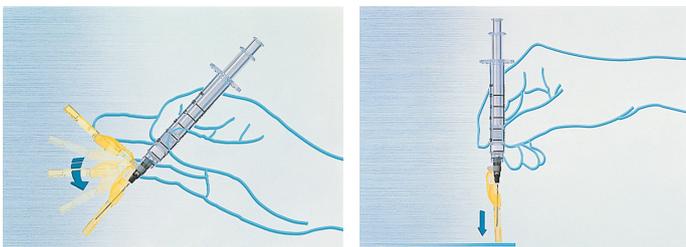
- 採血後、針を片手操作でカバーロックし、垂直に押し込んで、針先をシールするので針刺しを防止します。

その他の特長

- 抗凝固剤として乾燥ヘパリンリチウムを封入。採血準備の手間が省け、血液の希釈がありません。
- 電解質測定用に低ヘパリンタイプ（3単位 / 7単位）を品揃えしています。
- あらかじめ採血量を設定するだけで、後は動脈圧で自動的に採血できます。



医療機器承認番号 21300BZZ00516





資料請求先

テルモ株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1
 テルモ・コールセンター 0120-12-8195
 (9:00~17:45 土・日・祝日を除く)
 Website <http://www.terumo.co.jp/>

安全機構

- BD ヘモガード™ キャップでキャップ開閉時の血液付着・飛散を防ぎます。
- BD エクリプス™ 安全シールドは人差し指または中指で簡単に作動ができます。
- BD エクリプス™ 安全シールドは作動後完全にロックされます。
- 安全シールドを作動させることで抜針直後だけでなく、廃棄処理時の針刺し損傷も予防できます。

その他の特長

- 自動吸引が可能です。
- シリンジタイプが多様で、採血状況に応じた製品選択が可能です。
- カルシウム調整済み乾燥ヘパリンリチウムを使用しています。



販売名 BD クリティカルケアシリンジ
医療機器承認番号 21500BZY00293000

資料請求先

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス
☎ 0120-8555-90
FAX : 024-593-3281



9. 透析関連器具（透析用翼状針、透析用留置針など）

■ **リスク** 透析室で発生している針刺し切創の原因器材は、静脈留置針と透析専用針が最も多く（38.9%）、ついで使い捨て注射針によるもの（35.2%）、点滴ラインの接続・増設に用いる針（5.6%）、翼状針（1.9%）となっている。

破棄ボックスに捨てる時の針刺しは25.9%で、器材を患者に使用中（18.5%）で、数段階の処置操作の合間（9.3%）、リキャップ時（7.4%）、器材の分解時（7.4%）、使用後から破棄するまでの間（3.7%）、ゴム管・ゴム栓への注入・分注時（3.7%）となっており、使用後から片つけるまでに針刺しが多発している。したがって、透析用針や翼状針の使用後すぐに、針先が隠れるタイプの安全器材を利用することで、これらの使用後廃棄までの針刺しリスクを減少させることができる。

血液透析用に用いられる針は静脈留置針、翼状針ともに中空針で、径が大きく、針刺し発生時に曝露される血液量が多い。また、日本の透析室ではC型肝炎ウイルスが陽性の患者の割合も高く、針刺しした際の職業性肝炎の発生リスクは他の針刺しに比べ相対的に高い。

■ 対策

- ・リキャップは禁止する。
- ・シャント穿刺場所の近くに廃棄容器を設置する。もしくは、シャントへの血管確保後に穿刺針の内筒針をすぐに捨てられる携行用廃棄容器を利用する。
- ・安全装置付きの血液透析用シャント穿刺針を利用する。針がシャントから引き抜く際に保護目的の筐体内に収納されるタイプ、シャントから針を引き抜く際に針に覆い被せる保護ケースをもつタイプがある。
- ・使用後の鋭利器材をトレイに入れて処理する際には、手を使わず、セッシ等を用いる。

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

パチル・ライン
アクセルポート

その他

胃ろう

シャープメント
マシメント

廃棄容器

商品名
ハッピーキャス クランプタイプ AZ
透析関連器具

安全機構

- スライド式安全カバーなので、2段階スライドロック後は、針先の露出がありませんので針刺し切創を防止します。
- ラバーアダプターに内蔵の止血弁により、圧迫止血は不要です。

その他の特徴

- カテーテルは通常で使用のクランプキャスと同じものを使用しています。
- カテーテルは滑りの良いフッ素樹脂を採用しています。

医療機器承認番号 15600BZZ00790000

穿刺前

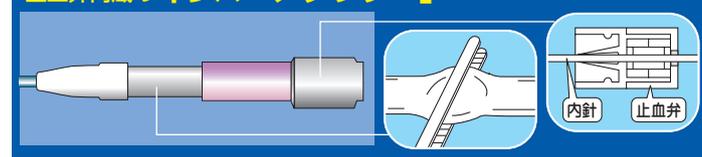


カテーテル クランプチューブ ラバーアダプター



※製品写真は原寸大です。

止血弁内蔵の「ラバーアダプター」



内針 止血弁

資料請求先

発売元 **メディキット株式会社**

〒113-0034 東京都文京区湯島1-13-2
 TEL 03-3839-0201 FAX 03-3839-3977
 製造販売元/東郷メディキット株式会社
 宮崎県日向市大字日知屋字亀川17148-6
 URL: <http://www.medikit.co.jp/>

商品名

ハッピーキャス V

透析関連器具

安全機構

- スライド式安全カバーなので、2段階スライドロック後は、針先の露出がありませんので針刺し切創を防止します。
- 外套針に内蔵の止血弁により、圧迫止血は不要です。
- 血液との接触を無くし、感染から守ります。

その他の特徴

- 圧迫止血が不要のため、両手はフリーになり安全に作業ができます。
- カテーテルは滑りの良いフッ素樹脂を採用しています。

医療機器承認番号 21400BZZ00343000

穿刺前

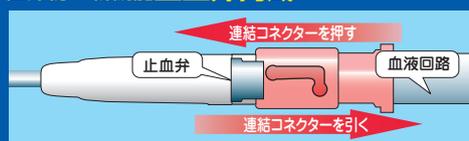


穿刺後



※製品写真は原寸大です。

世界初の新機能止血弁内蔵



- 連結コネクタを押すと。止血弁が開き血液が流れます。
- 連結コネクタを引くと。止血弁が閉じ血液の流れが止まります。

資料請求先

発売元 **メディキット株式会社**
 〒113-0034 東京都文京区湯島1-13-2
 TEL 03-3839-0201 FAX 03-3839-3977
 製造販売元/東郷メディキット株式会社
 宮崎県日向市大字日知屋字亀川17148-6
 URL: <http://www.medikit.co.jp/>

商品名

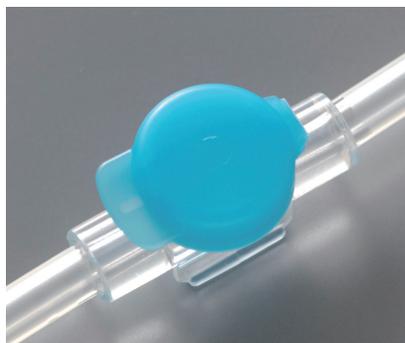
シュアフロー[®] N

透析関連器具

安全機構

- 金属針を使用しないニードルレスアクセスポートを使用しており、直接ルアースリップタイプのシリンジ等を接続する事ができます。
- フタキャップが付いているため、接続口をホコリ等の付着から守ります。
- 血液流路と弁ゴムとの段差(デッドスペース)が最小になっております。
- 接続口の形状、直径がルアースリップタイプのシリンジ等を接続しやすくなっているため、誤穿刺防止につながります。

※ルアースリップタイプのシリンジ等を垂直に接続します。



NIPRO 医療機器認証番号 220AABZX00073000

資料請求先

ニプロ株式会社
 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-3-13
 TEL 06-6373-0563(ダイヤルイン) FAX 06-6373-0564
 Website <http://www.nipro.co.jp/>

商品名

プラネクタBA

透析関連器具

安全機構

- 血液浄化療法のデバイスとして使用可能なニードルレスアクセスポート。
- ブラッドアクセスカテーテルにBAプラグを接続することで、キャップの着脱なく、ヘパリンロックや血液浄化用回路等との接続が可能。
- 金属針や専用のカニューラを必要とせず、ルアーシリンジでアクセス可能。
- BAロックは血液浄化用回路に接続することで、ブラッドアクセスカテーテルに接続されたBAプラグとロック接続が可能。



BAプラグ

BAロック

その他の特長

- 凹凸のないフラットでワイドな形状のため、アクセス前の消毒を容易に行うことが可能。
- BAプラグのキャップカラーには、青・赤・白の3色を取り揃えています。



医療機器承認番号 22300BZX00160000

資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号
新南大井ビル

TEL 03-6404-0602 FAX 03-6404-0612

Website www.jms.cc/

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合台針

輸液接続

動脈採血

透析関連

バチル・ライン
アクセスポート

その他

胃ろう

シャープメント
マネジメント

廃棄容器

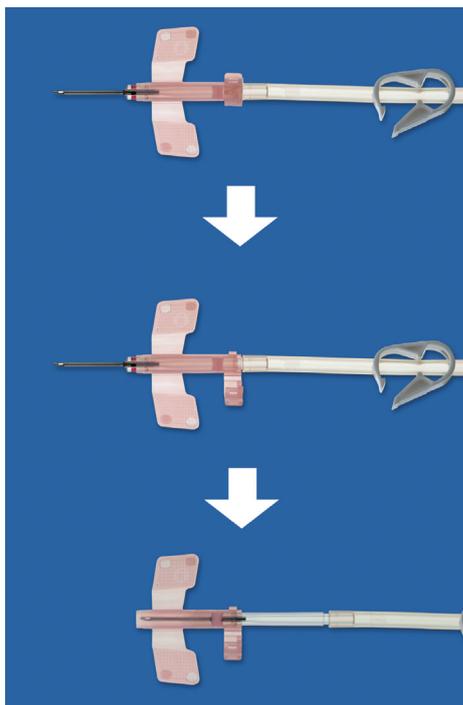
商品名

JMS AVフィスチュラ

透析関連器具

安全機構

- 針管を翼内に収納・ロックすることにより、透析終了後から廃棄までの針刺切創を防止。



その他の特長

- 血管壁を傷つけず、十分な血流を確保するRHタイプ。



医療機器認証番号 21500BZZ00294000

資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号
新南大井ビル

TEL 03-6404-0602 FAX 03-6404-0612

Website www.jms.cc/

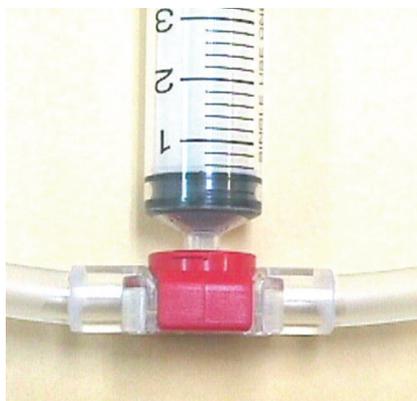
商品名

JMS人工腎臓用血液回路

透析関連器具

安全機構

- ニードルレス注入ポートは、注射針を使用せずに、ルアーシリンジを直接注入ポートに挿入することが可能です。
- 注射針を使用しないため、針にリキャップを行うこともなく、針刺し切創を未然に防止します。
- ポート部は段差もなくフラットな構造なので挿入口の消毒も簡便です。
- ポート内部のデッドスペースは最小であり、血流の滞流を低減することにより、血液凝固を低減します。
- 専用の周辺デバイスを使用することにより、より安全な持続注入も可能です。



使用前に接続部及び周辺をアルコール綿等で消毒し、ルアーシリンジをポート部に対して垂直に挿入します。



JMS人工腎臓用血液回路
医療機器承認番号 15900BZZ00364000
JMS人工腎臓用血液回路ST
医療機器承認番号 21800BZZ10097000

資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号
新南大井ビル
TEL 03-6404-0602 FAX 03-6404-0612
Website www.jms.cc/

商品名

メディカット™ セーフティ カニューーラ

透析関連器具

安全機構

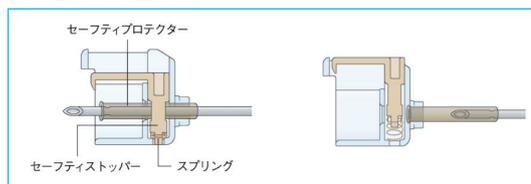
- 内針を引き抜くと同時に針先保護具が針先をカバーし、針刺し切創防止に有用です。

その他の特長

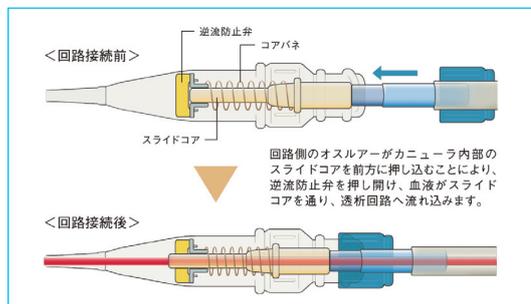
- カニューーラ内部に逆流防止弁を備えているので、血液回路脱着時の圧迫止血や鉗子操作が必要ありません。



針刺し切創防止機能



逆流防止弁 自動開閉機能付



メディカット セーフティ カニューーラ
医療機器承認番号 218ADBZX00053000



資料請求先

日本コヴィディエン株式会社

〒158-8615 東京都世田谷区用賀4-10-2
TEL 0120-998-971
Website www.covidien.co.jp

10. バイアルや各種ラインアクセス

■ **リスク** このカテゴリーには①バイアルやアンプルやバッグ製剤など注射・輸液剤の混合調整，②輸液ラインの接続されたアクセスポート，③尿路留置カテーテルに接続された集尿バッグ等があげられる。

■ 対策

- ・アンプルカット時の受傷を避けるためにアルミの削りだしやプラスチックでできたアンプルオープナーを使用する。またバイアルやアンプルやバッグ製剤を含めてシリンジに移す際には，プラスチック製のカニューラを採用し混合調整を行う。
- ・ラインアクセスポートへのアクセスには，（金属針を使用しない）ニードルレスアクセスポートと対応する診療材料（プラスチック製のカニューラ等）を使用する。
- ・採尿ポートからの採尿には，専用のアダプターと真空採尿管を用いて採取することが可能な製品もある。

翼状針
 静脈留置針
 真空採血
 ヒューバー針
 皮膚穿刺
 縫合針
 輸液接続
 動脈採血
 透析関連
 バイアル・ライン
 その他
 胃ろう
 シヤードメント
 廃棄容器

商品名 **ニプロプラスチック針**

薬剤調剤・調製用

安全機構

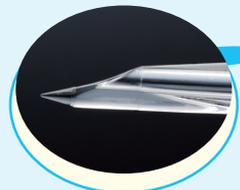
- 安全性と廃棄性を考慮したPC（ポリカーボネート）製の薬剤吸引針です。
- 鋭利な刃面を用いていない為、薬剤調整時の針刺し切創を防止出来ます。

その他の特長

- ルアータイプとカテーテルタイプの2種類をご用意しています。



ニプロプラスチック針の特長

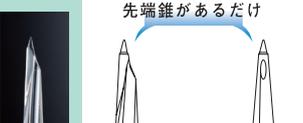



● ● 刃面拡大写真（まくれ防止形状） ● ●

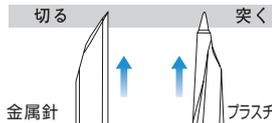
- 先端まくれ穿刺耐久性 5回
※フィルム付ゴム栓への繰り返し穿刺の場合は、先端がまくれる場合があります。

先端形状 プラスチック針には「刃」がない。 金属針比較 プラスチック針は「切る」のではなく「突き抜く」

先端錐があるだけ



切る



突き抜く



金属針 プラスチック針

資料請求先 **ニプロ株式会社**
 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-3-13
 TEL 06-6373-0563(ダイヤルイン) FAX 06-6373-0564
 Website <http://www.nipro.co.jp/>

商品名

プラネクタ®

注射調剤・調製用

安全機構

- 閉鎖式注入ポートとして実績のあるプラネクタを組み込んだバイアルアクセスタイプ。
- 輸液バッグやバイアル瓶のゴム栓に接続し、注射針を使用せずルーシリンジでの吸引・採液が可能。

その他の特長

- マルチタイプは側面に通気孔を有しているため、ガラス製容器等ハードボトルからの薬剤吸引がスムーズに行えます。



医療機器承認番号 21100BZZ00335000

資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号
新南大井ビル

TEL 03-6404-0601 FAX 03-6404-0611

Website www.jms.cc/

商品名

プラスチックカニューラ

注射調剤・調整用

安全機構

- プラスチック製で、注射針のように鋭利になっていないため、薬剤容器へのアクセス時や薬液調製時などに起こりがちな針刺し切創を未然に防止できます。

その他の特長

- 廃棄性を考慮した金属を使用しないプラスチック製のカニューラです。
- バイアル用とアンプル用の2種類取り揃えています。
- バイアル用は、先端の側孔位置が確認しやすいように白を基調としています。
- アンプル用は、アンプルからの吸引がしやすいように全長に配慮したデザインです。



使用例



アンプル用

バイアル用



医療機器届出番号 34B1X00001000031

資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号
新南大井ビル

TEL 03-6404-0601 FAX 03-6404-0611

Website www.jms.cc/

商品名

JMS ドレンバッグ

尿路・尿バッグ

安全機構

- ニードルレス採尿ポートにより、金属針を使用せずルアーシリンジが使用でき、安全に採尿が可能。

その他の特長

- 排尿チューブが床面に触れないよう天地長が短くなっています。
- マルチハンガーを縦柵に使用することによってさらなる低床化に対応しています。



縦柵にも装着可能なマルチハンガー

ねじれることなく縦横どちらの柵にも装着が可能です。



資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号
新南大井ビル
TEL 03-6404-0601 FAX 03-6404-0611
Website www.jms.cc/

商品名

コンファ ウロシステム

尿路・尿バッグ

安全機構

- クローズドシステムの採用により尿路感染防止に有効です。
- 針刺切創防止対策により、尿採取口はニードルレス採尿ポートを採用しました。

その他の特長

- カテーテル留置に必要な消耗品、器具類をトレイ内に収納しました。効率よく業務を行うことが可能です。
- 生体に対し組織反応が極めて少なく、撥水性、非付着性、耐薬品性に優れたシリコン製カテーテルを使用しています。
- ドリップチャンバーは排尿路の物理的遮断により、逆流しにくい構造になっております。

(ウロシステムⅡ、フォーリーキット)



コンファ ウロシステム
医療機器認証番号 218AIBZX00059000
コンファ ウロシステムⅡ
医療機器認証番号 222AIBZX00006000
コンファ フォーリーキット
医療機器認証番号 222AIBZX00006000
コンファ ウロシステムⅡ(精密尿量計付)
医療機器認証番号 222AIBZX00006000

資料請求先

株式会社エフスリー

〒451-0072 名古屋市西区笠取町3-415
TEL 052-522-5226
Website http://www.fthree.co.jp/

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

バイアル・ライン
アクセスポート

その他

胃ろう

シャワーメント
マネジメント

廃棄容器

安全機構

- フォーリーカテーテルにあらかじめ接続された採尿バッグには、尿検体を採取するためのニードルレスサンプルポート (EZ-Lok®) が付いており、尿採取時の針刺しのリスクを抑えています。ニードルレスサンプルポートは、通常のルアーロックタイプとスリップタイプのシリンジが使用できます。
- トレイ内に付属の手袋は、ラテックスフリー及びパウダーフリーの青色ニトリル素材で安心です。



その他の特長

- フォーリートレイ®は、カテーテル留置に必要な物品が無菌的にセットされています。
- フォーリーカテーテルと採尿バッグは、あらかじめ接続されてタンパーエビデントシールによってシールされていますので、接続部からの細菌の混入を予防します。
- フォーリーカテーテルには親水性コーティングとシルバーコーティングが施されており、カテーテル表面での菌の増殖を抑えて細菌尿の発生を遅延させます。
- ラウンドウロバッグタイプの採尿バッグは、ラウンド形状によりスムーズな尿排出を可能にし、また、尿排出口を上向き・中央部に設計したことでバッグからの漏れや、バッグ内の残尿量を少なくします。



資料請求先



株式会社 **メディコン**

〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目5-8
 TEL 06-6203-6541 FAX 06-6203-6448
 Website <http://www.medicon.co.jp>

医療機器承認番号 20900BZY01024000

11. その他の安全器材

商品名

BD オートシールド™ 1.5

その他安全器材

安全機構

- 注射の始めから終わりまで、針が針カバーに覆われています。
- 針の使用後、リキャップの必要がなく、安全に針を廃棄できます。
- 抜針後、自動的に金属ストッパーが作動し針カバーがロックされ、針が露出しません。

その他の特長

- 各社のペン型注入器で使用できます。



安全機構作動前

安全機構作動後

販売名 BD オートシールド
医療機器承認番号 22300BZX00136000

資料請求先

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス

☎0120-8555-90
FAX: 024-593-3281



翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

パチル・ライオン
アクセスポート

その他

胃ろう

シャープメント
マネジメント

廃棄容器

商品名

BD バキュティナ® ブラッドトランスファー デバイス

その他安全器材

安全機構

- 採血管の栓にシリンジ針を刺すことなく分注できるため、針刺し損傷のリスクを軽減します。
- 採血管の栓を開けずに分注できるため、血液曝露のリスクを軽減します。
- 滅菌済みです。

その他の特長

- 採血管の栓を開けずに分注できるので適切な血液分注が可能です。
- 採血ホルダーとシリンジ接続用アダプターが一体化されており、組み立て不要です。



販売名 BD バキュティナシステム
医療機器認証番号 15000BZY00702000

資料請求先

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス

☎0120-8555-90
FAX: 024-593-3281



12. 胃ろう

■ **リスク** 胃ろう造設術は近年、栄養療法として国内で劇的に普及している。この治療法を受けている多くの患者さんは高齢者である。胃ろう造設術は腹壁を対象に処置を行うこともあり、作業環境は極めて不安定である。こうした条件の中、①局所麻酔薬の注射、②メスによる皮膚切開、③腹壁穿刺など工程も複雑で施術者はむしろこれら処置を完了した直後の時期に受傷していることが注目される。

■ 対策

- ・ 経皮内視鏡的胃瘻造設キットの中には安全器材で構成がされていて、かつ診療材料として償還点数が付与されている製品がある。安全の処置するために、こうした製品の使用が勧められる。
- ・ 安全器材で構成されている経皮内視鏡的胃瘻造設キットの中には数々の安全器材が投入されている。適切な使用方法を理解しないでこれら器材を操作した場合、十分に安全機能が作動せずに針刺しのリスクを高める場合もあり得るので安全機能の特徴を使用する前に十分に理解して使用する。
- ・ 安全機能を作動させた後の鋭利器材は速やかに耐貫通性の廃棄容器に廃棄する。

商品名	バードPEGキット〈セーフティシステム〉	胃ろう
安全機構	<ul style="list-style-type: none">● 経皮内視鏡的胃瘻造設術を実施する際の、針刺しや切創を予防する機能を備えたPEGキットです。● 麻酔用の穿刺針は、抜去後にヒンジを押し出すことで針先がカバーされます。● 皮切用のスカルペルは、皮膚切開後にスイッチを押すことで刃先が自動的に収納されます。● 穿刺針は、胃内に穿刺挿入後、内針をシースから引き抜くことで自動的に針先がカバーされます。	
その他の特長	<ul style="list-style-type: none">● ユニークなドーム型構造は胃粘膜への刺激を軽減します。● ドーム部分はX線不透過なので、留置後のドーム部分の位置や状態が容易に確認できます。● シース外径1.8mmのスネアワイヤをセット化しています。	医療機器承認番号 20100BZY00213000
		資料請求先
		 株式会社 メディコン
		〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目5-8 TEL 06-6203-6541 FAX 06-6203-6448 Website http://www.medicon.co.jp http://www.peg.gr.jp

安全機構

- シールドロックセーフティタイプ注射針が針刺し切創のリスクを低減します。

その他の特長

- 咽頭の細菌がPEGチューブに付着するのを防止する「感染防止セーフティチューブ」の採用により、ろう孔に細菌を引き込むことなく、胃ろう造設が可能です。



カンガルー PEG キット 医療機器承認番号 21100BZZ00746000



資料請求先

日本コヴィディエン株式会社

〒158-8615 東京都世田谷区用賀4-10-2

TEL 0120-998-971

Website www.covidien.co.jp

13. シャープスマネジメント

■ **リスク** 外科的処置の際に使用したメス、縫合針等が術創内や床面に落下したりする場合があります。術中は執刀医・介助者・看護師等の中で頻りに鋭利器材・器具の受け渡しが行われており、鋭利器材・器具を手に行っている医療従事者と受け渡される医療従事者の中で絶えず針刺しのリスクが高い。術創内に鋭利器材が残留し閉創してしまう場合も起こりえるため、使用した診療材料の数の管理も重要である。

■ 対策

- ・ 鋭利器材・器具の術中の受け渡しには、可能か限り声かけを行いながらニュートラズゾーン（中立帯）を設定する。ニュートラズゾーンを設定するための使い捨ての専用コンテナも発売されている。
- ・ 手術中に鋭利器材が落下するのを防いだり、落下した器材を回収するのに磁気マットや回収用のプローブがある。刃付きのメスをファスニング構造で挟み込み固定して安定させる補助具も発売されている。
- ・ ガーゼカウント同様、メス、縫合針等についても手術器具同様使用点数と回収点数の照合を閉創前に行い確認する。その際に、磁石を利用したコンテナに鋭利器材を収納しカウントする。容器はカウント確認後、蓋を閉めてロックして廃棄することができる（この容器はその後速やかに大きな耐貫通性容器に廃棄する）。

商品名

スカルペルホルダー

シャープスマネジメント

安全機構

- メス全体を収納できるサイズでメスを安全に設置できます。
- 目立つカラーリングで器械台上での危険エリアを識別するのに役立ちます。

その他の特長

- メスを斜めに設置できるデザインで、刃先の違いが一目でわかります。
- 底裏のシールで器械台にしっかり固定できます。



意匠登録済み

資料請求先

株式会社 **ホギメディカル**

〒107-8615 東京都港区赤坂2-7-7

TEL 03-6229-1300 FAX 03-6229-1344

Website www.hogy.co.jp

商品名

シャープスマート

シャープスマネジメント

安全機構

- 十分な深さと溝で鋭利な器具を安全に受け渡すことができます。
- 目立つカラーリングでニュートラルゾーンの確保を促します。

その他の特長

- メスの刃部分に直接さわらないよう工夫されたデザインです。
- 底面を使ってあらゆる機器の受け渡しに活用できます。



資料請求先

株式会社 **ホギメディカル**
 〒107-8615 東京都港区赤坂2-7-7
 TEL 03-6229-1300 FAX 03-6229-1344
 Website www.hogy.co.jp

商品名

針カウンター

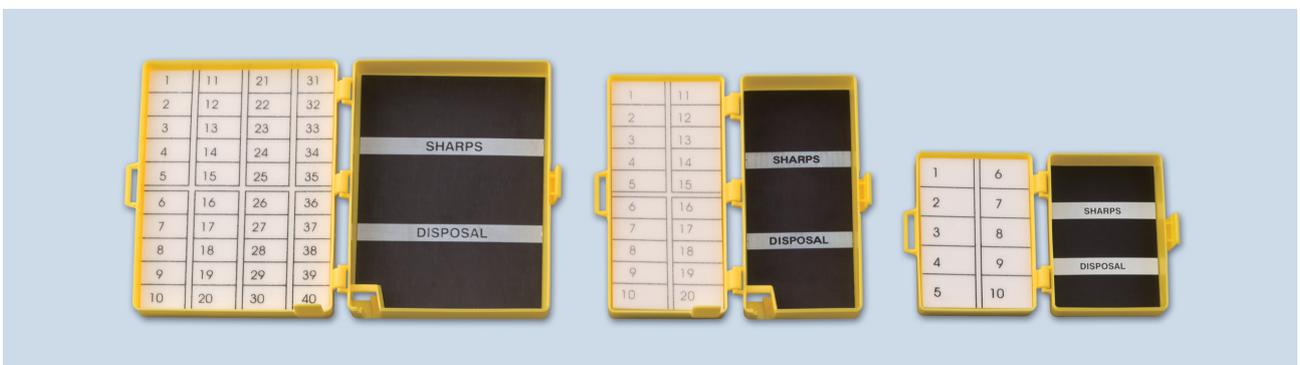
シャープスマネジメント

安全機構

- プラスチック製のハードカバーは、内部の針等の貫通を防止します。
- 落としても開きにくい構造です。

その他の特長

- メス刃を安全に取り外せるブレードリムーバー付タイプもご用意しております。
- 針が刺しやすい、適度な硬さのフォームブロックを採用しております。
- 用途に応じて様々なタイプからお選び頂けます。



資料請求先

株式会社 **アムコ**
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-7
 TEL 03-3265-4263 FAX 03-3265-2796
 Website www.amco.co.jp

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューパー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

パチル・ライオン
アクセスポート

その他

胃ろう

シャープスマネジメント

廃棄容器

安全機構

- スロットにしっかりと収まることで、先端部に触れる可能性を低減させます。
- メスを縦に置くことにより、使用時に持ち直す必要はありません。

その他の特長

- 最大3本まで並べて置くことができます。
- メス刃と製品の間隙があるため、刃こぼれを起こすことはありません。
- コンパクトサイズなのでスペースを取りません。



資料請求先



〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-7
TEL 03-3265-4263 FAX 03-3265-2796
Website www.amco.co.jp

14. 鋭利器材専用廃棄容器

■ **リスク** 院内の医療用廃棄物処理システムは、院内清掃業者を含む医療施設の職員全員における皮膚損傷のリスクに重大な影響を及ぼす。廃棄システムの安全性に影響を及ぼす重要な2大因子は、1) 廃棄容器の設置場所と数、2) その耐刺通性である。

廃棄に関連した針刺し切創事例の多くは、作業する近くに適切な廃棄容器がないために発生している。つまり、廃棄容器がないため、1) 針にリキャップする、2) リキャップしていない針をトレイなどに入れて取り扱う、3) トレイから廃棄ボックスに捨てる、4) 投入口から器材がはみ出ているなどの場面で、針刺し切創が発生する。

病棟でも外来でも日常的に大量の鋭利器材を扱っており、これら廃棄関連の針刺し・切創は「注意」では防げない。作業者が鋭利器材を使用後にすぐに捨てられる廃棄システムを構築することが重要である。

耐貫通性は廃棄容器の安全工学上重要である。ダンボール製などの廃棄容器は鋭利器材が突き抜ける可能性がある。廃棄容器の投入口も開放型バケツの形状は、受傷リスクが高い。

また、廃棄容器に注射器から針を取り外すなどの解体器がある場合、手順等が増え針刺しリスクを高めることも指摘されている。

■ 対策

- ・ 鋭利器材の廃棄容器の設置場所を確認し、十分な数を用意する。必要に応じて、壁掛け式の鋭利器材専用廃棄容器を設置する。携行型廃棄容器などは、廃棄予定の器材の種類を考慮に入れてその大きさを検討する。
- ・ 病棟に廃棄容器を持参しやすいように、カートに廃棄容器設置場所を固定するなどの工夫をする。
- ・ 採血が頻回に行なわれる中央採血室等の高リスク作業場所は、作業者が作業・廃棄を行いやすいように、作業環境を整え廃棄容器を設置する。
- ・ 院内で鋭利器材が利用される個所を点検する。
- ・ 院内で廃棄物の取り扱いに関するルール作りと廃棄手順を確立し、分別処理方法について職員に周知する。
- ・ 廃棄容器はいっぱいになる前に交換する。火バザミ等を利用しての廃棄容器への鋭利器材の押し込みなどの作業は避ける。

商品名

セフティーナ® 廃棄ボックス/ボトル

鋭利器材専用(耐貫通性)廃棄容器

安全機構

- 注射針とベノジェクトII採血針Sを安全にかつ簡単に廃棄するための、ボックスとボトルです。
- 針に触れないで、簡単に廃棄できます。



資料請求先

テルモ株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1

テルモ・コールセンター 0120-12-8195

(9:00~17:45 土・日・祝日を除く)

Website <http://www.terumo.co.jp/>

安全機構

- (小型コレクター 容量1.0L/1.4L/3.1L)
「針取り外し機能」により、ルアースリップ/ロックタイプの容易な取り外しが可能です。
- 容器上部が半透明のため、容量の確認が容易です。
- (大型/特大コレクター 34.1L/72.0L)
専用カート(オプション)の使用により、手を使わずにスライド式のフタの開閉ができ、容器のスムーズな移動、設置ができます。
- BD™ ケモセラピーコレクターは、耐貫通性に加え、フタ接続部のガスケットと内部の吸収シートにより抗がん剤の液漏れを防止します。

その他の特長

- 組み立て式のため、保管・輸送時の省スペース化が可能です。
- 米国FDA(食品医薬品局)、OSHA(労働安全衛生法)の規格要件を満たし、耐貫通性に関してはASTM(米国材料試験協会)規格に準拠した製品です。
- NIOSH(国立労働安全衛生研究所)から出されている廃棄容器の4大評価基準である機能性、視認性、便宜性、アクセスの容易さを考慮している製品です。



資料請求先

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
本社:〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
www.bd.com/jp/

カスタマーサービス

☎0120-8555-90
FAX: 024-593-3281



安全機構

- シャープセイフティコンテナは耐貫通性で、蓋は一度ロックすると再び開かない構造になっています。
- ケモセイフティコンテナは耐貫通性で、内部のシーリングガスケットと吸収パッドにより液漏れを防止します。
- ベッドサイドに設置することにより、使用現場ですぐに鋭利物を廃棄できます。
- 専用カートを使用すると、足でコンテナの蓋を開閉することができ、より安全に鋭利物・薬液のビン等を廃棄できます。



その他の特長

- 鋭利物・薬液のビン等を使用直後にコンテナに廃棄することで、汚染した鋭利物による感染伝播を防ぎ、抗がん剤などの暴露も最小限に抑えます。

資料請求先

株式会社ニチオン

〒273-0018 千葉県船橋市栄町2-12-4
TEL 047-431-1971 FAX 047-431-1972
Website <http://nitition.jp>

安全機構

- ダイヤル式回転フタ
 - 「仮ロック」「永久ロック」の2段階操作が可能。
 - 大型鋭利物も投入し易い広い開口部。
 - 仮ロックにより、飛び出し、臭気漏れを防止。
 - 仮ロックにより、手指を入れてしまう事故を防止。
 - 終了時は、ワンブッシュで「永久ロック」可能。
 - 永久ロック後は、回転フタの操作はできない構造。

②安全投入ライン

- 安全投入ラインで安全な投入量をチェックすることができます。

③優れた環境性能

- 素材は全てPP(ポリプロピレン)製。
焼却の際、有害物質を産生せず、環境にもやさしい設計です。

その他の特徴

- 針刺し切創を防止するためのシャープスコンテナには、その性能(落下衝撃耐性、貫通耐性、液漏れ防止性等など)を規定する厳格な基準があります。バイオコンパクトシリーズは、世界の国際基準に準拠して開発されています。
国連規格UN3291、欧州規格(英国)BS7320、フランス規格NFX30-500に準拠。



1.8リットル
160×160×170mm

3リットル
160×160×230mm

5リットル
220×220×185mm

10リットル
220×220×305mm



資料請求先

株式会社モレーンコーポレーション

〒164-0003 東京都中野区東中野5-1-1 ユニゾンモール3F
TEL 03-5338-3911 FAX 03-5338-3912
Website <http://www.moraine.co.jp>

安全機構

- イーゼン密閉操作システム
 - 接着剤やホットメルト不要で漏れのないエアタイトを実現。
- クイックヒンジシステム
 - リッド(フタ)の紛失を防止し、組み立てが容易。
- スタッカブルデザイン
 - 保管場所を最小限にする為に積み重ねが可能。
- 専用設計ハンドル
 - 搬送を容易にするため手のひらにジャストフィット。
- オプション専用カート
 - ペダル操作により手を使わずにリッド(フタ)の開閉が可能。

その他の特徴

- 感染性廃棄物の貯蔵運搬に関する「国連規格UN3291」に準拠。



30リットル

50リットル

60リットル

オプション専用カート



資料請求先

株式会社モレーンコーポレーション

〒164-0003 東京都中野区東中野5-1-1 ユニゾンモール3F
TEL 03-5338-3911 FAX 03-5338-3912
Website <http://www.moraine.co.jp>

商品名

注射器材廃棄容器 キーパー2

鋭利器材専用(耐貫通性)廃棄容器

安全機構

- インスリン注射を介助するナースの針刺し防止機能【リキャップホール®】(特許)が付いています。
- 使用限度をわかり易くするFULLラインシールが本体の容器内にも貼付されている事で注射針の入れ過ぎによる針刺しを防ぎます。



その他の特徴

- 携帯型としての役割を十分に果たすための取っ手が付いています。
- 容器のフタは、使った後や携帯する時には簡易ロックができ、最終処理には、完全ロックができます。
- 『使ったその場で廃棄する』そのためにさまざまなアタッチメントがあります。



日本製

資料請求先

有限会社グツツール

〒567-0031 大阪府茨木市春日2-3-7 3F
TEL 072-627-5518
Website www.goodtool.biz

商品名

MEDIPAIL M-1 針缶

鋭利器材専用(耐貫通性)廃棄容器

安全機構

- 注射針をはじめ翼状針やインスリン用ペン型注射針などの各種使用済み注射針を安全に処理できる針専用容器。
- 肉厚な容器のため鋭利な注射針に対して耐貫通性に優れています。
- 投入口板を設置し、血液等の跳ね返りを防止します。

その他の特長

- コンパクトな設計で持ち運びが可能です。
- 国内品のため、安定供給が可能です。



JMS

資料請求先

株式会社ジェイ・エム・エス

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号
新南大井ビル
TEL 03-6404-0601 FAX 03-6404-0611
Website www.jms.cc/

商品名

ハクゾウ安針BOX 3L

鋭利器材専用(耐貫通性)廃棄容器

安全機構

- 6箇所に仮止め部分を設けており、しっかりと固定できます。
- 容器の厚みが十分あり、耐貫通性に優れています。

その他の特徴

- 容器には取っ手を付けており、持ち運びに便利です。
- スリットタイプ、ロックタイプの注射針に対応可能であり、ワンタッチで廃棄できます。
- ポリプロピレン製であり、そのまま焼却可能です。
- 『入れ過ぎ防止ライン』を設けており、廃棄の目安が分かります。
- 容器には『病棟名』『確認者』『使用開始日』の記入スペースを設けています。
- 回診車に取り付ける専用ホルダーもご用意しています。



資料請求先

ハクゾウメディカル株式会社

〒540-0025 大阪市中央区徳井町2丁目4番9号
TEL 06-6942-0390 FAX 06-6942-2662
Website <http://www.hakuzo.co.jp/>

商品名

ミッペール 3IC

鋭利器材専用(耐貫通性)廃棄容器

安全機構

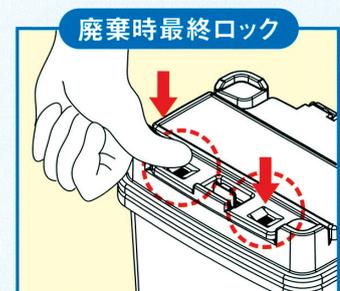
- 使用済み注射器(10cc)を安全適切に廃棄
- 仮ロック機能(収納ごと)と最終ロック機能(容器廃棄時)

その他の特徴

- 廃棄物内容を目視にて確認できる透明なフタ
- 投入方向を限定できるシリンジガイド
- 持ち運びに便利なハンドルを装着
- フタの開放角度は2段階方式(120°と270°)
- 容器素材には焼却の際、有害ガスが発生しない原材料を使用



収納時には、つまんで解除します。



2箇所を押し入れて、最終ロックします。

資料請求先

富士システムパック株式会社

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-3-23-415 目黒苑ビル
TEL 03-3494-8551 FAX 03-3494-8577
E-mail mail@fujisystempack.co.jp
Website www1.odn.ne.jp/fujisystempack/

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューバー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

パチル・ライン
アクセスポート

その他

胃ろう

シャープメント
マニピュレーター

廃棄容器

商品名

ファインガード® 医療廃棄ボトル

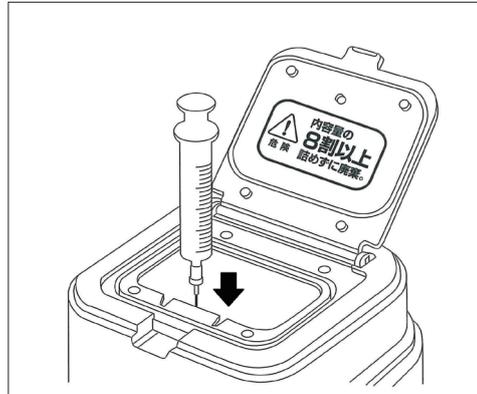
鋭利器材専用(耐貫通性)廃棄容器

安全機構

- 使用済み注射針を安全に廃棄できる誤刺防止用ボトルです。

その他の特長

- ボトルカラーの黄色は「注意」を促すイメージカラーです。
- 丸型と角型の2種類があります。



資料請求先

TOP 株式会社トップ

〒120-0035 東京都足立区千住中居町19番10号

TEL 03-3882-7741 FAX 03-3882-7744

製品お問合わせ

https://www.top-tokyo.co.jp/cgi/form/f_medical/

Website <http://www.top-tokyo.co.jp/>

商品名

シャープック SHARPAK™

鋭利器材専用(耐貫通性)廃棄容器



シャープック 感染性器材廃棄容器



事故防止の安全設計



安全機構

- 蓋はスライドロック機構なので、安全で確実な開閉ができます。
- 厚いプラスチック壁が安全を守ります。
- 針を捨てる時、開口部に直接触れずに捨てる事が可能です。
- 容器はウォッシャーディスインフェクターで消毒、オートクレーブで滅菌を行うことができます。
- イギリスでの貫通テスト基準をクリアした最高水準のコンテナです。

その他の特長

- 壁面やカートに簡単に取り付け出来ます。
- トレイとの組み合わせで、ベッドサイドまで安全に持ち運びできます。
- 自然に優しく、そのまま安全に焼却出来ます。



HARADA

資料請求先

原田産業株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目10-2

TEL 06-6244-0978 (直通)

Website <http://www.medical.haradacorp.co.jp>

その他安全器材一覧

企業名	商品名
スミスメディカル・ジャパン株式会社	グリッパープラス グリッパーマイクロ グリッパープラス NAC アキュバンス プラス I.V. カテーテル プロテクティブ プラス I.V. カテーテル I.V. カテーテル シャープセーフ プロ・ベントプラス
川澄化学工業株式会社	カーミライン (透析用血液回路セット)
カイインダストリーズ株式会社	カイ ディスポーザブル セーフティースカルペル セーフティナイフ
クリエートメディック株式会社	オールシリコンフォーリートレイキット オールシリコンフォーリーカテーテル (タイプ CU (クローズドタイプ)) "
東レメディカル株式会社	ビオネクター 2 オートフラッシュ
ハイピュア株式会社	レオパール
株式会社エムビーシー	メディカルペール メディカルクリーナーボックス ECOPAIL メディパール M-1・メディカルクリーナーボックス
三甲株式会社	メディカルベール
株式会社アムコ	マグネット&フォームブロック (アスペンサージカル社) マグネット&フォームストリップ (パープルサージカル社) ダブルマグネット (アスペンサージカル社) マグネット&クリアストップ (アスペンサージカル社) パンクチャーブルーフ (パープルサージカル社) パープルタートル (パープルサージカル社) カードボード (パープルサージカル社) スカルペルホルダー (アスペンサージカル社) マグナマット (テクノベント社) マグドレープ (パープルサージカル社) シャープスパッシングトレイ (パープルサージカル社) ゴールドデンレトリバー (パープルサージカル社) インスツルメントオーガナイザー (パープルサージカル社) スナップイット (クリックスマート社) チェック・クリップ (クリックスマート社)
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	セーフティプロプラス セーフティプロウノ
株式会社ビゴン・ジャポン	パーフセーフ 2

翼状針

静脈留置針

真空採血

ヒューパー針

皮膚穿刺

縫合針

輸液接続

動脈採血

透析関連

バチル・ライン
アクセスポイント

その他

胃ろう

シャワー
マシメント

廃棄容器

エピネット日本版

Japan EPINet
Version 4

EPINet™

Exposure Prevention
Information Network

- A. 針刺し・切創報告書
- B. 皮膚・粘膜汚染報告書



血液・体液曝露の把握と解析



適切な予防対策



安全な医療現場

職業感染制御研究会

Research Group for Occupational Infection Control and Prevention

エピネット日本版 (Version4) は、職業感染制御研究会のホームページ <http://jrgoicp.umin.ac.jp/> よりダウンロードできます。



A : 針刺し・切創報告書

(Version 4)

病院コード番号

院内報告番号

A

1 報告者

■ 氏名	■ 所属部門	■ 経験年数 (年)
_____	<input type="checkbox"/> 1 医師部門 <input type="checkbox"/> 5 検査部門	■ 性別 (男 ・ 女)
■ ふりがな	<input type="checkbox"/> 2 病棟部門 <input type="checkbox"/> 6 放射線部門	_____
_____	<input type="checkbox"/> 3 外来部門 <input type="checkbox"/> 99 その他	■ 年齢 (歳)
■ 職員番号	<input type="checkbox"/> 4 中材・手術部門 (記載)	_____

■ カルテ番号		

2 発生日時

発生日 西暦 年
月 日

発生時間 (24 時間制)
時 分頃

3 職種 (1 つだけチェック)

<input type="checkbox"/> 1 医師 (常勤・非常勤を含む) →	<input type="checkbox"/> 1 内科
<input type="checkbox"/> 2 レジデント・研修医 →	<input type="checkbox"/> 2 外科
<input type="checkbox"/> 3 医学生	<input type="checkbox"/> 3 麻酔科
<input type="checkbox"/> 4 正看護師	<input type="checkbox"/> 4 整形外科
<input type="checkbox"/> 5 准看護師	<input type="checkbox"/> 5 リハビリ科
<input type="checkbox"/> 14 助産師	<input type="checkbox"/> 6 形成外科
<input type="checkbox"/> 15 保健師	<input type="checkbox"/> 7 小児科
<input type="checkbox"/> 6 看護助手	<input type="checkbox"/> 8 産婦人科
<input type="checkbox"/> 7 看護学生	<input type="checkbox"/> 9 眼科
<input type="checkbox"/> 8 臨床検査技師	<input type="checkbox"/> 10 皮膚科
<input type="checkbox"/> 9 放射線技師	<input type="checkbox"/> 11 泌尿器科
<input type="checkbox"/> 10 歯科医師	<input type="checkbox"/> 12 耳鼻咽喉科
<input type="checkbox"/> 11 歯科衛生士	<input type="checkbox"/> 13 精神・神経科
<input type="checkbox"/> 12 業務士 (清掃・洗濯・廃棄)	<input type="checkbox"/> 14 放射線科
<input type="checkbox"/> 13 薬剤師	<input type="checkbox"/> 15 歯科・口腔外科
<input type="checkbox"/> 99 その他	<input type="checkbox"/> 16 脳神経外科
(職業記載)	<input type="checkbox"/> 17 腎透析部
	<input type="checkbox"/> 18 中央臨床検査
	<input type="checkbox"/> 19 救急部
	<input type="checkbox"/> 20 手術部
	<input type="checkbox"/> 99 その他
	(記載)

4 発生場所 (1 つだけチェック)

1 病室 (集中治療室を除く)
(病棟名記載)

2 病室外 (廊下、ナースステーション等)
(病棟名記載)

3 救急部門

4 集中治療室 (術後回復室を含む)

5 手術部

6 外来診察室 (処置室)
(科名記載)

7 輸血部

8 中央採血処置室

9 透析室

10 特殊検査処置室 (放射線・内視鏡・筋電図等の検査室)

11 中央検査部

12 病理解剖

13 中央材料室

14 分娩室

15 在宅

99 その他
(場所記載)

5 患者の確定汚染源の患者が誰かわかっていますか? (1 つだけチェック)

1 はい (以下の項目にもお答え下さい)

(患者氏名又はイニシャル) _____

(患者カルテ番号) _____

入院・外来 1.入院 2.救急外来
3.外来 (救急を除く) 4.不明

患者の検査結果

HIV	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査
HCV	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査
HBs 抗原	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査
HBe 抗原	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査
梅毒	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査
ATLA (HTLV-1)	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査

2 いいえ

3 適切な回答なし (患者への使用前など)

6 器材の選択・使用者—あなた自身がこの原因器材を、選択して患者に使用したのですか？（1つだけチェック）

- 1 はい
 2 いいえ
 3 適切な回答なし

（記載）

6-A 器材の所持者—他者が持っていた原因器材で受傷したのですか？

- 1 はい
 2 いいえ

7 器材の汚染—器材は血液・体液などで汚染されていましたか？

- 1 見える程度の血液などが付いていた
 2 血液などに接触したが、受傷時には見える程度の血液などは付いていなかった（付着の程度が確認できなかった場合を含む）
 3 血液などで汚染されていなかった
 4 汚染されていたかどうか不明

8 使用目的—原因器材はどのような目的で使用されていましたか？

- 1 不明
 2 注射器を用いた経皮的な注射（静・筋・皮下・皮内等）
 3 ヘパリン生食等でフラッシュ洗浄（注射器を用いて）
 4 静脈ラインのインジェクションサイト（ゴム管・ゴム栓）への側注又は採血
 5 静脈ラインの接続・増設
 6 末梢血管確保（動脈を除く、静注、一時・持続点滴を含む）
 15 動脈/中心静脈ラインの確保
 7 静脈採血
 直接穿刺 ルートからの採血
 8 動脈採血
 血液ガス 直接穿刺 血液ガス ルートからの採血
 9 体液・組織採取（試験穿刺、生検、ルンパール等）
 10 耳介・指・足底等の穿刺
 11 縫合
 12 外科的切開
 13 電気焼灼（電気メスの使用）
 14 剃毛
 99 その他

（記載）

9 事例発生状況—どのような状況で針刺し・切創が生じましたか？（1つだけチェック）

- 1 器材を患者に使用する前（既に壊れていた、器材の組立、静脈ラインの組立等）
 2 器材を患者に使用中（患者の動作による受傷、翼状針・点滴針等の抜針・止血時を含む）
 14 患者の抑制介助時
 3 数段階の処置を実施する時に、その処置操作の合間（数回の注射の合間や薬剤の追加器材の受け渡し時等）
 4 器材の分解時（針を外す時を含む）
 5 再生可能な器材の再使用のための操作中（分解、洗浄、消毒、滅菌等）

- 6 使用済み注射針のリキャップ時（血液ガス検体にゴム栓などを刺す時等を含む）
 7 ゴム管・ゴム栓（インジェクションサイト、試験管チューブ）への注入及び抜針時（血液等の検体の分注処理を含む）
 15 使用済み器材が床・テーブル・ベット等の上に放置されていた
 8 その他の、使用後から廃棄するまでの間（不適切な搬送容器や、リネンなどに紛れ込んでいた）
 9 廃棄ボックスの上やその近くに放置してあった器材で
 10 廃棄ボックスに器材を入れる時
 11 廃棄後に廃棄ボックスの投入口からはみ出していた器材で
 12 廃棄ボックスの投入口以外の部位から突き出していた器材で
 13 廃棄後ゴミ袋や不適当な容器から突き出していた器材で
 99 その他

（記載）

10 器材（器材項目・器材名・ゲージ数）—針刺し・切創の原因となった器材は？

■器材項目：針（中空針）（1つだけチェック）

（1～29の針を選択した方は、『原因器材のゲージ数』をお答えください）

- 1 使い捨て注射器の針
 2 最初から薬剤が充填されている注射器の針（ペン式インスリン用注射器等）
 3 血液ガス専用の注射器の針
 4 その他、あるいは種類のわからない注射器の針（ガラス製注射器の針を含む）
 5 点滴ライン接続・増設等に用いる針
 6 翼状針及び点滴セットと一体となった翼状針
 7 静脈留置針（静脈カテーテル、サーフロー、エラストマー、アンギオカット等）
 8 真空採血セットの針
 9 ルンパール針又は硬膜外針
 10 何にも接続されていない注射針
 11 動脈カテーテル誘導針
 12 中心静脈カテーテル誘導針
 13 鼓膜カテーテル針
 14 その他の血液用カテーテル（心臓カテーテル等）
 15 その他の非血液用カテーテル（眼科用等）
 28 分類不能な針
 29 その他の針

（記載）

原因器材のゲージ数

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> インスリン用 | <input type="checkbox"/> ツベルクリン用 |
| <input type="checkbox"/> 24 / 25 ゲージ | <input type="checkbox"/> 23 ゲージ |
| <input type="checkbox"/> 22 ゲージ | <input type="checkbox"/> 21 ゲージ |
| <input type="checkbox"/> 20 ゲージ | <input type="checkbox"/> 19 ゲージ |
| <input type="checkbox"/> 18 ゲージ | <input type="checkbox"/> その他 |

（記載）

■器材項目：手術器材等（手術器材およびその他の鋭利な器材）
（1つだけチェック）

- 30 ランセット（耳介・指・足底からの穿刺採血用）
- 31 縫合針
（記載）
-
- 32 再生使用する外科用メス（替え刃を含む）
（ディスプレイザブルの外科用メスは45）
- 33 剃刀、刃
- 34 プラスチック製ピペット
- 35 はさみ
- 36 電気メス
- 37 骨切りメス
- 38 骨片
- 39 布鉗子
- 40 マイクロトームの刃
- 41 トロッカー（套管針）
- 42 プラスチック製の吸引チューブ
- 43 プラスチック製の検体容器・試験管
- 44 指の爪、歯
- 45 ディスポーザブル外科用メス
- 46 レトラクター、スキンフック、ボーンフック
- 47 ステープル/金属縫合糸
- 48 ワイヤ
- 49 ピン
- 50 ドリルビット
- 51 摂子、鉗子類
-
- 58 種類のわからない鋭利器材
- 59 その他
（記載）

■器材項目：ガラス製器材（1つだけチェック）

- 60 薬剤アンプル
- 61 薬剤バイアル
- 62 点滴液瓶あるいは大きな薬液瓶
- 63 ガラス製ピペット
- 64 ガラス製の真空採血管
- 65 試験管・検体容器
- 66 ガラスの毛細管
- 67 ガラススライド
-
- 78 種類のわからないガラス製品
- 79 その他のガラス製品
（記載）

11 安全器材—受傷原因の器材は安全器材でしたか？
（1つだけチェック）

- 1 はい
（安全器材名）
- 2 いいえ
（上記設問で“はい”とお答えの方のみ11-A・11-B・11-Cに記載して下さい）

11-A 安全装置作動の有無—安全装置を作動させましたか？（1つだけチェック）

- 1 完全に作動
- 2 一部（部分的）作動
- 3 いいえ
- 4 不明

11-B 受傷の時期（1つだけチェック）

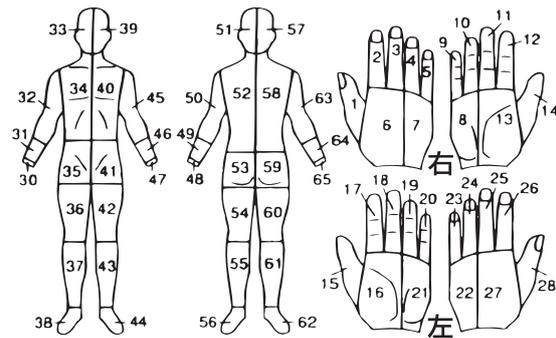
- 1 作動前
- 2 作動中
- 3 作動後
- 4 不明

11-C 安全機能の可否—安全器材による受傷の場合、この装置・機構で受傷を防ぐことができると考えますか？（1つだけチェック）

- 1 はい
- 2 いいえ

意見を記載してください。

12 受傷部位—針刺し・切創部位を○で囲んでください。
（3個までチェック可）
複数の受傷部位の場合、傷の深い順に◎部位1、○部位2、△部位3を記載します。



13 受傷の程度—針刺し・切創の程度（1つだけチェック）

- 1-1 出血なし
- 1-2 表在性（少量の出血）
- 2 中程度（皮膚の針刺し・切創、中等量の出血）
- 3 重症（深い針刺し・切創、著しい出血）

14 手袋の着用—手に受傷した場合、受傷時に手袋をしていましたか？

- 1 一重の手袋
 2 二重の手袋
 3 手袋の着用なし

15 HBs 抗体—あなた自身は HBs 抗体陽性ですか？
 (1 つだけチェック)

- 1 はい (ワクチン接種による)
 2 はい (自然陽転あるいは既往疾患などによる)
 3 いいえ
 4 不明

16 緊急処置時受傷 緊急処置時 (蘇生時を含む) の受傷でしたか？ (1 つだけチェック)

- 1 はい
 2 いいえ

17 針刺し・切創発生時の状況及び背景について、下記の (1)~(6) を含めて詳しく記載してください。

- (1) 具体的な発生現場 (階、病棟、ナースステーション等)
 (2) 発生時にどのような仕事、行為をしていたか？
 (3) 受傷原因の器材
 (4) どのようにして発生したか？
 (5) 特別な事情・状況・背景等
 (6) 受傷後の処置、対応

.....

18 あなたはどのようにすればこの事例を防ぐことができたとお思いますか？ (簡単に記載して下さい)

.....

以下管理者記載

受傷による損失経費 総計 円

- 検査費用 (HBV、HCV、HIV、肝機能など)
 1) 該当患者に実施した検査 円
 2) 受傷者に実施した検査 円

小計 円

■業務中断/職場離脱 円

■代務採用経費 円

合計 円

■感染・発症予防措置の費用 (HB 免疫グロブリン、抗 HIV 予防投薬など) 円

■発症後の治療費用 円

《治療内容》

公労災の申請

公務・労務災害補償を申請しましたか？ (1 つだけチェック)

- 1 はい 1 はい
 2 いいえ
 認定年月日 年 月 日
 病休日数 日
 就業制限 日
 2 いいえ



B: 皮膚・粘膜汚染報告書

(Version 4)

病院コード番号

院内報告番号

B

1 報告者

■ 氏名	■ 所属部門	■ 経験年数
_____	1 <input type="checkbox"/> 医師部門	5 <input type="checkbox"/> 検査部門
■ ふりがな	2 <input type="checkbox"/> 病棟部門	6 <input type="checkbox"/> 放射線部門
_____	3 <input type="checkbox"/> 外来部門	99 <input type="checkbox"/> その他
■ 職員番号	4 <input type="checkbox"/> 中材・手術部門	(記載)

■ カルテ番号		

2 発生日時

発生日 西暦 年

月 日

発生時間 (24 時間制)

時 分頃

3 職種 (1 つだけチェック)

1 <input type="checkbox"/> 医師 (常勤・非常勤を含む) →	1 <input type="checkbox"/> 内科
2 <input type="checkbox"/> レジデント・研修医 →	2 <input type="checkbox"/> 外科
3 <input type="checkbox"/> 医学生	3 <input type="checkbox"/> 麻酔科
4 <input type="checkbox"/> 正看護師	4 <input type="checkbox"/> 整形外科
5 <input type="checkbox"/> 准看護師	5 <input type="checkbox"/> リハビリ科
14 <input type="checkbox"/> 助産師	6 <input type="checkbox"/> 形成外科
15 <input type="checkbox"/> 保健師	7 <input type="checkbox"/> 小児科
6 <input type="checkbox"/> 看護助手	8 <input type="checkbox"/> 産婦人科
7 <input type="checkbox"/> 看護学生	9 <input type="checkbox"/> 眼科
8 <input type="checkbox"/> 臨床検査技師	10 <input type="checkbox"/> 皮膚科
9 <input type="checkbox"/> 放射線技師	11 <input type="checkbox"/> 泌尿器科
10 <input type="checkbox"/> 歯科医師	12 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科
11 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士	13 <input type="checkbox"/> 精神・神経科
12 <input type="checkbox"/> 業務士 (清掃・洗濯・廃棄)	14 <input type="checkbox"/> 放射線科
13 <input type="checkbox"/> 薬剤師	15 <input type="checkbox"/> 歯科・口腔外科
99 <input type="checkbox"/> その他	16 <input type="checkbox"/> 脳神経外科
(職業記載)	17 <input type="checkbox"/> 腎透析部
_____	18 <input type="checkbox"/> 中央臨床検査
	19 <input type="checkbox"/> 救急部
	20 <input type="checkbox"/> 手術部
	99 <input type="checkbox"/> その他
	(記載)

4 発生場所 (1 つだけチェック)

1 <input type="checkbox"/> 病室 (集中治療室を除く)
(病棟名記載)
2 <input type="checkbox"/> 病室外 (廊下、ナースステーション等)
(病棟名記載)
3 <input type="checkbox"/> 救急部門
4 <input type="checkbox"/> 集中治療室 (術後回復室を含む)
5 <input type="checkbox"/> 手術部
6 <input type="checkbox"/> 外来診察室 (処置室)
(科名記載)
7 <input type="checkbox"/> 輸血部
8 <input type="checkbox"/> 中央採血処置室
9 <input type="checkbox"/> 透析室
10 <input type="checkbox"/> 特殊検査処置室 (放射線・内視鏡・筋電図等の検査室)
11 <input type="checkbox"/> 中央検査部
12 <input type="checkbox"/> 病理解剖
13 <input type="checkbox"/> 中央材料室
14 <input type="checkbox"/> 分娩室
15 <input type="checkbox"/> 在宅
99 <input type="checkbox"/> その他
(場所記載)

5 患者の確定汚染源の患者が誰かわかっていますか? (1 つだけチェック)

1 はい (以下の項目にもお答え下さい)

(患者氏名又はイニシャル) _____

(患者カルテ番号) _____

入院・外来 1.入院 2.救急外来

3.外来 (救急を除く) 4.不明

患者の検査結果

HIV	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査
HCV	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査
HBs 抗原	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査
HBe 抗原	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査
梅毒	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査
ATLA (HTLV-1)	<input type="checkbox"/> 陽性	<input type="checkbox"/> 陰性	<input type="checkbox"/> 未検査

2 いいえ

3 適切な回答なし (患者への使用前など)

6 汚染した体液—皮膚・粘膜はどの体液で汚染しましたか？
(該当項目全てチェック)

- 1 血液又は血液製剤
- 2 吐物
- 3 痰
- 4 唾液
- 5 脳脊髄液
- 6 腹水
- 7 胸水
- 8 羊水
- 9 尿
- 99 その他

(記載)

7 汚染組織・状態 汚染したのはどこですか？
(該当項目全てチェック)

- 1 無傷な皮膚
- 2 傷のある皮膚 (皮膚炎・擦り傷等)
- 3 眼
- 4 鼻
- 5 口
- 99 その他

(記載)

8 汚染時の状況—血液・体液はどのようにして接触しましたか？

- 1 防備していない皮膚・粘膜に触れた
- 2 防衣や防具のすき間の皮膚に触れた
- 3 防衣や防具を浸透して触れた
- 4 白衣などの衣類を浸透して触れた

9 汚染時の防衣・防具—汚染したときどのような防衣・防具を付けていましたか？

(使用していた防衣・防具について該当項目を全てチェック、手袋の場合はブランド名を明記)

- 1 手袋をしていなかった
- 2 一重の手袋 (ゴム/ビニール) (ブランド名)
- 3 二重の手袋 (ゴム/ビニール) (ブランド名)
- 4 ゴーグル
- 5 眼鏡
- 6 側面も保護する眼鏡
- 7 フェイスシールド
- 8 手術用マスク
- 9 眼保護付き手術用マスク
- 10 手術用ガウン
- 11 ガウン (プラスチック/ビニール)
- 12 検査・実験衣 (布製)
- 13 検査・実験衣

(その他記載)

- 99 その他

(記載)

10 汚染理由—汚染はどのように起こりましたか？

- 1 患者から直接
- 2 検体容器から漏れて/こぼれて
- 3 検体容器が壊れて
- 4 IV チューブ/バッグ/ポンプから漏れて
- 5 破れた手袋/ガウン等を通して
- 6 栄養チューブ/その他のチューブが外れて/漏れて

(チューブ名記載)

- 7 その他の体液容器からこぼれて/漏れて (吸引ビン等)
- 8 汚染していた器材に触れて
- 9 汚染していた覆布/シーツ/ガウン等に触れて
- 10 不明
- 99 その他

(記載)

11 汚染時間—皮膚・粘膜はどの位のあいだ血液・体液に接触していましたか？

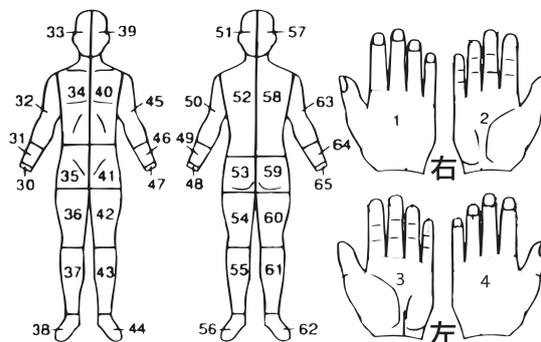
- 1 5分未満
- 2 5～14分間
- 3 15分以上1時間未満
- 4 1時間以上

12 接触量—皮膚・粘膜に接触した血液・体液の量はどの位でしたか？

- 1 少量 (5cc 未満)
- 2 中等量 (5～50cc)
- 3 大量 (50cc 以上)

13 汚染部位—図に汚染部位とその広がりを塗りつぶしてください。

身体部位番号域を越えた広範囲の汚染部位の場合、汚染の著しい順に、◎部位1、○部位2、△部位3を記載します。



14 HBs 抗体—あなた自身は HBs 抗体陽性ですか？

- 1 はい (ワクチン接種による)
- 2 はい (自然陽転あるいは既往疾患などによる)
- 3 いいえ
- 4 不明

15 緊急処置時汚染—緊急処置時 (蘇生時を含む) の汚染でしたか？

- 1 はい
- 2 いいえ

16 汚染時の状況及び背景について、下記の(1)～(8)を含めて詳しく記載してください。

- (1) 具体的な発生現場（階、病棟、ナースステーション等）
- (2) 発生時にどのような仕事、行為をしていたか？
- (3) 汚染原因の器材
- (4) どのようにして発生したか？
- (5) 特別な事情・状況・背景等
- (6) 汚染後の処置、対応

.....

.....

.....

.....

.....

.....

17 あなたはどのようにすればこの事例を防ぐことができたとお思いますか？（簡単に記載して下さい）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

以下管理者記載

受傷による損失経費

総計 円

■検査費用（HBV、HCV、HIV、肝機能など）

1) 該当患者に実施した検査 円

2) 受傷者に実施した検査 円

小計 円

■業務中断/職場離脱 円

■代務採用経費 円

合計 円

■感染・発症予防措置の費用（HB 免疫グロブリン、抗 HIV 予防投薬など） 円

■発症後の治療費用 円

〈治療内容〉

.....

.....

.....

公労災の申請

公務・労務災害補償を申請しましたか？（1つだけチェック）

はい

はいの場合、認定されましたか？

いいえ

はい

認定年月日 年 月 日

病休日数 日

就業制限 日

いいえ

エピネット記入用紙の 使い方のポイント

エピネット日本版の記入のポイントと注意

エピネット日本版の報告書には2種類あり、エピネットAは針刺し・切創用（18項目4ページ）で、エピネットBは皮膚・粘膜汚染用（17項目3ページ）である（2, 3）。ページにボリュームがあるが、ほとんどの設問がチェックボックスのため、実際の記入は5分程度である。各設問で注意すべき点について記す。
<本書巻末の付録をご参照ください。>

1) エピネットAおよびBの共通設問1～5について

①設問1 経験年数：血液曝露時に就いていた職種の年数の合計を回答する。経験年数が1年未満の場合は1ヶ月単位で回答する。

例、1ヶ月：0.01、11ヶ月：0.11

②設問2 発生日：発生年数は西暦で、発生時間は24時間制で回答する。

2) エピネットAの設問6～14について

①設問6 器材の選択：受傷の際に、原因器材を選択して患者に使用した人であったかどうかを聞いています。放置してあった器材であっても、受傷者自身がその器材を最初に患者に使用した場合は『1. はい』を選択する。

使用済みの器材が数本トレイの中にあっただもので受傷し、自分が実際に使用した器材であったかどうか分からない場合などは『3. 適切な回答なし』を選択する。

②設問7 器材の汚染：どの程度の器材の汚染が感染症の発生につながるかを把握するためのものである。器材が患者に使用されたかどうか確かでない場合は、『4. 汚染されていたかどうか不明』を選択する。

③設問12 針刺部位：複数受傷時には最大3つまで記入できる。傷の深い順に部位を記載する。

④設問14 手袋の着用：この設問は、手を受傷された方のみ回答する。

3) エピネットAの設問15～18およびBの設問14～17について

①A設問17とB設問16：事象の経過を記入します。記述文は、報告書の各設問では回答できない数々の重要な情報が含まれている。

事例の詳細な状況や背景を記述するよう、受傷した職員を援助する必要がある。『採血時自分で刺した』という程度の記述では不十分である。

報告書の各項目、用語などの定義・解釈の混乱を避けるためには、針刺し・切創担当者のインタビューに基

づいて記入した方がより正確になる。記入内容は、(1) 具体的な発生現場（階、病棟、ナースステーション等）、(2) 発生時にどのような仕事、行為をしていたか？、(3) 受傷原因の器材、(4) どのようにして発生したか？、(5) 特別な事情・状況・背景等、(6) 受傷後の処置、の6つの内容を含める。文章でも箇条書きでも構わない。「針刺しをもたらす要因として照明の暗さはどれくらいであったか？」等の特殊な事柄が問題になったとき、この記述文を検索することにより明らかにできる。記述文は貴重で豊かな財産であり、データ収集過程の一部に含まれる。

引用・参考文献：

(1) International Healthcare Worker Safety Center. <http://www.healthsystem.virginia.edu/pub/epinet/home.html>

(2) エピネット日本版（A：針刺し・切創報告書とB：皮膚・粘膜汚染報告）<http://jrigoicp.umin.ac.jp/epinetjp/> エピネット日本版 v4.pdf

(3) 職業感染制御研究会．エピネット日本版 Version. 4 記入の手引き . p1～7. 2004年
http://www.episys.jrigoicp.org/v109/episys109_download.html

※ エピネット日本版 に関するその他の情報は以下 URL を参照下さい。http://jrigoicp.umin.ac.jp/index_epinetjp.html

エピネット分析・評価ツール『見える化君 A』について

『見える化君 A』は、当該施設の針刺し切創・血液体液曝露事例の発生に関する評価を可能にするツールである（作動環境として Microsoft Access 2003 以降を推奨）。手間暇かけることなくエピネット日本版で収集し EpisysA に入力したデータの分析を可能にする。38 もの項目（表 1）について統計処理を行いそれ

に加えてグラフ描出を瞬時に行ってくれる。EpisysA のデータファイルと『見える化君 A』のデータファイルについて連結操作を行うことで、多様な分析を瞬時に可能にする（図 1）。

※ 関連 URL

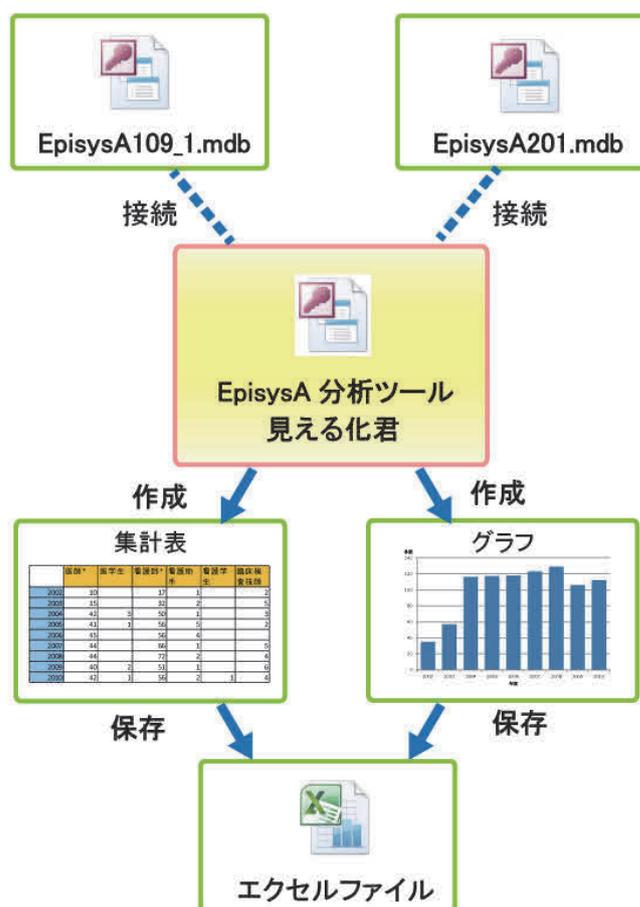
概要 http://jrgoicp.umin.ac.jp/index_epinetjp.html

動画での紹介 http://jrgoicp.umin.ac.jp/videos/videos_episys.html

表 1 見える化君 A で処理可能な項目

1 報告件数	14 HIV 報告件数	27 器材
2 月別報告件数	15 HCV 報告件数	28 器材分類
3 年齢階級別報告件	16 HBs 抗原報告件数	29 安全装置有無
4 経験年数	17 HBe 抗原報告件数	30 安全装置作動
5 性別	18 梅毒報告件数	31 受傷時期
6 所属部門別報告件数	19 ATLA 報告件数	32 安全機能可否
7 職種別報告件数	20 器具の選択と使用者数	33 受傷の程度
8 職種区分別報告件数	21 他者使用の器具	34 手袋着用
9 医師診療科別報告件数	22 全受傷部位	35 HBs 抗体
10 発生場所別報告件数	23 全受傷部位分類	36 緊急処置時受傷
11 患者確定数	24 器具の汚染	37 公労災申請
12 感染性曝露 6 検査報告件数	25 使用目的	38 公労災認定
13 感染性曝露 5 検査報告件数	26 事例発生状況	

図 1 見える化君 A でのデータの処理工程



1. 年別・年度別単純集計

- ① 職業感染制御研究会 HP からダウンロードしたファイル『見える化君 A』を開く (図 2)
- ② 画面左下の“接続” ボタンを押し画面で Episys201 の集計ファイルを指定 (連結操作)
- ③ 『見える化君』の画面上で年 or 年度別を選択 (a)
- ④ 必要に応じて“患者が確定している報告のみ”か“発生場所が手術室のみ”をチェック (b)
- ⑤ “全部エクセルに保存”か“このファイルをすぐに開いて閲覧する”を選択しクリック (c)
- ⑥ 年 or 年度別に、『見える化君 A』の分析対象 38 項目 (表 1) 総ての集計結果が得られる

分析結果表示例：32. 手袋着用（年度別の手袋着用に関する割合）の結果例を図 3. に示す

※ 1. データファイルの上書き保存に関する注意事項：年別集計と年度別集計の両方を実施する場合、保存エクセルファイル名が同じ「年別年度別 A」なので、後に集計したエクセルデータが上書きされる。年別と年度別の両方のデータが必要な場合は、集計実施後に保存エクセルファイル名を変えて次の集計に移る。同様に、全例分析に加えて、追加分析の「患者が確定している」or「手術室に限定する」を選択する場合も上書き

きを避けるため、集計実施後に保存エクセルファイル名を変えて次の集計に移る。

※ 2. 分析対象のデータ数が多い場合、ファイル保存完了に時間がかかる場合がある。

2. 集計期間指定

特定の期間を指定して 1. 同様の分析が可能。

3. クロス集計

36 項目の中から特定の 2 項目を選択し、クロス集計を行う。これにより相互の関係を精査することが可能。

4. 自施設のデータと標準値（全国エピネットサーベイランスデータ）を比較

全国エピネットサーベイランスデータの集計結果と自施設の集計結果の比較が可能。画面から“標準値と比較”を選択し処理する。

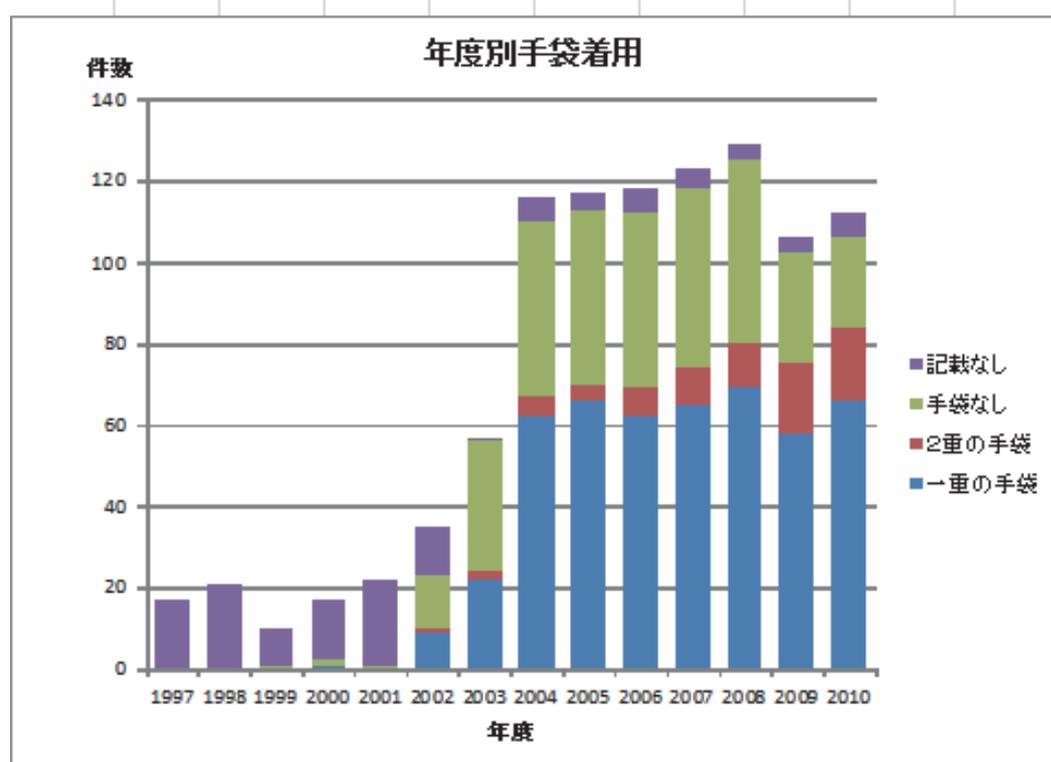
5. 生成したデータの管理

集計エクセルファイル（年別年度別集計、クロス集計、標準値との比較）は『見える化君 A』と同じ階層構造のホルダー内に別々のファイルとして保存される。

図 2 見える化君 A の初期画面

図3 分析結果表示例表示例：32 手袋着用（年度別の手袋着用に関する割合の表示）

年度別手袋着用		Episys分析ツール 見える化君 A2012年05月13日作成 戻る	
患者確定のみ：いいえ 手術室受傷のみ：いいえ		Episys: EpisysA201_Sample1000.mdb	
一重の手袋	2重の手袋	手袋なし	記載なし
1997			17
1998			21
1999		1	9
2000	1		15
2001		1	21
2002	9	1	13
2003	22	2	32
2004	62	5	43
2005	66	4	43
2006	62	7	43
2007	65	9	44
2008	69	11	45
2009	58	17	27
2010	66	18	22



職業感染制御研究会

代 表 森屋 恭爾

連絡先

東京大学医学部附属病院感染制御部
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1
FAX 03-5800-8796

<http://jrgoicp.umin.ac.jp/>